EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION
SOUTH MANCHURIA ... LIMITED

# THE TAIWAN JIHO

# 臺灣時報

## 三月號


地方改良の本旨

時報（臺灣時事）

訓示（地方改良。社會教育。林業振興。調停發展）

臺灣昨年の外國貿易

世界文化の大勢

爪哇糖業の世界的地位

臺灣地史調査の必要

支那の報界事情

領臺前噶瑪蘭の蕃務

厦門セメント概況

海外重要記事


E64 D228 M.58 D.197

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

## 臺灣時報發行所役員

評議員長　賀來佐賀太郎

評議員（以下イロハ順）

池田幸甚　石坂莊作　市來半次郎　今井周三郎　井村大吉　新元鹿之助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富島元治　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　奥田重榮

大賀基作　渡部英太郎　渡邊金造　片山秀太郎　川崎軍治　川中子安次郎　簡朗山　菅野善三郎　吉田平吾　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　高田元治郎　高田富藏　工學博士 高橋辰次郎　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　武内友治郎　高山仰　瀧田傳吉　常吉德壽

津田毅一　津久井誠一郎　永田隼之輔　中村啓次郎　内藤正太郎　武藤針五郎　野呂寧　草鹿砥祐吉　倉岡彦助　日下操　松岡富雄　牧山清砂　松井榮堯　藤野幹　福留喜之助　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　枝德二　江口良三郎　江崎眞隆　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎

相賀照鄉　阿部滂　麻生誠之　荒卷鐵之助　淺田知定　近江時五郎　佐藤勤　坂本素魯哉　佐々木紀綱　槇瀨軍之佐　佐藤小次郎　皿谷廣次　蔡蓮舫　木村匡　木村久太郎　許廷光　北村吉之助　木村英俊　喜多孝治　三村三平　三好德三郎　進藤良英　徐杰夫　平山寅次郎　平山午介　森廣藏　角源泉　鈴木重臣　[illegible]防禮次郎

### 編纂委員

伊藤狠吉　生駒高常　飯田政敏

服部武彦　法水了禪　宮田松彦

### 常務員

大澤清高　和田一次　鎌田正威　横光吉規　東忠藏　淺野安吉　小野弘毅　水越幸一　三浦碌郎　下村充郎

本山文平　深川繁治　古山榮三郎　堤一馬　岡本佃　中瀨拙夫　中村壽太郎　中田榮次郎　宇都宗一

編輯係　鷹取田一郎　囑託　大槻綱彦
同　高橋修　同　横尾普夫
同　拓大雄　同　眞倉民治
同　中野願三郎　同　鹽谷新
同　小森德治　庶務及會計係　伊藤憐之助
同　秋澤次郎

大正十三年三月十三日印刷（毎月一回）
大正十三年三月十五日發行（一日發行）
（定價一冊郵稅共金三十錢）
（廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣第二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町百八番地　中野願三郎

印刷人　臺北市大和町三丁目二番地　澤田照基

印刷所　臺北市大和町三丁目二番地　臺北印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 株式會社 臺灣銀行（臺北）

### 支店出張所

**臺灣**

基隆　臺中　嘉義　臺南　高雄

宜蘭　淡水　桃園　新竹　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

### 支店出張所

**支那**

上海　九江　漢口　福州

廈門　汕頭　香港　廣東

**其他**

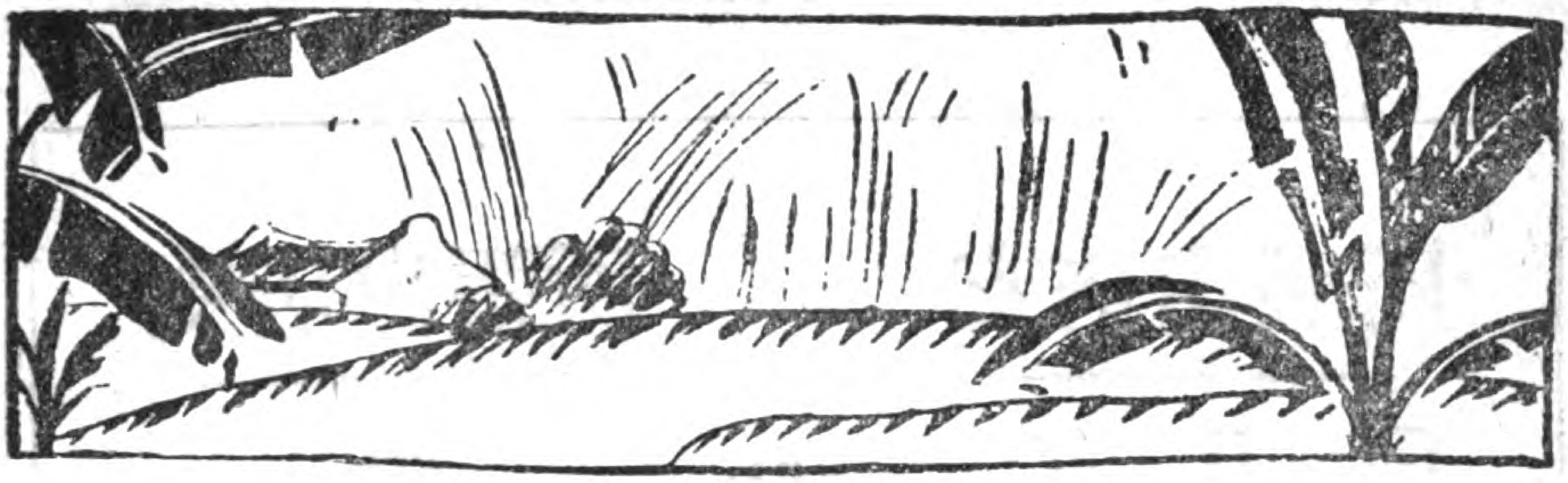
新嘉坡　盤谷　スラバヤ　スマラン

バタビヤ　孟買　倫敦　紐育

**內地**

神戸　大阪　横濱　東京　門司

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



# 臺灣時報大正十三年三月號　目次　（第五十四號）

□□□□□□□□□□□□□□□□□


口繪　▲深山ざくら（霧社）

地方改良の本旨（卷頭言）……一

時報……二—五

▼紀元節拜賀式▼兒童奬學御下賜金に付諭告▼恩賜財團臺灣奬學會▼臺灣社會事業奬勵御下賜金▼總督府より下付の社會事業奬勵金▼鄭成功に祭粢料御下賜▼獻穀田田植祭▼地方改良講習會と視學講習▼民事調停主任會議と林務主任會議▼內田總督の歸府▼內田總督危道豐氏を招宴す▼全島小公學校兒童優秀作文▼正誤

□□□□□□□□□□□□□□□□□

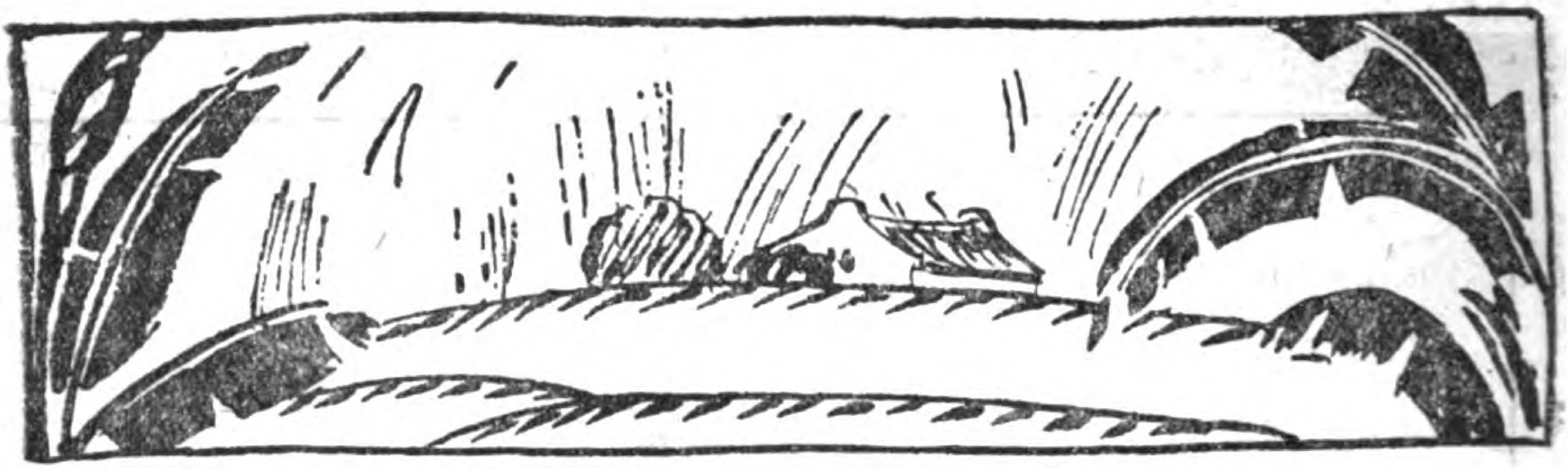
地方の改良進步に就て（吉田總務長官代理訓示）……六

社會敎育の進展に就て（同上）……九

林業の振興に就て（喜多殖產局長訓示）……一〇

民事爭訟調停の發展に就て（吉田總務長官代理訓示）……一五


Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN




臺灣昨年の外國貿易……木村英俊　一八
世界文化の大勢……本多靜六　二四
爪哇糖業の世界的地位……川島浦殆郎　三七
臺灣島に對する地史調査の必要……鷹取田一郎　七九
支那の報界事情……井出季和太　九七
領臺前噶瑪蘭の蕃務……臺北州調査　一一五
厦門に於けるセメントの概況……商工課調査　一四五
島情（臺灣經濟概況）……一四八
詞苑……一五三
臺灣日誌▲人事消息▲任命▲寄贈書目▲編輯室から……一五五
南支那南洋其他海外重要記事……總督官房調査課　一―一八

問屋業
販賣業
代理業

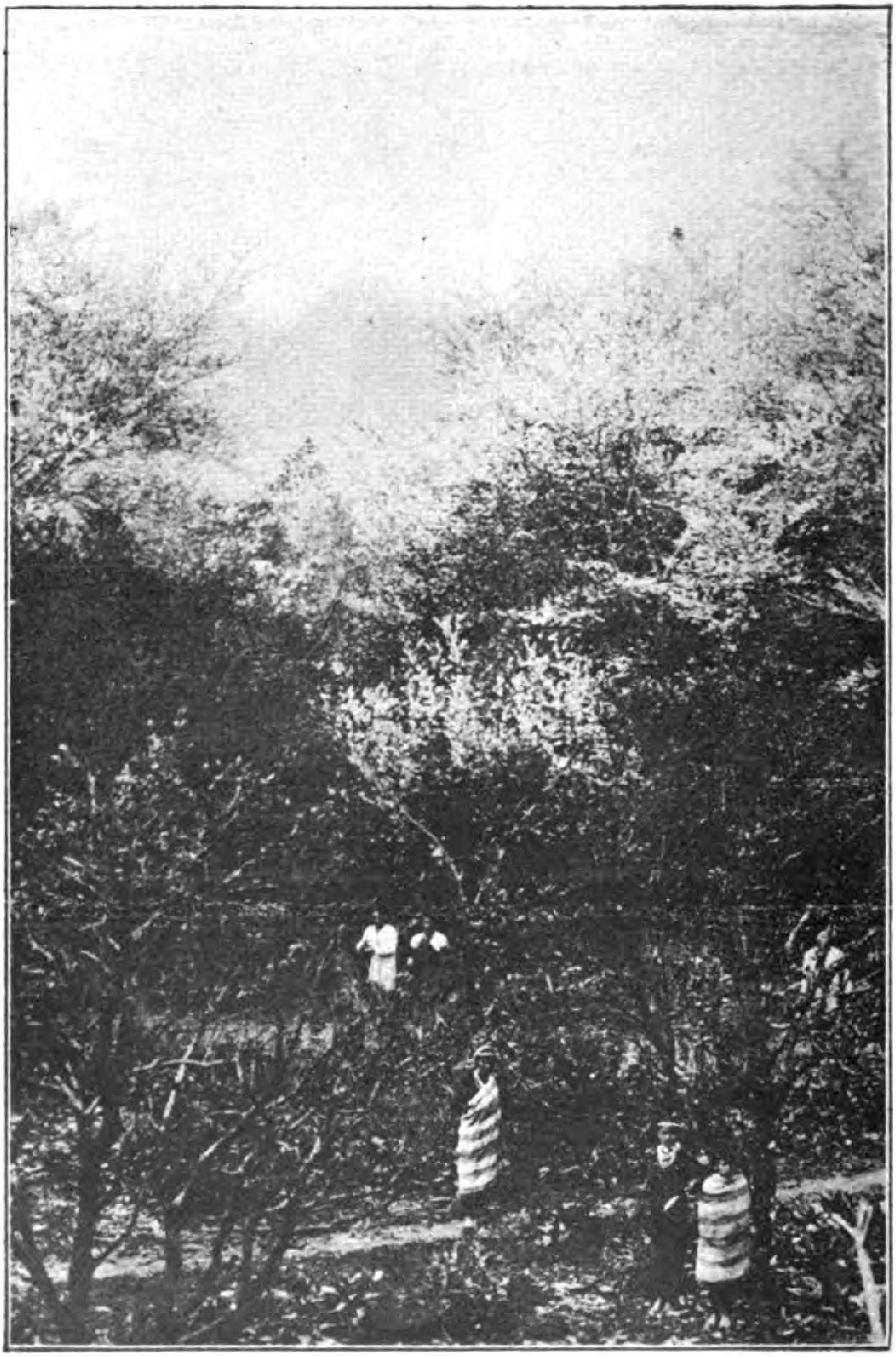
# 三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所
出張員

厦門
福州
基隆
高雄
臺中

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



深山ざくら（霧社）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 地方改良の本旨

行政の本旨は道義に在り、とは曾て泰西學者中に主唱された所。法治國に在りては法律萬能なれど、法規は固と死物、之を活用して法の精神を發揚すべきは即ち人である。此の言屢〻繰返されて、今日殆ど常套語となつたが、然かも世上其の實效は多く舉らぬやうである。蓋し局に當る人が法規の眞精神を知らず、隨つて行政的誠心の自覺なくんば、善制良法も終に何の用を爲さぬであらう。於是乎、人の教育が最先の問題となる。臺灣、地方新制度施かれて既に四年這回總督府に於て地方改良講習會の開かれたのは、其の趣旨前述の弊を防がんとするに在る歟。然らば講習員は深く法制の精神に鑑み、行政的誠心の自覺に徹底せねばならぬ。謂ゆる「行政の本旨は道義に在り」てふ提唱も、確かに一面の眞理を道破したるを想はしめる。

# 時報

## 紀元節拜賀式

二月十一日紀元節の拜賀式は總督府に於て嚴肅に行はれたが軍司令部、臺北州、市役所、守備隊司令部、歩兵聯隊、山砲隊、其他在臺北各官衙諸學校とも何れも午前九時から拜賀式を擧行し全島各州廳郡所在諸官衙學校も一齊に嚴肅なる拜賀式を擧行した。

## 兒童奬學御下賜金に付諭告

東宮殿下御成婚に付御慶福を頒たる御思召に基き去る一月二十六日畏き邊りより臺灣總督府へ兒童奬學の資として金六萬圓を御下賜ありたることは本誌前號之を報じたるが右に付總督府に於ては別項の如く恩賜財團組織の方法を執りたる一方、內田總督は二月十一日紀元節の佳辰をトし諭告第一號を以て左の如く公布せられた。

皇太子殿下御結婚ノ禮ヲ擧ケサセラルヽニ方リ特別ノ思召ヲ以テ本島ニ於ケル兒童奬學ノ資トシテ御內帑金六萬圓ヲ下賜セラル叡恩ノ優渥ナル誠ニ感激ノ至ニ勝ヘス本總督ハ敎育事業ニ關係スル官民ト俱ニ至仁至慈ナル聖意ヲ奉體シテ夙夜懈ラス斯業ノ發達ヲ計リ皇恩ノ萬一ニ奉答セムコトヲ期セムトス御下賜金ハ之ヲ特別ノ資金トシ其ノ運用ニ關シテハ別ニ定ムル所アルヘシ

## 恩賜財團臺灣奬學會

別項東宮殿下御結婚に付本島兒童奬學の資として御下賜相成りたる恩賜金六萬圓を特別基本財產と爲し恩賜財團臺灣奬學會を組織するの寄附行爲は二月十一日其筋の許可を得たるが右寄附行爲には、本會の資產は特別基本財產恩賜金六萬圓の外に寄附其他の收入とし、聖旨を奉體し臺灣に於て兒童の奬學を爲すを目的とし、會長には臺灣總督を推戴し副會長には總務長官を推し、資產の管理處分及び收支に關する規定は理事の議決を經て會長之を定め別に會長の諮問に應せしむる爲め評議員若干名を置き、又た理事は若干名、理事中より幹事三名を命じて會務を處理するの規定で全文十一條より成り二月十一日の府報を以て公表された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 臺灣社會事業奬勵御下賜金

聖恩の洪大なる復又た本島社會事業御奬勵の思召を以て御下賜ありたる旨二月十一日宮内省より總督府に傳達があり其旨告示第十四號を以て同日の府報に公示された、其の團體名及賜金額は左の通りで恩賜金は其後嚴肅なる傳達式を經て下付された。

一金五百圓 臺北仁濟院　一金四百圓 護國十善會
一金五百圓 臺南慈惠院　一金四百圓 私立臺北盲啞學校
一金五百圓 臺中慈惠院　一金四百圓 臺灣婦人慈善會
一金五百圓 嘉義慈惠院　一金四百圓 臺灣三成協會
一金五百圓 林本源博愛醫院　一金三百圓 新竹街救濟會
一金五百圓 彰化基督敎醫院　一金三百圓 存仁院
一金五百圓 臺南新樓病院　一金三百圓 基隆夜學校
一金四百圓 恩賜財團明治救濟會　一金二百圓 枋寮青年會
一金四百圓 恩賜財團大正救濟會　一金二百圓 日宗施療院
一金四百圓 高雄慈惠院　一金二百圓 博濟社
一金四百圓 新竹慈惠院　一金二百圓 覺世堂施濟會
一金四百圓 澎湖普濟院

## 總督府より下付の社會事業奬勵金

總督府に於ては二月十一日紀元節の佳辰に方り社會改善又は社會敎化事業奬勵の爲め豫て是等の事業に盡瘁せる左記十九團體に對し其の事業助成の爲め金百五十圓宛を下付せられ同日吉田長官代理から各州知事廳長に宛其旨通達を發し各州廳に於て夫々下付の手續に及んだ。

臺北州 ▲文山郡「新店庄同風會大坪林支會」▲海山郡「三峽同風會」▲文山郡「深坑庄同風會景尾支會」

新竹州 ▲桃園郡「桃園街國語練習會」▲同郡「八塊庄地方青年會」▲同郡「桃園街家長會」

臺中州 ▲北斗郡二林庄「萬興國語普及會」▲大甲郡清水街「清水國語練習會」▲豐原郡豐原街「豐原女子國語練習會」

臺南州 ▲新營郡鹽水街「自勵會」▲「臺南市青年團」▲虎尾郡西螺街「西螺青年會」

高雄州 ▲屏東郡「里港庄國語講習會」▲潮洲郡「潮洲青年會」▲鳳山郡鳳山街「鳳山青年會」

臺東廳 ▲「臺東支廳國語普及會」△卑南區「卑南青年會」

花蓮港廳 ▲鳳林區「林田青年會」▲同區「太巴塱夜學會」

## 鄭成功に祭資料御下賜

日本人田川氏を母とする明朝の遺臣鄭成功が八十萬と號する兵を率ゐて清と戰ひ金陵一敗の後臺灣に據り兵を農に寓して開拓に力め徐ろに明朝恢復を策したるも鄭氏三代志業遂に成らざりしことは世普く知る所であるが、改隷三十年這回　皇太子殿下御成婚に付

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

畏き邊りに於かせられては鄭成功が臺灣開發の偉功表旌の御思召を以て去月九日付祭粢料一封を御下賜相成りたるは洵に有り難き極みで定めし此の孤忠清節の義人は　天恩の渥きに地下に感泣したことであらう、右に付二月十一日午前九時松井臺南州知事を初め官民諸氏は開山神社に參拜して奉告記念祭を執行した。

## 獻穀田田植祭

臺中州豐原郡上南坑の新嘗祭獻穀田田植祭は二月十九日午前十時より常吉知事を初め總督府及州郡の關係諸官會同し街庄長學校長學校兒童も參列、嚴肅なる祭儀ありたる後田植式を擧行し終つて一同玉串を捧げて十一時閉式を告げた。

## 地方改良講習會と視學講習

總督府內務局は這回地方行政改良の目的を以て第一回地方改良講習會を總督府に開いた、講習員は直接地方行政の監督指導の任に當るべき、各州廳の係長及郡守、庶務課長、市尹、街庄長助役にして講習科目は、地方制度の要旨、地方行政事務、社會敎化、地方敎育施設、森林行政、近時財政の趨勢、社會事業、衛生施設、水產行政、農業倉庫、產業組合、土木行政、對外發展の基礎、民族性等の十四項目、又た講習期間は三月三日より十日間、講師は乘杉文部省事務官、生江元內務省囑託の外、府內關係諸官にして同十二日全部講了閉會を告げた。又た全島視學及小公學校長講習會は三月四日より五日間臺北醫專講堂に開かれたが兩者共其第一日別項の如き總務長官代理の訓示があり會員は孰れも熱心に講習修了した

## 民事調停主任會議と林務主任會議

法務部に於ては全島各州調停課長及各廳調停主任を招集し三月六日より三日間調停事務に關する會議を總督府に開いた。又た殖產局にては全島林務主務を招集して三月三日より三日間林務に關する會議を總督府に開いた。兩者孰れも其第一日別項の如く訓示（調停は長官代理、林務は殖產局長の）があり會議は何れも緊張したものであつた。

## 內田總督の歸府

內田總督は莅任後始めて臺灣總督として議會に臨むべく去る一月十一日小林祕書官を隨へて東上せられ爾來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議會其他の用務に鞅掌せられてあつたが衆議院解散の結果自然歸府せらるゝことゝなり退京前沼津に天機を奉伺し二十四日神戶出發二十八日無事歸臺せられたが基隆及臺北には例により官民多數の出迎があつた、總督は著後直ちに臺灣神社に參拜された。

### 内田總督 危道豐氏を招宴す

福建督理王永泉氏の命を帶びて臺灣總督竝軍司令官其他へ敬意を表すべく來臺せる同參謀長危道豐氏は折柄内田總督上京不在中の爲め全島各地を視察し官民の歡迎を受けつゝあつたが總督は歸臺と共に三月一日危氏及林副官を主賓とし官民五十餘氏を陪賓として官邸に送別會を開き主客の間に懇切なる敍禮辭特に日支親善に關し眞摯なる應酬があり相互乾盃して歡談興を盡した因に危氏は其翌日出發歸途に就いた。

霧社の櫻（樹下に在るは蕃社の美人）

### 全島小公學校兒童優秀作文

内田總督の發意により臺灣教育會は作文獎勵の爲め去る一月八日一齊に全島小公學校第三學年以上の兒童全部に作文を課した、其の課題は三、四學年「斯年を迎へて」五、六學年「年の始」高等科「今年の覺悟」で其の篇數は實に十八萬篇内外と算せられたが嚴正公明なる審査を經て二月十一日其の成績を發表したる結果は優秀なるもの小學校兒童に於て三十名、公學校兒童に於て三十名、(選外佳作六名)其中臺北師範附屬小學校は最多數を占め一般に作文獎勵の效果著るしきものがあつた。

▼正誤　前號時報欄、御下賜金表彰其他の項中、社會事業功勞者として表彰されたるは既報五氏の外、デヴィットランスパロを加へて六氏となるに付訂正す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 地方の改良進歩に就て

吉田總務長官代理の訓示

今回總督府に於きまして、地方改良講習會を催ほすことゝなり、本日を以て第一回の講習會を開くことに成りました。就て茲に一言講習會開催の趣旨を陳べて諸君の御心得に致したいのであります。

世界の大勢は、駸々として日に月に開明の域に進みつゝあるのであります。又之と同時に、列國の競爭も益ゝ激甚を加ふる有樣であります。吾人此の間に處しまして、國運の發展を冀はむと致しますには、決して一日の偸安を許さぬ次第であります。須らく七千萬の同胞は、倶に協力一致して國運の隆盛を圖らねばならぬと云ふことは、茲に申す迄もないのであります。然るに此の國運の發展と云ふことは、先づ地方團體、卽ち內地で申せば府縣市町村、臺灣で申せば州市街庄の如き、地方の改良進歩に據らざれば、到底其の目的を達成することは出來ないのであります。古來、地方が疲弊して尙國家が繁榮を保ち得た、と云ふ例は無いのであります。此の意味に於きまして、地方の改良進歩は、卽ち國家の改良進歩であ

りまして、國家の基本は寧ろ地方に在り、と云ふも過言でないのであります。斯の如き次第でありますから、近時學者も政治家も、益々地方行政に向つて意を傾け、力を盡す樣になつたのであります。勿論、中央の行政を閑却して可い、と云ふ譯では決して無いのであります。が、地方が萎靡不振の狀態でありましては、幾ら中央の行政を善美にし、國運の發展を圖らむと努めました處で、到底健全なる國家の發達を期することは出來ないのであります。今之を人體に例へて見ますれば、頭部のみ血液が充實しても、四肢が冷却すると云ふことになりますれば、其の人體は、決して健康を持續することは出來ず、終局は腦充血にて倒れる、と云ふ運命に到達すると同樣に、總ての財產、總ての智識が、中央にのみ集中して、地方は疲弊の狀態に在りとしますれば、其の國家は、早晚倒壞を免れないのであります。故に、人體の血液が頭上より手足の爪先まで、循環して居らなくてはならぬ如く、國家に在りても、獨り中央のみならず、地方も均しく進步發達して居らなくてはならぬのであります。此の見地よりしまして、今回茲に第一回地方改良講習會を開催し、本島の地方團體の指導監督上、必要なる科目の講習を爲し、以て其の改善進步を促し、延て國家の發展に資せむとすることに成りましたのであります。が、これは小にして臺灣の爲め、大にしては我が帝國の爲め、目下最も緊要なる施設だと思ふのであります。

元來、地方團體の、優良なるも優良ならざるも、其の原因は、主として其の團體の當局者に

人を得、且つ其の指導監督の宜しきを得たるや否や、と云ふことに歸するのであります、曾て難治の地とし、又は紊亂の團體たりしものも、一旦當局者に其の人を得たる爲め、穢然面目を一新し、舊來の荒廢を挽回して優良團體となりしことは、內外共に其の實例に乏しくないのであります。故に、此の邊の處より考へて見ましても、今日臺灣の地方團體の改善進步を圖らむとしまするには、先づ之が指導監督の任に當るべき適當な人を、作り出すと云ふことが、最も急務なりと信ずるのであります。これ即ち今回講習會を開くに至つた所以であります。講習期間は、僅か十日間なるも、講義は悉く實地に應用して最も適切にして有益なるものでありますから、諸君は充分に講習を受けられ、講習に依つて得られたる智識は、各地方に夫々齎らし歸られて、所屬長官の指揮の下に、之を實地に適用し、本會の趣旨のある處を、充分に發揮せられむことを祈る次第であります。

—大正十三年三月三日總督府に開かれたる第一回地方改良講習會にかて（標題は便宜編者附す）—

# 社會敎育の進展に就て

吉田總務長官代理の訓示

今次、第三回視學講習會と共に、本年度第六回小公學校敎員講習會を開催するに當り、聊か所懷を抒へて訓示となす。

曩に地方官會議に際し、總督閣下は、特に學校の柵外に於ける敎育、卽ち學校を中心として、汎く其の感化を社會全般に及ぼすべき敎育、竝に進みては廣義の社會敎育の、緊切なる所以を訓示せられたり、實に社會敎育は、學校敎育と密接なる關係に在り。今兩者の發達によりて、民心を指導し、國家及社會の福利を增進すべきは、今更呶々を要せざる所。殊に四圍の狀勢竝に島民思想の傾向を察するに、益〻社會敎育の進展を要する現況にして、本講習開催の趣旨亦玆に存す。諸君は、職に敎育の向上改善に當り、常に學校敎育と、社會敎化との充實に腐心せらるゝものなり。庶幾は、徒に形式的施設に趨ることなく、能く實質的效果を擧げむことに努力せられ、以て國民の歸嚮を明かにし、世の風敎を改善して、克く島民の福利を圖られむことを。

—大正十三年三月四日總督府に開かれたる視學及小公學校敎員講習會に於て（標題編者附す）—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 林業の振興に就て

喜多殖産局長の訓示

諸君、一般産業に關しては、毎年勸業課長會議を開催して、實行上の方針を指示し來りましたが、今や特に林業の伸展を圖る爲め、新たに振興の計畫を樹立する必要を感じ居る折柄、事業實行の衝に當らるゝ諸君の會同を求め、其意見を徴し、協議を遂くべく茲に本會議の開催を見るに至りたるは、私の欣幸とする處であります。

惟ふに林政の要諦は、林産の供給を保續し、併せて治水砂防國土保安の根源を理むるに在りと存します。而して全土の八割を占むる本島林野も、積年濫伐、野火の弊を受けて、資源漸次減少しつゝある狀態であります。一方、林産の需用は、逐年增進の趨勢に在りますから、林野の保護取締を勵行して林地の荒廢を防ぎ、又殖林を促進して林力の恢復を圖り、一は林産の增殖木材の需給に就き各地適應の方策を按し、一は治水の確保、國土の保安に一層の努力を拂ふことは、當面の急務なりと信するのであります。而して大正五年以來施行せ

られて居る内務局所管の普通行政區域内國有林野の整理事業も、近く完了致す豫定で、要存置國有林野の地域も亦該事業の進捗と共に確定致す次第であります。從て殖產局に於ても、此際林業を永遠に保續經營するに必要なる地域を劃し、科學的見地に基きて植伐の順序を定め、施業の方針を確立して、一定期間に於ける森林收穫を豫定するの目的を以て、本年度より一般國有林野施業案の編成に著手致しました。但だ豫算の關係上、小規模を以て目下臺中州管内國有林野に就て調査致して居る次第であります。將來は本施業案に依り、國有森林を合理的に經營致し、又別途に大正十年度以降實査中に在ります九大河川流域に於ける森林治水調査の完了と相俟つて、林政上遺憾なき施業を期したいと思ひます。

林野の保護に就ては、從來常に周致なる取締の勵行を期しつゝあるに拘らず、尚ほ盜伐、過伐、濫墾、山火事等の被害尠からざるは、誠に遺憾とする處であります。此等森林の被害は、大正八年森林警察機關の設置せられましてより以來、逐年累加の傾向を示して居ります是れ一は取締の漸く周致なるが爲めに、發見數の遞增したる結果でありませうが、乍併尚ほ未だ減退の域に達して居らぬ樣に認めて居ります。今後一層地方警察官との連絡を密にし、其他適當なる方法により、嚴正に林野取締の周到を期し、被害を未然に防止することに、徹底的に努力せられんことを、茲に特に切望致す次第であります。尚本年一月一日より實施せられたる新刑事訴訟法は、諸君の既に御承知の通り、世界に比例なき好法典として

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

稱賛せられ、其道義を尊重して良風美俗の保護に大なる考慮を拂ひ、更に被疑者私權の擁護に付ては、汎ゆる場面に一大刷新を加へたるは、顯著なる事實であります。從て諸君が司法警察官の職務を執行するに當りましても、常に充分斯法の研究を重ね、又實際問題に當りては、其事件が自己職權の範圍に屬するや否やに付愼重精査し、法令の運用と職權の執行上、萬遺漏なきを期せられんことを切望して已まぬ次第であります。

次に現在本島に於ける保安林の面積は十三萬甲にして、林野全面積の五分に足らぬ現況でありまするが、併しながら之が施業の如何は、國土保安上影響する處極めて重大であります。即ち其の施業に就ては、特別の注意を拂ひ、之が設定の效果を充分擧げることに努力せねばなりませぬ。然るに動もすれば、無願伐採開墾等行はれ、其他施業方法の指定豫期の如く行はれないものがあります。今後一層適切なる指導監督に努むると共に、保安林の目的を害せざる範圍に於て、立木竹の經濟的利用を進め、併せて林相の改善を圖るに努め、充分保安林の效果を全ふせしむることが必要であります。由來世間では保安林編入を以て過酷なる所有權の制限なりとし、或は又絕對禁伐林なるが如くに考へて居りますのは、是れ一は保安林の實質を充分諒解せざるに基因するものでありまして、之が爲め延ては保安林處分を困難ならしむるものでありますから、該林施業の指導監督に關しては、今後一層留意されて、之が改善に努められんことを切望致します。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國有林産物の需用は、依然遞增の大勢に在りまして、今後各種産業の進展に伴ひ、益々增加し來るべきことは瞭かなる處であります。之が供給を圓滑ならしむるには、劃切なる處分方針の確立に俟たねばなりませぬ。由來國有林産物の處分は、單に標準單價に依りて賣下げ來つたのでありまするが、大正十一年四月處分方法を改定致し、市價の騰落生産費の增減を斟酌して、合理的に算定したる資材價に依りて處分することゝ相成り、又併せて林産收入の增額を圖ることゝ相成りましたが、爾來日尙淺きに拘らず、諸君が克く其の意を體し、努力せられたる結果、豫期の實蹟を擧げつゝありますることは、數字の上に於て明かなる事實でありまして、洵に欣ぶべき現象であります。今後とも愼重に能く正當なる資材價の算定を究むるは勿論、常に森林の保續を念とし、且つ賣拂材木に對しては、集約なる利用を促すことに、一層の努力を望む次第であります。

大正十年に於ける本島森林の植伐關係を見まするに、伐採面積一萬四千甲であるに拘らず、人工造林面積一萬一千甲に過ぎませぬ。依然植伐相伴はざる跛行的狀態を持續して無立木地の更に擴大するは、憂慮に堪へぬ次第であります。而して大正五年以降、施行中に在る內務局所管の保管林、其他官有林野の緣故拂下處分事業が近く完了致す時でありますから、一層民林の指導奬勵に力を盡し、官營植林と相俟て治山殖林の實を擧くるは、機宜に適したる方策なりと信ずるのであります。

又海岸砂防造林事業は、大正十一年度以降、地方公共團體の經營に委託したのでありますが、海岸飛砂防止の施業は、既往の實蹟に徵するも、不斷の努力を俟つにあらざれば、決して成功の域に達することは出來ぬのであります。地方公共團體に此等の趣旨を體せしめ、適當なる施業の下に飛砂鎭定、國土保安の實を擧げしめ、地方福利の維持上、遺憾なきを期せられんことを切望致します。

此外林木の利用上に就ても、或は本島產木炭の商業價値の向上の如き、或は鐵道枕木の自給自足の如き、或は森林勞働者としての蕃人の價値を研究するが如き、幾多當面せる諸問題は、吾々の前に橫つて居ります。私は諸君の眞摯なる研究と、熱誠なる努力とに信賴し、一日も早く是等の諸問題を解決して、本島林業の作興を圖りたいと存じます。

—大正十三年三月三日總督府に開かれたる林務主任會議に於て(標題は便宜編者附す)—

# 民事爭訟調停の發展に就て

吉田總務長官代理の訓示

茲に第八回民事調停協議會を開催し、親しく各位に相見ゆるは本官の尤も欣幸とする所で御座います。

申すまでもなく民事調停は、裁判と等しく私權保護に關する一の制度でありまして、本島には二十餘年前より之れを施行し來り、頗る良好なる成績を收めつつあることは、各位と共に本官の滿足する所であります。御承知の如く近來裁判の簡易化と云ふことが唱へられて居りますが、內地に在りては大正十一年に至り借地借家調停法が制定公布せられ、先づ以て五大都市に施行したる所、其の成績大に見るべきものあり、殊に昨年九月關東地方に於ける曠古の大震災後、東都の所謂假小屋建設問題に關しまして、裁判所は各區十數箇所に出張所を設け、調停を試み、紛爭の大部分が圓滿なる解決を告げ、豫想以上の成績を擧げつつあるは、以て如何に此の制度が民情に合致し、時代の要求に適應して居るかを察知することが出來ると信じます。此れが爲め政府は今や小作爭議及商事紛爭に付ても、調

停法の立案を急ぎつゝある狀況であります。亦學者識者の中には、勞働問題とか家庭の紛爭に關する事件等に付ても、調停制度を採用せんとするの聲漸く盛ならんとする趨勢にある次第であります。是れ畢竟するに調停は所謂裁判と異なりまして、著しく手續の簡易、費用の節約及結了の迅速なるが爲めで御座います、裁判は法律を適用する專門家に依つて、極めて鄭重に拔け目なく爭議を審判するのでありまして、私權保護上缺く可からざる制度であることは申すまでも御座いませぬが、奈何せん事物には一長一短がありまして、裁判も亦其數を免るゝことが出來ませぬ。多くの時間と多くの費用とを要することは、今日私權保護の手段としては、短所と云はなければならないのであります。民事調停は實に此の短所を補ふに最も適當なる制度であります。之れが即ち調停制度を以て、民情に合致し、時代の要求に適應すと云ふ所以でありまして、內地に於て調停制度を漸次擴張せられ益發展せんとしつゝある理由であると信じます。顧みるに本島に於ける調停制度は、調停すべき事項に關しまして、種類價格に何等の制限なく、頗る廣汎にして民事紛爭の全般に涉つて居る次第でありまして、尙事件も激增し昨大正十二年は實に一萬一千七百十八件を計上するに至りました。以て如何に各位の職責重大なるかを推知することが出來るのであります。加之、大正十年法律第三號制定公布以來、漸次諸種の法律が本島に施行せらるる方針となりまして、遂に大正十一年勅令第四百六號及第四百七號を以て、同十二年一月

一日より民法商法等所謂私權に關する諸種の重要なる法律が本島に施行せられました。由是本島民の私權の保護は層一層强固となり、其の私權の享有行使は、法治國民として漸次內地に於ける夫れと軒輊なきに至らんとして居る次第であります。各位は克く此の時代の趨勢に意を注ぎ、人情の機微を察知し、其の職務に盡力せられむことを希望して止まない次第であります。

——大正十三年三月六日總督府に於ける調停主任會議に於て（標題は便宜編者附す）——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣昨年の外國貿易

臺灣總督府稅關長　木村英俊

## 一　總說

大正十二年中に於ける本島內外貿易總額は三億八百七十二萬圓にして、內輸移出一億九千八百六十萬圓、輸移入一億一千十二萬圓を算し、輸移出超過額正に八千八百四十六萬圓を計上せり。今之を前年の貿易總額二億七千七百萬圓に對比するときは、三千百七十萬圓(一割强)の增加を示し、改隸當時僅々二、三千萬圓の貿易額に比し正に十倍に當り、其の貿易の殷盛なる二十有九年前の往昔を顧みて實に隔世の感ありと謂ふべし。されば對內地貿易は暫く之を措き、今は單に外國貿易に就き其の槪況を究むるも亦徒爾にあらざるべし。乃ち本年輸出額は二千九百十五萬圓、輸入額三千九百十一萬圓にして、其の總額六千八百二十六萬圓を示し、彼の最高記錄たる大正八年の九千九百七十萬圓に對しては尙遙かに遜色ありと雖も、前年の六千七百萬圓に

比し稍々伸張を示したりと謂ふべく、更に之を詳細に檢するときは、其の輸出は百四十一萬圓(五分弱)を減少し、輸入は二百十八萬圓(六分)を增加し、出入の差擴大して一千萬圓の輸入超過を現し、貿易の逆調を大ならしむるに至れり。先づ其の情況を各港に就き之を觀るに卽ち左表の如し。

□大正十二年輸出入高港別前年對照表（單位圓）

| 港別 | 輸出 十二年 | 輸出 十一年 | 輸入 十二年 | 輸入 十一年 | 計 十二年 | 計 十一年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基隆 | 一三、〇七三、〇六三 | 一四、六八九、〇五七 | 一四、三六三、〇七八 | 一三、五七九、三七九 | 二七、三三六、一四一 | 二八、二六八、四三六 |
| 臺北 | 九、九四九、八三六 | 九、八一九、一三六 | 二、五九四、二八六 | 二、六二一、三七七 | 一二、五四四、一一二 | 一二、四三〇、九〇三 |
| 淡水 | 七〇八、二六八 | 六四〇、四二五 | 二、三七六、四一四 | 二、三九一、八六四 | 三、〇八四、六八二 | 二、八九三、二八九 |
| 舊港 | 一五四、六七五 | 一三九、一三四 | 二二〇、八八九 | 一二四、三三三 | 三七五、五六四 | 二六三、三九七 |
| 後龍 | 九〇、七三〇 | 一四七、五一五 | 一二三、九〇六 | 二七六、九六六 | 二六三、六三六 | 四二四、四八一 |
| 梧棲 | 一七、九八〇 | 四九、九五三 | 一三一、四四三 | 一七五、八八一 | 一四九、四〇三 | 二二九、八三四 |
| 鹿港 | 八三、四一七 | 一〇三、六九五 | 三四〇、一四二 | 二四三、九三九 | 四二三、五九九 | 三四七、六三四 |
| 東石 | 八九、四九三 | 八一、四三六 | 八四九、〇三二 | 二、〇一九、一〇〇 | 九三四、五二五 | 二、一〇〇、九三六 |
| 安平 | 三三、二八五 | 一二四、五四五 | 一、三三三、〇九八 | 一、二四〇、一八一 | 一、二五五、三四三 | 一、三五四、七〇六 |
| 高雄 | 四、八九五、七五八 | 四、七一〇、九五〇 | 一六、八〇六、九一二 | 一四、三二八、三四九 | 二一、七〇二、六七〇 | 一八、九二八、八九九 |
| 馬公 | 六〇、九六二 | 六八、〇五三 | 一四四、三〇七 | 一七九、六三五 | 一九五、一六九 | 二四七、六八八 |
| 計 | 二九、一五三、四五七 | 三〇、五六三、四八九 | 三九、二一一、三六七 | 三六、九二二、八七四 | 六八、二六三、八〇四 | 六七、四八五、三六三 |

世界戰局の好影響を受けて至大の進展を遂げたる本島內外貿易は、戰後依然として好況裡に推移せしが、大正九年三月突發せる經濟界の大動搖に逢着し、同年下半期より稍〻不振を現出せり。然れ共前年の情勢は優に其の貿易總額三億九千萬圓なる最高記錄を作り、爾來經濟界の反動愈〻顯著なるに從ひ、漸次減退して昨十一年は遂に二億七千萬圓に減せしが、本年再び好轉して三億圓を越ゆるの盛況を見るに至れり。蓋し戰

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

亂の好影響を受けて異狀に膨脹せる本島經濟界は、玆に反動的大打擊の襲來に驚き、急遽之が整理緊縮を斷行するの止むなきに至り、各般事業は概ね中止又は縮少せられ、積極的計畫の見るべきものなく、株式は暴落し、內地銀行の破綻は島內金融業者の警戒となりて金融は梗塞し、商取引益々圓滑を缺き、財界不況の濃度を加ふるに及び、主要產品たる米・糖の不振は地方購買力を減殺し、惹て貿易の萎靡を招き、上述の如き退嬰を誘致せり。然りと雖も前年末期よりは不況の中にも稍々財界恢復の曙光の認めらるゝあり、殊に本年季初所謂中間景氣の出現に依り、主要產業一齊に擡頭氣勢を示し、一方金融業者の整理其の業に就くと共に所謂三銀行の合同に依りて斯業の堅實なる發展を期するあり、更に又內地大銀行の本島に其の業務を擴張せるあり、爲めに金融漸く圓滑ならんとし、眞に一陽來復の趣あり。而て對支貿易は排日貨運動の災害を被りしと雖も、米・糖・茶の好況に依り、前年同期に比し頗る生色あり。後半期に入りては之が反動的沈靜の中に尙ほ本島財界は積極的道程を辿りつゝありしに、端なくも彼の關東地方の大震災は重大なる暗影を投じ、玆に再び逆轉して消極的退步を餘儀なくするに及び、財界は頓に沈衰挫折するに至れり。以來四箇月間は極めて消極的平靜裡に經過せしが、本島貿易に及ぼせる影響は劇甚なるに至らず。寧ろ日貨抵制の終息燒失糖の補充復興材料の需要喚起等、却て好響を齎せるものと謂ふべし。

今本島貿易と密接の關係を有する各方面の經濟界を觀るに、內地に於ては戰後反動以來、各方面に涉り整理恢復に焦慮しつゝありと雖も、尙未だ安定を得るに至らず。年初米國財界の活躍、佛國の「ルール」占領に基く中間景氣の刺戟を受け聊か活氣を呈するに至り、株式騰貴して物價は昂上し、一齊に好景氣來を唱へられたるも、爾後再び英米財界の惡化並に貿易の逆調に、金融業者の警戒依然として嚴重を極め、其の前途到底樂觀を許さゞるの時、大震災突發に依り、財界は一時金融杜絕、取引停止せられ、全く混亂狀態に陷りし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、政府の措置機宜に適し、概して平穩裡に經過せり。然りと雖も信用極端に委縮して取引、一層の困難を加へ、各大工場の大破又は全滅せるもの、又は物資の損害等、實に百億圓と稱せられ、輸出の不振に加ふるに、復興材料の入津異數の多額を算し、貿易の逆調著しく、遂に入超五億圓を超ゆるの悲境裡に越年せり。更に一轉して對岸支那の情勢を視るに、依然として世界的不況を脫する能はざるは固より、數年に涉る政爭と近年國貨提唱の宣傳せらるゝに從ひ、彼地製造工業の迅速なる發達とは、直接間接に對本島貿易を阻害すること大なるのみならず、本年四月再發せる排日貨運動は殆んど中南支の全土を捲席し、半歲の久しきに亙りて頗る峻烈執拗を極めたれば、之が打擊を蒙むること激甚なるものありて、對支貿易の前途尠からず悲觀せられたりしが、季末に及び漸く鎭靜に歸し、交易の恢復を見るに至れり。

次に香港に於ては、廣東政變の影響と排日貨運動の波及とあり、一時商況不振に遭遇し、南洋方面亦た支那人の該運動多少の惡材料たりしと雖も、棉花・護謨・砂糖・錫等の好況、濠洲炭礦坑夫の大罷業は、本島輸出貿易に好果を與へ、爲替相場の變動を利用し、黃麻・砂糖・小麥等の入津滋く、對南洋貿易は頗る活況を呈せり。更に歐洲に眼を轉ずれば、英國に於ては戰後國內產業の復興、商權の恢復に銳意せる結果、久しく沈靜裡に在りし同國經濟界も、主要產業たる織物・紡績・鐵・石炭等、漸次恢復と共に一般好轉の曙光を認むるに至り、大陸方面に於ては、獨佛關係圓滿ならず、賠償問題に關聯せる確執は遂に佛國のルール占領の決行となり、爲めに世界的中間景氣の源泉を爲せしが、產業取引稍々活況を持し、獨逸に在りては、國情安定せず、產業不振・國內疲弊甚しく、マーク相場の極端なる崩落は、國際信用殆んど皆無に等しく、取引全然不能の狀態に陷り、從て對本島貿易として見るべきものなく、再轉して米國を見れば、戰後最も早く經濟界の恢復を見たりしが、本年初頭世界的中間景氣に物價漸騰の氣勢を示し、商況頗る活躍の觀あり、爾後再

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

び沈靜に歸せしと雖も、甚しく惡化するに至らず、著々として堅實なる發達を促し、農産物增收、對外貿易の好調は、爲替關係の有利と共に金融狀態良好にして、從て茶・樟腦の輸出、諸機械並建築材の輸入等、對本島貿易の作振上ゝ寄與する所大なるものあり。

要するに、日貨抵制、財界不安定、關東大震災の、諸災厄の間に在りて能く製糖・製紛事業の發展・米・茶・芭蕉實等、農産品の好況並に石炭・樟腦・木材の輸移出、小麥・錫・硫酸肥料の輸移入の增進等、環境の事情頗る有利に展開せるは、本島外國貿易の再興を促進し、遂に前年を超越するの盛況を招致せるものとす。

## 二　輸出貿易

本年輸出貿易の實蹟を檢するに、其の主要品十種中前年に比し增加せるもの五品を計へ、減退せるもの四品、數量に增加し價額に減退せるもの一品を加へ、單に價額に就て觀るに、增減相半ばせるが、就中其の增額せるは、酒精の六十五萬圓を首位に、錫の四十八萬圓、以下之に次ぎ減退せるは、樟腦の百十萬圓を最高とし、綿織物の七十萬圓、砂糖の五十萬圓等相隨ひ、彼此相殺して結局百四十萬圓（五分弱）の減退に歸せり。即ち表示すれば左の如し。

### 口輸出重要品前年對照表

| 品名 | 單位 | 大正十二年 | | 大正十一年 | | 增×減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 | 數量 | 價額 |
| 石炭 | 噸 | 四八四、九一三 | 五、六九五、〇一〇 | 四六八、七一三 | 五、七一九、一八八 | 一六、二〇〇 | ×二四、一七八 |
| 烏龍茶 | 斤 | 九、七七〇、三五四 | 五、一六〇、九六五 | 八、九六一、五〇三 | 四、八六七、六六二 | 八〇八、八五一 | 二九三、三〇三 |
| 包種茶 | 同 | 六、〇七七、三〇八 | 四、六八三、七三七 | 五、九一四、七六六 | 四、六三九、四五九 | 一六二、五四二 | 四四、二七八 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 樟腦 | 同 | 一、八八三、三〇九 | 三、三〇九、三二四 | 二、九〇九、一九七 | 四、四一七、九七七 | ×六二五、八四八 | ×一、一一二、七五六 |
| 砂糖 | 同 | 一六、〇六六、三二五 | 二三、二三〇、一〇七 | 一九、七三三、〇九九 | 二、七四八、八二五 | ×三、六六八、八三四 | ×五一八、七一八 |
| 酒精 | 同 | 二、三三〇、一二〇 | 一、三〇〇、一九八 | 二、三八四、三一四 | 六二九、三七五 | 九三九、八〇六 | 六七四、九二三 |
| セメント | 同 | 二五、七一六、四〇三 | 六九、三二〇、三三〇 | 四五、三四〇、三四三 | 一、二〇七、〇三七 | ×一九、六二三、九四〇 | ×四九九、〇〇七 |
| 鹹魚乾魚 | 同 | 四、二九六、四八〇 | 五六四、九七一 | 五、一三四、〇〇四 | 五九八、〇二一 | ×八七七、九二四 | ×三一、四四〇 |
| 錫 | 同 | 一、六九七、八四五 | 五三三、六六二 | 一〇〇、九三三 | 九四、三三九 | 一、九八七、三一三 | 四七九、三三五 |
| 龍眼 | 同 | 四、三七七、九九一 | 四八〇、三八六 | 四九四、八三二 | 一三九、〇〇五 | 三八八、三七九 | 三三五、三八一 |
| 其他諸品 | | — | 四、九八六、五四七 | — | 五、六九三、七二一 | — | ×一、〇八六、一六四 |
| 計 | | — | 三九、一五二、四三七 | — | 三〇、九六三、四八九 | — | ×一、四一一、〇九三 |

即ち輸出貿易は、前表の如く前年に比し多少の遜色あるを免れざりしは、內外財界の未だ健全なる恢復期に到達せざるに主因すべしと雖も、又人爲的迫害に基く退嬰を含むものとするを妥當とせんか。今各品に就き少しく之が消長を窺はんに、先づ

●●石炭　は本島主要貿易品中に於ても其の發展最も迅速顯著にして、彼の大正元年僅かに三十萬噸に滿たざりし出炭額は、戰局の好影響に浴して逐年增進し、大正八年には百萬噸を超え、爾來累進して前十一年には百二十五萬噸を產出し、本年更に進みて百四十萬噸を豫想せらるゝに至れり。飜つて之が輸出の狀況を見るに、本島炭唯一の顧客たる香港・廣東方面に於ては、內地炭・撫順炭・鴻基炭等の出廻り旺盛にして、前年の如き本島炭の活躍を見るに至らず。加ふるに彼の排日貨運動に政情の動搖ありて、本品輸出頗る難色あり沿道炭の如き殆んど顧みられざるの趣ありしが、夏季に入りて漸次廣東方面の政情安定するに及び稍々好轉し、內地方面出炭制限、暴風雨等に基く出廻り減少、撫順炭坑の爆發、滌洲炭坑夫の大罷業等、一時的にも本島炭に好影響を及ぼし、炭界茲に生色を認むるに至り、次で關東大震災は、廣東生絲工場の一齊活動を促

し、地理的優越と永年取引の堅き根底を有する本島一等炭への注文殺到となり、季節的需要と相俟つて棹尾の活況を呈し、其の量聊か前年を凌駕するに至りしも、前半期に於ける不況に炭價低落は遂に其の價額に於て前年に一歩を讓るに至れり。

**烏龍茶** の唯一の消費地たる米國に於ては、戰亂の終局と共に全く本品需要の均衡を失し、世界的不況と相俟つて一時悲況に沈淪せしが、其の後歐洲方面需要復活と印度・錫蘭茶の輸入減退は自然的需要の調節となり、米國財界の恢復と共に前年來頓に好況を呈し、本年端境期に於ては各種茶在庫一掃せられたるのみならず、時恰も同國財界の所謂中間景氣に際會して、茶價昂騰し其の前途遽に逆賭すべからざるものあり、其の活況は直に本島に反映し市場の活躍目覺しく、一方當局に於ては本年新に製茶檢查規則を制定して品質の向上統一を期する等、鋭意本品の發展に助力せるあり、旁々輸出商の宣傳宜きを得て其の販路の擴張を見つゝありしに、中間景氣の消滅は茶價一齊に崩落を演じ、爾後紅茶は再び擡頭氣配を示せるに、獨り烏龍茶は下落歩調を辿り、九月以降は天氣不良に依る出廻薄と輸出商の買氣沮喪と相重疊し、一時三十八九圓を稱へたる標準茶は三十二三圓に崩落し、市場全く見送商狀なりしが、僅かに歐洲方面の需要轉換に依り幸に前年に超過するの盛況を現示せり。

**包種茶** は前年來好況の後を承け輸出依然として旺盛を持續し、季初南洋方面に於ける砂糖・護謨・錫等主要產品の好景氣は必然的に本品の需要增大し、下半期初頭排日貨風潮の澎湃たるありて、聊か本品の前途懸念せられたるも幸ひに大事に至らず、一面生產方面は天氣不良に優良茶の出廻り薄く、茶價從て下押となり、輸出商は之が買付に焦慮せるも固より所期の目的を達する能はず、烏龍茶の末期の不振に比し尚見るべきものありと雖も、幸ふして前年に比し稍ゝ好果を收め得たりと謂ふべし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

**樟腦** は歐米諸國に於けるセルロイド工業の勃興に伴ひ世界に活躍し、特に戰後に於ける商況頗る殷賑たりしが、一度世界的不況に基の反動甚しく急轉直下し、一昨十年の如き殆んど輸出杜絕に等しき慘狀を呈したりき。爾來當局の之が挽回に鋭意せる結果、前十一年には再び輸出盛況を見るに至り、本年は世界的財界尙不況の域を脫せざると、獨逸人造並に支那樟腦の此の間を攪亂せるはありたるも、固より何等憂ふるに足らず、其の前年に比し茲に數字的に顯著なる退步を示せるが如きも、右は主として原料腦油の生產順調なるに、工場能力の聊か之に伴はざるものあり、原料油の儘之を內地工場に移送せる關係上、製品としての數字を減殺せるに職由し、實際上の輸出高に於ては前年と大なる徑庭を見ざるものとす。

**砂糖** は前年末に於ける糖業聯合會の製造制限の協定となり、當業者は專ら糖價の維持に腐心せるの窮狀に在り、前年期產糖は五百九十萬擔てふ增產を豫想せらるゝあり、海外糖價亦た不況を傳へ、糖業界依然暗雲低迷の觀あり。本品の前途尙未だ樂觀を許さゞりしに、歐洲の一角を源泉とせる春期中間景氣の好刺戟に玖瑪糖の減產、世界消費量の增加說等流布せられ、本島產糖は豫想に十萬擔を減じ、實收五百八十萬擔と決定するに及び、好材料の簇出に內外糖價一齊に奔騰し、往年黃金時代の再現を懷はしむるに至り、內地市場の活躍に移出近年稀有の盛況を呈し、復た海外市場を顧慮するの暇なく。然かも季央排日貨運動に災せられ、輸出全然中絕するに至り、下半期に入りては大震災に消費減、輸送難懸念等にて、島內糖の先安見越買放盛なりしは自然糖價の反落を演じたるに、一面支那方面に於ては本邦の大震災を轉機として排貨漸く鎭靜に歸し、需要復活、爲替關係亦た有利に轉換して、本品輸出樟尾の盛況を見しも、時已に遲く結局前年に比し減退の已むなきに至れり。

**酒精** は前年來對岸地方釀造原料として輸出盛況を見つゝありしが、本年產糖の增額は自然原料糖蜜の豐

富となり、從つて本品亦た生產過剩を懸念せらるゝの狀態に在り、而も本品の大市場たる內地に於ては、市價維持策として供給協定の締結せらるゝありて、到底唐突的進展を策すべきに非ず、一に之が進路を對岸方面に轉せざるべからざるは自然的歸趨にあり、幸ひに同方面需要依然旺盛を持しつゝあり、有利なる爲替其他の好材料を加へ、以て本品輸出異數の增進を告げたり。

**セメント**　は先年內地工場の災害に基き輸出を抑制し、本島產品の上海・大連・香港方面に活躍せしが、支那市場に於て外國產品の入增著しく、特に其の市價に於て到底本邦品の對抗不能の地位にあると同時に、大震災に依り內地大工場の滅失せるもの數箇所に及び、之が生產能力の復舊容易ならざるに、一面復興事業の進行に伴ひ本品の需要益々增加し、從つて內地移出に轉向せるもの多くして輸出の減退を示せり。

**鹹魚及乾魚**　は支那人の嗜好に適し、從來我が仲繼輸出貿易品として重きを爲せるが、前年來環境の事情不利なるものあり、本年又た減退を見るに至れり。蓋し本品中煎子及鹹鰯を以て中堅とせるに、前者は相當好成績を收めたるにも拘はらず、後者に於て原產地北海方面の不漁甚しく、市價昂騰は品薄關係と相俟つて本島移入の退嬰となり、自然輸出餘力の減殺と一方彼の排貨運動に其の進路を厄せられ、加ふるに金融不圓滑等、彼此の事情相錯綜し、結局退步を見るに至れり。

**鰑**　は前年の輸出量に十倍するの大盛況を示現せり。蓋し本年原產地北海方面に於て數年來の大豐漁と稱せられ、優に平年三倍の增獲を告げ、相場從つて漸落步調を辿り、最低二十圓內外に彷徨し、季末需要期に接近して三十圓內外に反撥せるの狀況に在り。而も內地市場に於ける消化は、現時の金融上自ら限度あり、勢ひ本島への移入激增を見るに至りしが、鹹魚等の割高なるに比し市價敍上の如き軟調を呼びしは、財界不況の際一層購買心を唆り、異常の展開を以て輸出を了れり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●龍眼● は隔年豐凶相交互するは周知の事實に屬するが、本年恰も豐年に相當し、槪して三四割の增收を告げ氣候順調等にて結實良好なりしに、對岸支那方面に暴風竝に兵火の災害を被り、減產せる等の事情より本品の輸出を喚起するに至り、前年に比し出增を見るに至れり。

## 三　輸入貿易

大正八年を最高記錄として年次退嬰相踵げる本島輸入貿易は、茲に連年の悲運を挽回して本年再び擡頭氣配を現出せり。今其の內重要品十四種に就き、單に價額の上より之を觀るに、各其の前年に比し增進せるは小麥の六十五萬圓、硫酸アンモニウムの五十九萬圓、毛織物の三十七萬圓、以下五品を算へ、其の減退せるは、砂糖の百六十萬圓最も著しく、大豆の二十二萬圓、以下大小六品相次ぎ、結局二百十八萬圓(六分)の增加を齎せり。更に之を表示すれば左の如し。

□輸入重要品前年對照表

| 品名 | 單位 | 大正十二年 數量 | 大正十二年 價額 | 大正十一年 數量 | 大正十一年 價額 | 增×減 數量 | 增×減 價額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大豆粕 | 斤 | 一六八、七七八、二八一 | 七、六五六、八九〇 | 一五七、九七五、六六四 | 七、八二一、八七七 | 一〇、八〇三、六一七 | ×一六四、九八七 |
| 砂糖 | 同 | 三九、六〇二、七五四 | 四、四四四、六一二 | 五七、一二七、二五一 | 六、〇九九、四〇一 | ×一七、五二四、四九七 | ×一、六五四、七八九 |
| 大豆 | 同 | 三九、六〇九、七八一 | 二、三五一、三九四 | 四〇、四六九、一二七 | 二、五七二、五七九 | ×八五七、三四六 | ×二二一、一八五 |
| 木材 | 同 | — | 二、〇七五、九九一 | — | 二、〇二八、一六五 | — | 四七、八二六 |
| 包蓆 | 枚 | 一一、五七五、九六九 | 一、八八〇、四四六 | 一二、〇五三、七〇一 | 一、六五九、二一六 | ×四七七、七三二 | 二二一、二三〇 |
| 阿片 | 斤 | 一〇一、一七七 | 一、五二〇、六八五 | 一一二、七七一 | 一、六六八、八八三 | ×一一、五九四 | ×一四八、一九八 |
| 石油 | 瓦 | 二八、二一一、六七三 | 一、三五九、一二三 | 二五、四三四、八八一 | 一、三七四、〇〇七 | 二、七七六、七九二 | ×一四、八八四 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小麥 | 斤 | 一四、九九〇、六六二 | 九六七、六〇〇 | 四、七五一、九三七 | 三一八、五〇一 | 一〇、二三八、七二五 | 六四九、〇九九 |
| 硫酸アンモニウム | 同 | 八、九二九、八五五 | 九一九、四〇七 | 三、七四八、二四六 | 三二九、一四五 | 五、一八一、六〇九 | 五九〇、二六二 |
| 家屋橋梁船舶船渠等建設材料 | 同 | 六、四六七、九七三 | 七三一、二八七 | 五、三八八、〇二二 | 六四五、八三七 | 一、〇七九、九五一 | 八五、四五〇 |
| 黄麻 | 同 | 四、五六一、七七七 | 七一四、二一〇 | 二、五八六、三七八 | 四〇三、九二八 | 一、九七五、三九九 | 三一〇、二八二 |
| 毛織物 | 方碼 | 三八八、三七〇 | 五五四、六〇四 | 一三六、五四四 | 一八一、二七三 | 二五一、八二六 | 三七三、三三一 |
| 綿織物 | 同 | 八四六、七七五 | 五四〇、一七四 | 九一二、八九七 | 五九三、八五四 | ×六六、一二二 | ×五三、六八〇 |
| 禮拜紙 | 斤 | 二、〇八〇、六九九 | 五三〇、八七八 | 二、四五八、二八六 | 六二八、二一九 | ×三七七、五八七 | ×九七、三四一 |
| 其他 | — | — | 一三、八六四、一〇六 | — | 一〇、五九六、九八九 | — | 三、二六七、一一七 |
| 計 | — | — | 三九、二一一、三六七 | — | 三六、九二一、八七四 | — | 二、二八九、四九三 |

大豆油糟は他の化學肥料と相竝びて逐年増進を見つゝあり。之れ一に農業知識の進歩に伴ひ施肥觀念の普及に基くは贅言を要せざる處なるが、本品主産地大連方面に於ては、前年末原料大豆の豐作豫想に本品の増産傳へられ、一面內地に於ける生産又増加の傾向に在り、內外市場供給過剩懸念に相場概して軟調なりしに關東大震災は本品の前途に一大暗影を投じ、市價一時に激落せるも、時局安定と共に再び平調に復し、末期に至り大豆の大口買付竝産地の出廻不圓滑等にて稍々反騰せり。顧つて島內の情勢は米糖の好況に益々需要を呼び、其の量に増加せるにも拘はらず、前述の如き産地市價軟弱なりしと、割安なる硫酸肥料の制肘とを受け相場の不況は遂に其の價額を退歩せしめたり。

**大豆**　は直接食料として嗜好せらるゝ以外、味噌醬油等の製造事業の發達と、近年取引關係の著しく改善せられたるとは、惹て島內市價を低減するに至り、需要漸次滿洲大豆に集中せられ、輸入逐年増加の趨勢に在り。然るに本年滿洲原産地作柄稍々不良なりしに拘はらず、歐洲方面への輸出不振に基き相場軟弱を示し前段敍述の事情と共に內地産品に比し割安なりしと、更に九月以降は關稅免除の特典を得る等、旁々本品に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

有利なりしに依り輸入の活況を示し、他方島內產の旱害に基く減收等事情輻湊し、一般需要としては前年に超過するの盛況を告げしも、豆粕原料大豆の入減約四百萬斤に因り、結局は本品計數を減退せしめたり。

**砂糖** は數年來一進一退あり、中間景氣の發生に漸く蘇生の思をなし、玖瑪糖の減產、世界消費量の增加說等に、歐洲甜菜糖の增收を以てしても、尙ほ全く消費を充たす能はざることの明なるに及び、爪哇・玖瑪共に買氣旺盛を加へ、而も末期西班牙に於ける減收八十萬噸と報せられ、終始强材料の重疊に市價常に强調を辿り、一面本島本年期產糖五百八十萬擔の產額を告げ、來年期六百三十萬擔てふ大正六年以來の豐收豫想せらるゝの盛況に在り。然るに數年來糖業者が製糖閑散期を利用して爲せる原料糖の再製事業は、氣候其の他の關係上其の結果期待に副はざるもの多く、本年之を手控へ寧ろ本事業を內地工場に移せるもの多かりしと、尙ほ排貨運動に災せられ、再製輸出の又意に任せざるとは本品の入減を來したるものとす。

**木材** は數年來の財界不況に、土木建築の不振、內地材市價崩落の影響を受けて、市場沈靜裏に本年に入り、更に前途不安なるに鑑み、先づ官有木材の値下斷行せらるゝあり、輸入材亦た其の影響を受けて活況を見るを得ざるに、一面原產地福州方面に於ては李許兩軍の戰亂に加ふるに、排日運動に出材を阻害せられ、入荷多く振はざりしが、米糖の市況好轉するに及び本品稍〻活況を見るに至り、關東震災に原價奔騰せるにも不拘はらず、關稅の免除せらるゝに當り翕然として入津を促し、一面之を加工又は未製の儘震災地に轉送せるもの十數萬圓を算する等、見越輸入と相俟つて僅かに前年に超過するを得たり。蓋し叙上の事情なく平凡裏に本年を終へたらんには、本品の入減頗る大なるもの有りたるは想像に餘りあるべし。

**包蓆** の前年輸入高は、一昨年に倍する大量を計上せるが、本年は逆轉して二十餘萬圓の大減退を示せり。蓋し本品は茶及砂糖の包裝必要品たるより、其の增減は一に右兩品の消長に隨伴するを常理とせるが、本年

輸出烏龍茶の好況に、糖況亦た有利なりしに拘はらず本品の入減を招致せるは、原産地に於ける原料生育不良なると、兵亂に依り製品能力を阻碍し夥しく市價を奔騰し、在荷簿關係と相倚り遂に其の量の入減せるも結局價額に増進せり。

**阿片及葉煙草**の消長も固より一般財界の反映を受くるものありと雖も、其に政府の專賣に屬する關係上、他と稍〻趣を異にせるが、前者は本年輸入に係るもの主として割安なる土耳古品にして、其の減退は政府の漸禁主義に基く。後者は當局の多年指導奬勵の結果、年次効果顯著なるものあり。本年は財界の現狀に考慮し專ら優良葉の收納を期したれば其の量聊か前年に讓れり。而して支那葉の輸入は本年仕入の入荷少かりしと、動亂の惡影響を受けて運輸上支障を見るに至れるとに基き著しき減退を計上せり。

**石油**の燈火用としての需要は電燈の普及に反比するを普通とするも、本年電氣事業の普及尚未だ全からざるは、本品伸張の餘地廣く特に近海漁業の發達に伴ひ需要一層進展を見つゝあるが、本年其の輸入量の増大せる所以は、先つ米國の増産に歸せざるべからず。即ち最近「テキサス」其他三大油田の殆んど同時に發見せられたる爲め忽ち生産過剩を訴へ、百方之が消化に狂奔せる結果は當然諸外國への販路擴張となり、自然本島輸入を激増したれば、島内同業者の販路爭奪愈〻猛烈を極め、市價逐月低落し、季末米國噴油減量の反響に依り高騰せりと雖も、要するに如上の事由に依り兩々相助けて本品の入増を招致せるも、其の價額は却て遞減するの止むなきに至れり。

**小麥**は其の發達極めて近年に屬し、專ら本島製粉事業の發展を語るものなるが、先年臺中に創設せられたる一會社が事業の進展上、其の本社を基隆に移轉し、前年初期に其の事業を再開して以來其の順調なる發達を促し、之が原料として濠洲乃至米國小麥の入津漸く、大震災に基き本品の免税せらるゝに及び之が恩惠

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に浴し、本事業の進展上極めて有利なるに拘はらず、震災關係にて一時取引不圓滑となり、入荷遲延し操短の止むなき等、免税以來豫期の盛況を見ざりしも、其の年額としては正に前年に三倍するの殷賑を呈し、一躍重要品中の主要地位を占むるに至り其の製粉產額亦た百六十萬圓を計上し、爲めに同種輸入品を殆んど驅逐するに至れり。

**硫酸アムモニウム**及**硝酸曹達**は共に化學肥料として、其の輸入極めて輓近の發達に係り、從前內地に仰ぎし各調合肥料の製造事業島內に開始せらるゝに至り、遽かに本品の入增を致し、本年米糖の好況に各種肥料の需要增大は益ゝ本事業の發展を促し、一面英國硫安の安値に買氣を煽り、硝石又硫安に押されて相場の頭重く、船腹の順調と相俟つて愈ゝ本品輸入の盛大を致せり。

**家屋橋梁材**は其の殆んど全部臺灣電力會社の所用に屬し、同社水電工事進捗に伴ふ一時的現象なるが、本年大震災の影響に依り、不幸にして工事の大部を中止するに至れりと雖も、已註文材料の入津あり、本年入增は全く特殊事情に基くものなりとす。

**黃麻**は本島製麻業の進展に伴ひ連年輸入增進を告げつゝあるが、今原產地印度に於ける生產狀況を観ふに、其の前年相場の强調に刺戟せられて本年植付增大に、天候の順調により概して良好なる作柄を告げ、前年に比し百九十萬封度の增收を見るに至り、而して英白需要地に於ける財界不況に基く輸入減は、必然的に市價引緩みたるに、一面本島製麻業の順調なる發達に需要の增加を呼び、相場の軟勢を利用して莫大なる輸入を遂げたり。

**毛織物**は前年來急遽輸入の增加を來せしが、本年は特に顯著なる進展を示せり。蓋し近年文化の向上頻りに唱導せられ、本島人中流以上に於ては從來の支那服より輕快至便なる洋服に改裝し、又は綿布に替ふる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に低級羅紗布を以てするもの多く、加ふるに九月以後に於ける免稅關係と相俟つて斯く入增を招致せり。

**綿織物**の退嬰せるは、英國生產減に基く出廻薄と、一面毛織物入增の反影なるべし。

**禮拜紙**は本島人因襲の久しき、之が需要は到底急遽に減退すべきにあらざるも、打續く數年來の不況に多少消費節約の行はれたるは明なる事實なれば、當然的歸結として前年來輸入振はず、本年紙價の回復に伴れ島內原料粗唐紙の增產を見るに從ひ、需要の轉換は結局本品の輸入を抑制するに至れり。

## 四　結論

大正十二年に於ける本島外國貿易の大勢は、叙上の如く輸出の不振に反し、輸入益々增加して貿易の逆調を助成し、遂に一千萬圓の入超を見るに至り、本島對外國貿易の前途、聊か樂觀を許さゞるものあり。數年前の好況は、今や單に本島外國貿易史の一頁を飾るに過ぎず。近き將來に向つて當時の繁榮は再び豫期すべからずと雖も、奮勵努力して經濟界の恢復を圖り、產業の開發を促し、特種の施設を海港に加へたらんには、惹て貿易の伸張を見るに難からざるべし。されば玆に大正十三年貿易情勢の豫察を試みるも亦徒爾にあらざるべし。卽ち本年經濟界の大打擊たりし關東大震災は、勿論本島經濟界を惡化し、財界一部の萎靡は免れざりしと雖も、其の瘡痍は部分的にして寧ろ微々たりと云ふべく、軈て來るべき復興資金の放出、外資の輸入に、再び內地に於ける中間景氣の現出に伴れ、本島も亦之が影響を受けて金融緩和、金利低下を見るに至らば、必然島內產業の發達を促し、殖產興業の隆盛は愈々本島經濟力を充實し、貿易の發展を招致するに至るべし、先づ之を地理的に觀察すれば、最も密接の關係を有する對岸支那に於ける內亂政爭は、到底遽かに沈靜すべしと思はれざるも、甚しき混亂を見ることなく、現狀程度の蠢動に止まるべく、次に排日貨運動も、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本年の如き極端なる惡化を豫想せられず。南洋方面亦た何等惡材料の存するものなく、彼の「ピットマン條例」の廢止は、銀相場の安定を助け、對支南洋取引の安全を期せられ、次に歐米各國は財界恢復の曙光の認めらるゝあり。特に英露通商の機運近からんとするの情勢に在り。幸ひに之が實現を見るに至らば、惹て各國對露通商を復活するも遠きにあらざるべし。されば本島貿易は、之が間接的好影響を受けて、益々有利に進展するに至らんか。更に之を主要品に就きて考ふるに、石炭は九州・撫順・開平炭、遠くは南亞・濠洲炭を對敵とし、商戰一層の努力を要するも、其の質の優良なるは、前記諸炭に多くを讓らず。自ら地盤の確固たるものあり。而して島内埋藏炭量の豐富なるは、地理的優越と相俟つて更に本品の飛躍を期待するに充分なるべし。烏龍茶は一層品質の向上統一を圖ると共に、生產費の低減竝に宣傳の宜しきを得ば、尙ほ販路の擴張增出に困難ならず。包種茶は其の特有の品質は到底他の模倣を容さず。南洋糖茶の好勢に隨伴し更に殷盛を見るに至るべし。樟腦は人造及支那樟腦の擡頭ありと雖も、强ち懼るゝに足らざるべし。其他輸入に於ては農產品の好況に、各種肥料又は之が原料品の入增竝に特殊免稅品の見越輸入、爲替關係の漸次好調なるとは、輸入貿易の助長を促し、玆に大正十三年の本島外國貿易は、更に一段の進步を期するを得ん歟。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 世界文化の大勢

東京帝國大學教授 林學博士 ドクトル 本多靜六

## 一

諸君私は茲に世界文化の大勢と題しまして暫く諸君の清聽を煩はします。私が始めて此の臺灣に渡りましたのは明治二十九年でありまするが、當時の模樣を朧氣ながら只今も記憶して居りまするから、それを今日の臺灣の狀況に比較して見まするど殆んど天と地との違ひであります。私は實に今昔の感に堪へざるものがあります。諸君此の臺北の如きも二十九年に參りましたときは、劉銘傳の敷いたと云ふ汽車は新竹迄しか無く、其の汽車も乘客が汽車の後押しをして基隆から臺北に著いたと云ふ狀態でありました。而して臺北には舊式の城壁がありまして、其の外に堀か泥溝か分らないものがありました。其邊には貧弱な相思樹がありまして其の下に水牛が午睡をして居ることを記憶して居ります。それが今日では立派な三線道路に成つて居ります。當時私が大稻埕の或る宿屋に泊つた際に枕元に「ペスト」の親分が三匹居るのを發見し、それを火箸を以て摑まへて片附けると云ふ狀態でありました。夫から臺中に參りまして兵營を見せて貰ひましたが、守備隊の六割五分は悉く「マラリヤ」で寢て居りました。又東洋第一の溫泉場と稱せらるゝ北投の如きは、其の時には樹が一本もなく、石がゴロ〱して居る谷川で、其所に溫泉が湧いて流れて居るに過ぎなかつた。私は裸體に成つて其邊を歩行き廻り、穢なくなつて居る石の上に衣物を脫いで川に這入つたことを記憶して

居ります。實に領臺僅か二十有八年の間に於きまして、臺灣の進歩發達は其の衞生上に産業上に將た敎育上に、世界の汎ゆる殖民地を通じて無類の進歩發達を遂げたのであります。確かに此の點に於ては日本人が新領土を治めるに獨特の技倆のあることを證據立てたもので、實にこれは諸君が多年臺灣の爲に御盡力下さつた功勞に歸することゝ、私共今日の位置に居りまするものは常に感謝して居る次第であります。

## 二

只世界の進歩は日に月に新たでありまするから決して永く今日に滿足することは出來ない。彌が上にも進歩發達を圖りまして永く今日の名譽を墜さぬやうに努めなければなりませぬ。それには常に世界文化の大勢に通じて置く必要がありまする。卽ち私が今日特に此の問題を選び來たりまして敢て諸君の淸聽を煩はさんと欲する所以であります。加之私が敢て此の大問題を選び來たつた所以のものは、未熟ながら私が世界各國の實際の狀況を稽査して、最も新しく最も廣く知つて居る、又最も世界を廣く視た一人であると信ずるからであります。殊に私が最近に於ける大旅行は恰度私が第十七囘目の洋行でありまして、亞細亞・亞弗利加・歐羅巴・南北亞米利加の五大洲に渉りまして、海陸六萬一千五哩に渡りました大旅行で、世界に於ける殆んど總ての獨立國と重なる殖民地とを視察して參りました次第でありまする。尤も世間では私の大旅行を本多は氣が狂つたのではないかと新聞にも書いて居ります。尤も旅行の出立前に私は糟糠の妻と親とを同じ日に失ひました。其の後に止むを得ず立ちましたが、二人同じ日に亡くしたので私が此の世の中を悲觀した極、淋しい境涯を遁れ出て萬里鵬程の途に上つたのであると申されたのであります。然し私は夫程弱い人間とは思はない。實は私の役目は絶えず新らしい書物を讀み新らしいことを視る必要上、又自分が三十餘年來聊か研

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

究して居りまする世界の森林植物帶の調査上、是迄十六回の海外旅行に尙ほ見遁した所があります。段々年を取るから足の利く裡にに殘らず世界中を觀て置かうと云ふのが第一の目的であります。第二は四十四年來年々新たに講義を仕た公園・都市計畫・進んでは國土裝景學—國土裝景と云ふのは、今日の文化生活は是迄進んで居る、然し今迄は貴族若くは富豪或は少數階級の人だけが享樂して居つた庭園や山が、多數民衆の享樂する公園に進み、更に一般國民が享樂し得べく國中を擧げて、山でも野でも平野でも出來るだけ公園的に美化し、國民の大多數が如何に美しく生活するか、卽ち國土の全體を美しく飾つて所謂美化する其の學問を名つけて國土裝景學と申しまする新らしい學問で—此の國土裝景學なるものは是迄實際實現されて居るかと云ふことであります。第三には我が國の今日の大問題でありまする所の民族の移住發展、卽ち植民の方面と方法とを研究する爲めでありました。而して其の國立公園に關しましては「海外に於ける國立公園及森林公園の實況」と題して既に印刷に成つて出て居るものがありまするし、又一面此の經濟學の方面から觀ました世界の情況に付きましては「世界經濟界の大勢と南米植民の實行案」と題しまして是亦た小冊子として出版して居るものがあります。尙は又一般世界に於ける森林—林相の變化に就ては「世界に於ける林相の變化と國運の消長」と題して印刷したものがあります。是等の印刷部數は數百部準備して有志の方には無代配付することになつて居りまするから、御入用の方は今私は持參して居りませぬが、東京の大學の造林學の事務室に端書をお出し下されば差上げます。今日は是等の點に就ては一切お話を申上げないで、只玆に掲げた世界文化の大勢と云ふ演題に就て述べることに致します。

## 三

然し此の演題だけと云ふても馬鹿に大きい問題ですから、英吉利の狀態、佛蘭西の狀態、獨逸の狀態、と一々申上げたいのでありますが、それでは明日の朝迄掛つても申上げることが出來ませぬから、便宜上今日世界文化の大勢の急先鋒となり標準となる最も進んだ一ヶ國の文化を述べて其の代りと致さうと思ひます。而して私が此度の大旅行に就て仔細に世界各國の實際を視察しました結果、今日は北米合衆國が世界第一に發達した文化生活を獲たので、實に世界文化の急先鋒であると云ふことを認めました。因より各國の文化には夫々他の追隨を許さゞる特徴がある。彼の南米に於ける都市計劃は世界無類のもので、ルイヂアナの海岸道路の如きは六線もありまして、自動車の道、馬の駈ける道、人間の買物をして歩行く道、斯う云ふものが六線道路となつて、幅數十間長さ數里に亙る海岸道路が出來て居ります。斯う云ふ新らしい都市の計劃は南米の伯拉西爾、アルゼンチンが世界第一であります。又海水浴は南米「アルゼンチン」の「ミルテイク」街の海水浴は脱衣室が一千萬圓を要した恐ろしい大きなもので、此の總督府を横に十倍位延長した位のものであります。さう云ふ大きな海水浴場を居ながらに設備して居ります。夫から又「アルゼンチン」の特徴は廣い汽車に乘つて三時間位歩行いても終點が判らない。現に「アルゼンチン」と云ふ國は人口僅かに一千萬人に足りませぬが、牛馬の數は四千萬、羊の數が八千萬頭、どうも牧場牧畜に就ては「アルゼンチン」に叶ふ所は世界にありませぬ。其他又ダイヤモンドを掘る工場は南亞弗利加のキンバレーで金剛石の鑛山は一ヶ所に六つもありますがキンバレーは世界第一であります。或は馬來半島の護謨の栽培場は各世界の第一たる名聲を失ひませぬが、是等は世界の大戰前からのことであります。然るに北米合衆國に至つては、歐羅巴の中央文明國が大戰前に比して其の文化に大差なく或は反つて退歩したかの感がある際に、單り合衆國は少しも此の大戰の打擊を受けざる許りでなく、却つて最近長足の進歩をなし、汎らゆる文化生活上世界無類の施設

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を爲して急速に先進國を凌駕したかの感があります。最も多くの人々殊に所謂貧乏哲學者などは今倘は亞米利加を非難する者があります。亞米利加の文明は物質文明で精神的に墮落しつゝあるから、遠からず國家の急激なる沒落を來たすべしと云ふものが澤山あります。私も實はさう思ひましたが、然し彼地に行つて少し精細に調べますと、全く反對の觀方に成つて來たのであります。成程今日の亞米利加は主として物質中心でありますが、大凡そ人間の慾望と云ふものは、物質に滿足を來せば又た必ずや精神的慾望の滿足を欲するものであります。卽ち亞米利加は急に沒落せざるのみならず、却つて是より精神的にも愈〻發達して眞の物質精神相俱に發達して最も偉大なる國家となると云ふことを私は信じた次第であります。

## 四

現に今日の歐羅巴は亞米利加化して居る。之を歐洲の米化と稱します。彼等は希臘の文化の精髓を受け繼いで、學術に哲學に宗教に科學に、將た政治に經濟に、世界文化の中心を以て自らも許し人も許して居る。其の歐羅巴が此の大戰以來洵に變な工合になつて一向其の光りがありませぬ。之に代りまして所謂物質中心機械力萬能の亞米利加が幅をきかせて玆に歐羅巴の米化を實現しつゝあります。近頃亞米利加の諸所方々に淫靡卑猥なるの音樂があります。音樂と云ふものはモ少し上品のものでなければならぬと思ひますが、夫れは非常に亂暴な踊り方で…巴里の街にも…亞米利加の「バア」又は居酒屋など到る處に演せられる。然るに甚だしい哉、音樂の本場である伊太利では本當の音樂が聞かるべき筈であるのに、今は亞米利加風の活動寫眞に變つて日本に來て居るやうな活寫が大威張に威張つて居て羅馬の音樂や總ての藝術が小さくなつて居る是に於て私が考へますが、ドーモ精神的文化は今日の民衆政治に於ては何うしても物質文明に勝つことは出

來ない。昔の專制政治・少數政治・寡頭政治の時代ならば精神的の文化は物質文化に勝ちますが、民衆大多數の政治を要求する政治になつては、ドーしても物質文化は先きになります。大多數の人は物を充分に食つたり飲むことを冀ふので多數の民衆はさう云ふものであります。

今日の政治では固より此の精神文化の發達と共に物質文明の發達を理想としますが、事實はさうは出來ません。殊に民衆の多數は精神よりも物質に走せります。現に我が國に於ても學者でも一部の者や藝術家の多くは好んで富豪や權門に媚びて奴隸となり走つて居る。學校の先生でも教師を罷めて金持の番頭になつたものが幾らもあります。それと同樣に歐羅巴の學者や藝術家も此の頃は續々亞米利加に行きます。立派な學者や藝術家は自分の本國では飢ゑ死をするから、前の大言壯語は何處かにゐつて最近では亞米利加に頻りに自分の身を賣附ける工風をする。それが亞米利加に來ると自然に亞米利加化する。亞米利加の氣風に變つて仕舞ふ。それで亞米利加に出稼ぎをする結果、亞米利加の文化を本國に持つて還つて愈々歐羅巴を亞米利加化しつゝあります。兎に角今日世界文化の大勢を論ずるには、ドーしても亞米利加合衆國の文化を先づ第一に研究する必要があります。此の意味に於て北米合衆國の文化生活の特徴を述べやうと思ひます。

## 五

而して諸君合衆國に於て私か第一に感じたことは、萬事が世界第一と云ふことであります。學校教育は勿論、汽車でも自動車でも、又は橋でも家でも店でも、何でも敷でも世界第一を標榜して居ります。又た之を實際に實行して居ります。随つて建物も馬鹿に高いので、日本では丸ビルが九階で一番高いが、向ふには斯う云ふものはザラにある。私が彼方に行つて乘つた建物は五十八階もあります。そこに乘ると下の人間の顔

が見えない。四十階位は今澤山出來て居ります。夫から金が馬鹿に亞米利加に集つて居る。世界で有する金貨の恰度半分…六十億萬圓と云ふものは其の正金が亞米利加にあります。一昨年の末大藏省で調査した所によると、世界中の金貨は半分亞米利加で有して居る。人口も馬鹿に多くなつて約壹億貳千萬人、恰も日本の二倍であります。大學校も馬鹿に多い、日本では大學校は二、三校でありますが、亞米利加の大學の數は五百七十四もあります。學生の數が二十六萬人あります。其の學校は大抵金持で貳千萬圓以上の基本財產を有するものが十三、中に私が厄介になつたエール大學の如きは九千萬の基本金を有して居る。其の利息許りでも隨分贅澤が出來ます。面積などは略しますが、我が國の田畑の六十倍もあると言つて可い。農產物の產額は年々三百億、鐵道も世界中で有する半分を有して居る。其他鐵でも石油でも大變な數で電氣でも何でも世界第一を標榜し、又は世界第一を實現しつゝあります。所が諸君、世界第一番に有して居る此の國民の生活狀態はドーカと云ふと、如何にも萬事が平民的であります。何から何迄階級因襲的の區別は無い。大統領も丁稚小僧も同じこと、勞働者も資本家も遊ぶときは全く同じやうな態度で交際する。女中でも「ボーイ」でも大統領と同じであります。斯う云ふ風で大統領も民選ですから誰でも大統領になれる。仕立屋の小僧、靴屋の親父でもなれる。恰度私が行つたときに自動車屋の親父で有名な「フォード」を大統領に選擧しやうとして頻りにやつて居りました。又亞米利加人はどんな仕事でも仕事と云ふものを決して賤まない。所謂勞働を神聖視して居ります。夫故に他人の世話にならず、自分で働いて自分で活きてゐくと云ふのが一番偉らい人で、人の世話になるのは不具者か病人で、人間の耻辱であると思つて居ります。隨つて何でも自分で始末する。荷物一つでも日本のやうに赤帽に持たせることは人間の耻辱として居ります。尤も諸君私が世界各國を調査した實驗に由ると、ステーションに於ける赤帽の數は直ちに其の國の文化の程度に反比例すると云ふこ

とが出來ます、諸君試みにアルゼンチン、アルゼリーなどを汽車から降りると、所謂土人の苦力・人夫が何百何千人とワイ〳〵やつて來る。それは荷物を持つのでなく引つたくるので、さうして一つでも持つてサッサと逃げます。荷物は四方八方に分れる。之も實に厄介なもので、そこで私は「ステッキ」を振り廻はしてそれを逐つた。それ位に苦力が多いのであります。支那も大分多いが、伯拉西爾になると之は正式の赤帽が大變居ります。それで荷物が方々に分れるから能く荷物を一つに縛つて置かなければならぬ。それで洋行するには荷物を皆縛り附けて置かなければならぬ。苦力の人數が多過ぎて荷物が少ないから相互に集めて置きます。多くのステーション殊に伯拉西爾に於ては、降りる客よりも赤帽の數が多い。それが歐羅巴に行くと段々減つて、倫敦では殆んど赤帽は無い。私も何もなしでドン〳〵持つて行けるやうになつて居る。殊に亞米利加になると赤帽の居らぬステーションが多いのであります。此の點から見ても亞米利加は尤も進んだ國と云ふことが出來ます。私の發見した所の「ステーションの赤帽の數は直ちに其の國の文化の程度に反比例する」と云ふことが言へると思ひます。

## 六

又た亞米利加の生活は總て共同的で、一緒に生活します。又社會的で孤立的でない。即ち踊りを踊るにも日本では扇子などを持つて一人で踊りますが、亞米利加では互に二人以上組み合つて踊ります。歌を唄ふにも多勢で合唱する。日本の如く四疊半式の音樂はありません。外に出るにも散歩するにも一人では行かない大抵二人以上同一歩調で歩行く。日本人のやうに勝手氣儘に歩行いて居る人はない。又た亞米利加では近頃殊に「人を使はない工風」が行はれて居ります。人の世話になつて生活するのは人間の耻辱でありますから、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

成るたけ人を使はないやうに、何處の家庭でも電氣を應用して女中を減ずるやうにする。殊に近頃は料理屋に女中が居らない。即ち「カヒテリヤ」は馬鹿に大きい。それは日本でも星製薬でやりましたが、皿を取り「ナイフ」を取つて自分の前を通つて行く御馳走の中から自分の取りたいものを取る。食事を終つて出て行くと、お前は五十錢なら五十錢と言つて金を拂ひ、自分で勝手に食つて出てゐく。從つて茶代も給仕人も入らない。此の「カヒテリヤ」にはどんな立派な人も來る。民衆的で中々御馳走もある。第一安い。其他「セルフ、サービス」とて自分給仕の料理屋が多い。これは最近著しく變化したので、元のやうに女中がお給仕することが無い。何處も「カヒテリヤ」で、料理が持出してあるから自分で皿に盛つて勝手に食つてゐく。我が東京でも此の式が餘程殖えました。牛肉や天麩羅も腰掛で食へるやうになつて餘程進歩的であります。夫から亞米利加の今日の實際生活は、文字を書くと云ふ時代は既に過去に成つて、「字を打つ」時代になつた。何處でも「タイプライター」を持つ。恰も日本で硯箱を置くやうに必ず「タイプライター」が一、二臺ある。それで皆字を打つので、字を書くものはありません。紹介狀でも何でも皆「タイプライター」で、會社の事務室で字を打つ音が豆を煎るが如し。

## 七

又最近、亞米利加に於ては「アパーメントハウス」の生活が急に大きくなつた。それは大きな家に共同して住んで居る。その家は非常に完全なもので、以前は獨身者か中流以下の人だけが「アパーメントハウス」に住んだものでありますが、近年は數十萬數百萬の金持が好んで之に住むやうになりました。此の傾向が紐育而かも華盛頓其他の大都會に於て行はれ、極めて宏大なる建物が出來まして其中に數十數百の家族が住ん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で居ります。それが參萬乃至五萬もあつて其の「アパーメントハウス」には百萬以上の人で住まなければならぬ。謂ゆる共同の長屋で、個人が共同で三乃至五室を借りる。寢間・居間・應接間・便所も着いて居ります。但し女中「ボーイ」は居らない。其の代りに共同の「ボーイ」女中も來ます。夫から共同食堂があります。お客が來れば共同の同じ室でお茶を飲む。又共同の庭がありまして話をしたり遊ぶと云ふやうに、銘々が「ボーイ」を用ゐ女中を置く代りに共同の者を置くことになりました。現にオハイヲ洲のクリーブランドの「アパーメントハウス」は家を造るだけの費用が六千萬圓、壹千の家族を容れることが出來ます。其他に珈琲・料理店・マアケット・郵便局・電信・電話悉く一軒の建物に出來て居りまして、最新式の電燈・瓦斯・エレベーターが悉くあります。思ふに是迄の金持は獨立した家屋に居つて銘々が女中やボーイ並に庭師・暖房裝置の火炊きを雇つて置いたが、斯う云ふ風な多數の使用人を使ひますると、雇人に間違があつて、一方には賃銀とか權利の要求とかゞ盛んになる。從來の如く主從關係は無くなつて、一口に言へば人が使ひ惡くなつた。内地でもさうで、御當地にも段々傳染しませう、亞米利加はさう云ふことの先鋒として、誠に女中や下婢が使ひ惡くなつて來た。折角多勢下男下女を使つても不愉快計りで愉快が少ない。一方他の方面には民衆の反感が激しくなつて來て居る。一人で大きい家に住む爲に吾々の住む家が無いと云ふことになる。不愉快の事計り多い爲に寧ろ共同的なら汎らゆる設備が完備し得られて、氣苦勞なく氣樂で便利で安く生活が出來ると云ふので「アパーメントハウス」が茲に發達するに至つたのであります。蓋し吾々が一軒の家を持つて居ると、留守番を頼まなければならぬ。一つの家に居りますと恰度共同的に成つて居りますから、其の必要が無い。一面に人間の文化生活が進むと旅行と云ふものが人生の一番樂みであり又た幸福であると云ふことになりまするが、如何に金が在つても人を使つても、遊惰安逸に流れて御馳走生活だけでは人間は滿足が出來ま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せぬ。それで世界中歩行くと云ふ…文化生活の一番の幸福である處の、自由に勝手に何處でも旅行が出來ると云ふことが人生の樂みである。此の意味に於て私の如く自由に世界を旅行するのが最も幸福の生活であると自信します。文化生活の大勢からさう云ふ風に自由に家族一同で旅行が出來る爲に「アパーメントハウス」共同の家に金持が住む、と云ふことに今日非常な勢で進んで來た次第であります。

## 八

又亞米利加では機械力の應用が發達して、人間は機械力の監督をするだけであります。私は前にお話しました有名なフォードの自動車會社へ態々行つて見ました。勿論此の外にも大きな工場がありますが、フォードのが一番大きい。使用者の數が十萬人。それは自動車を造る爲に、車とか幌とか、種々様々のものを造る人が皆別々に成つて居るので、而して自動車を造り出す數は不景氣であると謂つても一日に三千臺、景氣が好いときは一日七千臺作れると謂つて居りました。私が行つたときには三千臺でありますから閑な方ですが私は工場を方々歩行きましたがフォードの工場では半日で頭痛がしました。それは其の自動車を組立てる所が恰も心太（トコロテン）を突出すやうに、ズン／＼新らしい自動車が出來る。工場に「レール」が在つて其の「レール」が自動的に動く、さうして車は天上に輪が在つて一分間に幾つと云つて降りる。さうして出來たら捻じを絞めるので自動車が出來て通けて行く。從業者は皆歩行きながら仕事をして居るので、先きにゐくと運轉手が手「グスネ」を引いて待つて居る。諸君私が斯う云ふと非常に形容して好い加減のことを言ふやうにお聞きでしやうが、少しく仔細に調べました所の數を申上げますと、始め二つの車を卸して組む時から運轉手が乘る迄に僅かに三十分間、次から次に出るのが一分間に六臺宛出來て居ります。さう云ふ風ですから分業でやりますと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬鹿に安く出來ます。普通フォードの自動車が僅かに二百八十五弗卽ち五百七十圓で買へる。亞米利加で五百七十圓は馬鹿に僅かの金であります。今のは一の例ですが、其他何でも機械の應用が馬鹿に進んで、燐寸の製造でも楊枝の製造でも、何から何迄、機械でございます。人間は僅かに之に手傳ふだけであります。此等の諸工場や製造會社が世界第一の分業の實を擧げ得た原因も主として機械力を應用して澤山の生産をなし、更に之を工業化した點にあります。所が面白いことには、夫等の機械は亞米利加人が發明したものは少ないので、殆んど全部歐羅巴から亞米利加に渡つて來て居る。不思議なことには歐羅巴では此の發明發見した機械が働きを仕ないが、一度亞米利加に來ると盛んな活動を始める。歐羅巴で發明されたものは學者の實驗室内位に止り格別社會に影響もないが。其の發明が一旦亞米利加に這入ると實驗室から直ちに實世界に移された如く、發見した學者自らが意想外に感ずる程に、歐羅巴で發明したものが亞米利加に來ると皆な效用を發揮する。夫位實際の用に供されて亦實行を奏するのであります。なぜさうかと申しますると。亞米利加と云ふ國は非常に廣大なる土地を有し、金が有り餘つて居るから、少しでも有利の機械なれば直ちに積極的に思ふ存分に働かせ得られます。歐羅巴各國でも日本でも其所までは出來ませぬ。先づ話のみで止める。亞米利加は少しでも儲かると金を惜まずドンドン盛んに機械を活用する。詰り土地が肥沃なのと金の多いことゝ、夫から亞米利加人の氣風が古い因襲の癖に囚はれず。常に新らしいことを始め新らしい智識を應用する點に極めて有望な國民であるからであります。これは單に機械計りでない、仔細に亞米利加と歐羅巴を比較すると、汎らゆる科學・工業・大資本を要する諸會社・其他一切の富の生産に必要なるもので、一度歐羅巴で發見されたものは亞米利加に來ると玆に始めて其の全能率を發揮する。是れ卽ち米國を今日の富强の國とした所以であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 九

も少こし自動車のお話を附け加へます。亞米利加では自動車が近頃多過ぎて忙しい人は自動車には乘つて居られない。寧ろテク〱歩行く方が、用が足りる。實に妙なことがあれば有るもので、物も多過ぎるとさうなる。私が昨年あちらで芝居見に行つた所が、劇場の兩側の街が自動車でずつと埋まつて、其の眞ん中で止まることが出來ない。それが半道行つても一間の隙間もない。自動車に乘つて行つても自動車の置場がない、仕方がないから一里許り行つて歩行いてゐきました、それは實際の事實であります。實際統計上から調査すると、登錄した自動車數が大正十一年の末ですが一千二百三十萬臺であります。人口から言ふて合衆國全體で八人七分に一臺の割、所が西海岸の紐育・ボストン・費府・華盛頓は自動車が少ない。日本に寄つた太平洋沿岸が馬鹿に多い。自動車の工場が澤山ありますから自動車の製造統計などは日を擧げなければ間違ふ。日本に向つたカリホルニヤ洲などは其の一洲に六十三萬六千臺、人口五人に付き一臺の割であります。其次のシャトルは三人に付き一臺の割になります。それは赤ん坊もお爺いさんもお婆さんも入れてゞす。殊に困るのは太平洋沿岸の桑港・ロスアンゼルス・タコマ・の如きは、百姓が皆な人參、午蒡、大根を積んで來るに皆な自動車に乘つて來る。畑から自動車で驅け出して市場に賣る。夫等の自動車が田舍から農產物を積んで大きな道路を通る。其の道路は臺灣神社に行く道路の數倍もある。其の道に自動車が四列位に竝んで來ます。さうして夫れが街に來るので、街の往來悉く自動車で置場がない。近頃は自動車置場に「オートパーク」自動車公園と云ふのが出來た。實は自動車入れの下駄箱の樣なものであります。さう云ふ風に自動車の置場共同の下駄箱のやうなものが出來て居るが、一階では這入り切らぬから二階に「エレベーター」で運

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ。さう云ふ風ですから迚も大抵の用事で此方から向ふに横切ることは絶對に出來ない。餘程危險で、毎日怪我人が澤山あります。名譽ある我が國の總領事が細君と一緒に突き殺され損つたことがありましたが夫れが一向新聞などには書かれない。新聞記者に聽いた所が、亞米利加の自動車の事故を書き立てたら紙面全部埋まつて、外の事を書く場所がない。夫れ位に事故がある。警察で調査した所が、大正十一年度の七月一日から一週間居つて桑港で調査したのが、自動車の卽死者が一週間に六人、死ぬか活きるかの大怪我の人間が百十人、其他好い加減の者は無數で、警察ではそんなことは調べて居れぬと云ふ。亞米利加では自動車で怪我をして死ぬものは、下駄を履み外して死んだ位であります。不完全ながら亞米利加の中央政府の專門の係りに就て調べた處によると、大正十一年間に自動車で卽死した者が一萬三千人である。其の數は中央政府の調べに擧つて居ります。又自動車から起る夫婦喧嘩と云ふのが能くある。自動車を買つて呉れなければ山の神は飯を炊いて呉れない。日本人の所でも其の喧嘩があつて、妻君が私に語つて曰く、自動車を買つて呉れないから街へ買物に行くことが出來ないと云ふ。それが幾ら掛かるかと云ふと、僅かに三百何十弗だと言ふ。加之も新らしい自動車を買ふに最初五十弗出せば可いので、あとは月賦で出來ます。さう云ふ風でありますから、自動車を購つて呉れないと云ふので、よく夫婦喧嘩をして居ります。これは餘り多過ぎて困つたので、然し外に中々好い點もあります。

十

自動車の普及以來、小學校の分校を多く廢した。今迄は植民地の山の中に大變遠く迄行かなければならぬ。三里以上になると分校を造ります。所が此頃は自動車を應用するやうになつた。卽ち小學校で自動車を何十

臺も買つて置く。さうして少し大きな十三歳位の小供が自動車を運轉して行く學校に行くときには附近の兒童を浚ひ込んで學校に行く、返りには又た兒童を其の家に配つてゐくので、十里四方位の處は一つの學校に皆な浚ひ込むのであります。然し不便な方は、此の節は大學校・高等學校又女子大學の生徒は皆銘々が自動車を運轉して自動車で通ふ。何萬の學生が五里十里の處から通學する。それが爲に大學校・高等學校の周圍が自動車で塡充される。これでは迚も廣大なる運動場所は悉く自動車で埋まる。エール大學では總長が中々偉い人だから、學生は自分の自動車に乘つて來ることはならぬと禁じた。外の學校でも其の眞似をして、學生が自動車に乘つて來ることを禁ずる規則を出した學校が澤山あります。正に亞米利加に於ける自動車の普及は先づ我が國に於ける自轉車以上であります。御當地でも既に大稻埕や士林の方には乘合自動車も出來て居る狀態で、これは世界文化の大勢でありますから、どうしても制することは出來ませぬ。只困るのは自動車が餘り多くなると、今日の道路の制度を全然改正しなければならぬことであります。次に亞米利加の絹織物に就て言ふと昨年は其の六割は人造絹絲で、木材の纖維から造つたものを用ゐて居ります。値段は日本の絹の半分から三分の一で、見た所は少しも變りませぬ。私の穿いて居る靴下は人造絹絲でございます。實に亞米利加に於ける人造絹絲の發達は盛んなもので、日本が唯一の外國から金を取る養蠶事業に大變な關係あることを注意しなければならぬ。次に亞米利加に於ける耕作用自動車所謂「トラクター」の發達を述べたい。私が此の前に參りました時代には、亞米利加の農場では重に馬耕で致しました。大農場は大抵百頭か二百頭の馬を飼つて、それを二疋が三疋掛けで畑を働き起しました。然るに今度行つて見ると、そんな馬は少しも居らない。皆馬が「トラクター」に變つて居る。百疋か二百疋も飼つて居ると云ふ大農場で僅か二、三臺の「トラクタト」と數臺の自動車を使用するやうになりました。外のものは總て賣拂つて仕舞つた。故に亞米利加

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

では近き將來に於て馬が世の中から屛息して、博物館にでもゐかなければ見られぬやうに成りませう。私は坐ろに馬の悲哀を感じました。所が還つて見ると日本では人を外國に派遣して馬匹の改良を圖るなどゝ云ふことであります。實に滑稽の感があります。私が行きました十一年度の終りには亞米利加に於ける耕作用自動車「トラクター」が二百十四萬六千臺、農家の數の三割以上は「トラクター」であります。尙は亞米利加でもさうですが。農業に電力を用ゆることが發達し掛けて居ります。瑞典のウエルノーで農村に電氣仕掛けの雨を降らして耕作を助けることをして居ります。それは政府の補助を得るので、それを稽古する場所があつて敎へて居る。斯の如く「トラクター」や農村に對する電力應用は今日世界文化の新らしい趨勢であると云ふことを茲に申上げて置きます。

## 十一

夫から亞米利加に於て「ストライキ」が大變流行りますが、それが滑稽で面白い。私が行つたときに亞米利加鐵道の從業員が百萬人、之が「ストライキ」をやるので新聞に二面位出て居る。これは大變だ是れぢや汽車が動くまいと思つた所が、此の「ストライキ」は非常な便利なもので、旅客の列車だけは出す、其の代り荷物は運ばない。只會社で困るやうなこと許りする。夫から面白いことには「ストライキ」請負會社と云ふのがある。いざとなると其の請負會社に賴んで鐵道從業員を百人なり千人なり出して呉れろと云ふ。すると其の會社が貧乏學生や罷役の軍人達を驅り出して俄か作りの鐵道從業員を作る。困つたことには「ストライキ」會社から來たので電氣のことなどは少しも知らない。そんな人間で汽車を運轉する。斯う云ふ場合に日本であると請負會社のものは「ストライキ」の仲間から打ん毆られますが、米國丈けにそんな野蠻な行爲は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しない。詐り吾々が罷業するのは自分等の利益の爲にする自由の行動である。又高い金を貰つて一時傭はれる人も自分の利益の爲に來る自由の行動である。故に互に自由と利益を尊重するのだと云ふて更に不法の手段に訴へない。斯う云ふ「ストライキ」ならば日本に輸入しても少しも差問ないと思ひます。

又た亞米利加には國民的の圖書殊に專門的智識の判るやうな簡短の本が澤山にあります。日本では太閤記とか講談雜誌、面白倶樂部とか云ふものを好んで讀むが、向ふでは其の代りに電氣自動車などの專門智識を分り易く、講談を讀むやうに可成り面白く書いたものが、小さな安い本で澤山出來て居る。自分で小供が自動車を作つて乘り得る迄にして居ります。小供に遊び半分に專門的科學の智識を養ふことが出來るやうな本が出來て居る。殊に米國では無線電信の發達が極めて著しい。之は亞米利加でも太平洋沿岸ロスアンゼロスが一番發達して居る。方々に中央電信局のやうなものが在つて、そこから無線電話を掛ける。何處でも針金を引張つて居る。架けた家では室の中で歌を唄ひ話をするのが無線で聞こえる。それに擴大機が在つて大きな聲で何十里何百里先の話が聞かれる。私が厄介に成つて居つた日本人のお醫者さんの家では、十三許りの小供が自分で別に無線電話を造つて友達と話をして居りました。そこには完全な無線電話もあつて、家に居りながら株の相場でも知名の人の演説でも何んでも聞える、朝起きると先づ其の日の天氣豫報が判る。夫から夕方になると子守り唄やら、舞踏やら音樂やらが聞こえる。此の無線電話の受話器は擴大器と共に僅かに二十圓か三十圓で買へる。だから床屋でも雜貨屋でも何處にでも備へてある。此の中央局は亞米利加全國で六百ありま す。而して無線電話を架けて居る家は百五十萬戸あります。最近發達したのは警察の消防に無線電信を架けたものである。そら火事だと言ふのが直ぐ無線電信で判かる。無線電話で消防の模様が分るやうになつて來

「紐育には餘りない。歐羅巴には僅かしかありません」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て居る。夫れから今日では夫程の實現はしませぬが、將來は大學の大講堂が無用になるかも知れぬ。學生が下宿屋に寢ころんで無線電話で先生の講義を聽くやうになるでせうから。

## 十二

軍事敎育のことに就て聊か敎育上から申上げたいと思ひます。亞米利加は軍事制限の發頭人でありますが其の實は頗る軍事に熱中するやうに見えます。私は其の仔細を踏み込んで調査して見ました。事實國民の健全を圖る爲に各種の運動體育が一般の軍事敎育と共に施されて居ります。殊に私が視察しました重要大學では、毎週四時間以上二年間に亙つて軍事敎育を施して君ります。別に將校を養成しつゝあります。如何なる譯と云ふと、最も信ずる所の理由は、世界の大戰以來國際的の競爭の代りに國民的競爭と云ふものが現はれて來ました。所謂「インターナショナル」なるものは世界大戰のやうな戰爭になると、高遠なる理想も國際公法も三文の價値もない。いざと言ふときには聯盟國も何もない。自分の國の獨立は自分が獨立するだけの實力によりて保持すると云ふことになる。即ち「インターナショナル」が「ナショナリズム」に變つて來た結果であると思ひます。元來吾々人間は個人としても立派な丈夫な健康體で、他人の世話にならずに生活するのが最も必要で又た名譽なると同時に、國家としても國家は個人の延長でありますから、外の國の世話にならず、いざと云ふときには自分の國だけで何處の國にも負けずに獨立してゐけるだけの準備が必要であります。之が爲め又吾々個人は運動體育に由つて鍛へる必要があると同時に、團體的にも又進んで國民的の運動をしなければならぬ。此の國民的の運動、團體的の運動は、總て軍事敎育の基になると考へます。此の點に付ては沁々感じたことがあります。亞米利加の國民は非常に團體的に強くなるやうに、個人的にも馬鹿に

丈夫になるやうに、大學の授業は午前中三時間丈けで後は「ベースボール」や他の運動で、運動の時間が非常に多いのであります。それで此の節は安全第一主義を通り越して健康第一主義をやつて居ります。そこで健康で丈夫のものは何も出來ないでも可いと云ふことになります。大戰後第一に健康の必要上、女でも亞米利加の女は實に素晴らしいもので、帽子も何も被らずに「ベースボール」をやる。東京でも今ではお轉婆敎育が第一で、お孃さん敎育の方は今度の地震に柱を抱いて泣いて居つたと云ふが、一方は家根のぱら〳〵飛び散る間をテニスのボール位に飛び違へて人を救つたのです、さう云ふ手柄の在つたものは皆お轉婆で、女學校の敎育はお轉婆敎育である。實際考へると敎育の眞理は健康第一主義にして、令孃の如きは第二第三に置くことが眞理と思ひます。私は十三人の孫を持つて居りますが、若し青い顏をして居るものは、學校をやめて暴れ廻はれと命じます。諸君、御維新前に於ては我が日本に於ても大に獨立事業の敎育を施しました。私は埼玉縣の南埼玉郡河原井村の百姓の忰であります。此の河原井村に於ては毎月一、六の日には村中の青年が私の家に集つて、私の家は庄屋でありましたが、擊劒をやつたのです。さう云ふ風に獨立事業に力めて居りましたから泥坊は皆遠ざかる。平時には擊劒や柔道をやつて居りますから何等かの機會には行動を表はす。斯の如き獨立事業に努めて居りますから、河原井村に限つて泥坊は一切來ません。所が維新以來警察を置いて守つて與れますが村に獨立の敎育が無くなつて今では澤山泥坊も這入ります。それは國に於ても同じくさうであると思ひます。此の意味に於て、國家としても獨立事業の訓練が頗る必要であると思ひます。私が之を亞米利加の文化生活に於て認め且つ我が日本に於ても之に倣はなければならぬと思ひます。

## 十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次の問題は、亞米利加と云ふ國は自由の國、解放の國と謂ひますが、今日の文化生活上では反對で、敎育が極めて壓制的であります。亞米利加で有名なるエール大學に於ては學生の下宿を一切禁じました。一切普通の料理屋に行くことは出來ない。實に恐ろしい壓制である。尤も學校内に立派な料理屋が在つて一千二百人位一度に著席し得る料理屋があり、立派な食堂がある。一週間に二度位本もの丶「オーグスト」が來て音樂をやる。學校内にはテニスでも何でも運動に關することは一切備はつて居る。殊にエール大學の泳ぎ場は實に大變なもので三百人一度に這入れる。冬でも七十五度の温度を保ち寒いときでも泳げることになつて居ります。學生には自動車も下宿も禁じてあるが、それがエール大學の總長が偉いから實行されたのであります。蓋し自由と法律とは似て非なるもので、米國では法律を製して學校の中に於ては眞の自由の生活を味はせんとする方針を執つて居るのであります。其他米國流の大袈裟の例としては、北亞米利加では菓物野菜類が盛んに栽培せらるゝが、それを二千哩三千哩の田舍から配る。昔のやうに街の近所で作らなければならぬと云ふことでなく、冷藏庫の發達に由つて各地方で特有なる農産物が世界的に廣く利用されることであります。次に亞米利加の禁酒のこともありますが夫れは略します。禁酒法が布かれて葡萄酒製造用の葡萄園が盛んに發達した。一國の生産事業を國法に由つて禁止したから、何れ有名なるカリホルニヤ當りでは損害賠償を政府に迫るだらうと思つた所が、行つて見れば豈料らんや其の代りに禁酒以前より葡萄が高くなつた。それは即ち密造でございます。さう云ふ風で事實は法制の表面と違ひます。も少し不思儀なことは、米國では勿體(モツタイ)ないと云ふ感じは少しもないことである。私が旅行中に見たことは、汽車が休むと一列車の石炭がどん〳〵燃えて居る。列車や何かが眞つ赤に燒けて居る。一週間前に事故が在つて石炭が燒けた。夫れが今に燃えて居る。なぜ消さないかと云ふと、大變大きな汽車ですから何千噸と云ふ石炭が積まれてある。そんなものを掘出し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た所で仕方がない。第一汽車などは燒けたのは用ゐられない新しいのを造る方が寧ろ德用ですから抛(ホウ)つて置くと云ふ。ステーションでも改築して新しいものを造る方が增しだ。燒けて居るのを始末するのは損だと云ふ。又先きの方に行くと、湖水の中に汽車が通つて行く、列車の窓から首を出すと、湖水の中に汽車が幾らも落ちてある。進行中に事故が出來て落ちたものである。然し夫れを直すのは金が要かる。其の代り保險が掛けてあるから金が貰へる。廢物を始末するには及ばぬと云ふ。今一つ他の例は、農作物が出來過ぎると相場が下落するから海に捨てたり或は燒き捨て仕舞う。私が行つたときに恰度日本人も作りますが玉葱八萬俵と云ふものをサクラメントの河に捨てゝありました。それは市場の相場の下落を防ぐ爲めである。所が其の八萬俵の玉葱が河の中に澤山浮いて居る。爲めに汽船會社から苦情が出ると云ふ始末である。其他小麥でも何でも値段が下かると火を點けて燒く。日本で言ふと靑砥藤綱流で勿體ないが、亞米利加では夫れが正當の事と信ぜられて居ります。實は此の方が眞理であります。經濟的事業を徹底的に自覺すると、さうならなければならぬ。元來百姓の目的は何かと云ふと、金を造る爲にやるのである。小麥を作り玉葱を作るのは金を造るので一の手段に過ぎない。誠に經濟的に徹底した眞理で、金を造る爲には一つの手段であるに違ひない。餘計に金が儲かれば玉葱を捨てゝも小麥を燒いても構はない。經濟的に徹底するとさうなるのであります。

## 十四

終りにもう一つお話したいのは、是迄の森林の利用…山を働かせると云ふことは、木材を伐り出し、薪炭を產出することが目的であるが、今日森林大利用の仕事は、水源を涵養して水力電氣の用にすること、今一つは一般國民の保健上衛生に利用することであつて、木材薪炭產出の如きは第二第三に置かれることにな

つたのである。隨つて到る所の山林を國立公園・府縣立公園にして盛んに民衆の遊覽娯樂に供し或は林間學校…所謂野宿する場所を造る。さうして民衆の保健用に使ふことになりました。樹を造つて金を擧げるのでなく、國民の健康狀態の爲に森林を造ることが第一義に置かれましたが我が國に於て森林學校・林間學校を備へ、殊に本島で大屯山に森林公園の設備をなさることの如きは確かに世界文化の趨勢の然らしむる所であります。而して其の方法にして當を得ば、立派な道路が出來た爲に民衆は椰子の中に這入つて健康に益し又た林間の學校が出來ると大に森林の利益を增加し、森林の所有主は仕事をする上に多少の制限は受けるが、却つて著しく山林の利益を增加する。斯くて民衆の保健用と森林所有主の利益增加とを一擧にして兩得される場合があります。之に就ては私の「世界に於ける國立公園と森林公園」と云ふ著述がありますから玆には述べません。

## 十五

要するに世界文化の大勢を代表する亞米利加の今日は、最大多數を基礎とせる樂天的積極主義を以て發達したもので、亞米利加の技術と文化は、萬事に心配を置かない、卽ち物を煩悶し苦勞することは水泡と同じく、唯進步をこれ事とし、勇往邁進毫も慣習に囚はれず、殊に生產事業と工業方面に努力しました結果、今日の如き發達を遂げたのであります。而して精神的方面に於ては、近頃漸く所謂衣食足りて禮節を知るの域に達しましたから、今日面の常り著しく精神的方面の進步發達をなしつゝあります。殊に世界大戰後は個人並に國民の獨立事業の必要に自覺の結果、國民の敎育に盛んに運動遊伎を課し、所謂健康第一主義を標榜して、永く世界文化の先鋒たる位置を失はざらんと努めつゝあります。然るに我が帝國の今日の實際を見るに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

遺憾ながら物質的方面に於て五億三千餘萬圓の輸入超過をなし、更に大震災の結果、極尠くも數億圓乃至十數億の借金をしなければならぬ必要に迫られ、一方生産工業の方面には何等新らしい發展の企てがありませぬ。斯の如くして歳月を經過せんか、二等國三等國以下に落ち、終に再び回復が出來ぬ憐れな狀態に到ることなきやを憂へます。而して今日の救濟策は、勿論色々研究しなければなりませぬが就中海外の發展を最大急務と信じますから、帝國の今日は何を措いても是非共海外の發展を必要と致します。而して海外發展の事たる之を圍碁に譬へば敵の石の強い中に這入るには殺されないやうに目を造つてゐかなければならぬ。北米の如きは夫れである。夫れよりも發展の途の幾らでもある所は單り南洋方面と南米だけであります。南洋と南米は今日並に將來とも我が國海外發展の唯一の方面であります。私は世界の植民地を歩行いた結果さう云ふ決定を致しました。それが爲め之が南洋地方と氣候を同ふして居る此の臺灣を土臺として進むことは最も安全賢明なるやり方で、之には殊に滿堂諸君の先覺者が最も善く世界文化の大勢に通じて之が準備を爲す必要があります。之が私の特に敢て諸君の淸聽を煩はした所以であります。幸に私のお話が多少なりとも諸君の御參考となり、我が國運の發展卽ち我が帝國の南進發展に貢献することが出來たならば、私の望外として大に滿足し感謝する所であります。

—大正十三年一月十四日總督府醫學專門學校講堂に開かれたる東洋、南洋兩協會支部及臺灣山林會主催講演會に於て、文責筆者—

# 爪哇糖業の世界的地位

鈴木商店爪哇泗水支店副支配人　川島浦次郎

## 一

爪哇は御承知の通り蘭領東印度中の一つの島でありまして、南緯五度半から八度半、東經百五度から百五十度の間に位し、面積約五萬平方哩であります。蘭領東印度と云へば、爪哇・スマトラ・ボルネオの大部分、セレベス・ニューギニャの一部、其の他大小無數の島より成つて居りまして、全部で約七十四萬平方哩あります。我が日本は約二十六萬平方哩でありますから、爪哇は日本の約五分の一になつて居ります。地勢は中央部に東西に走る火山脈がありまして、隨つて地質は火山岩より成り、極めて豊饒であります。氣候は五月から十月迄が乾燥期で、此の間七、八、九の三箇月が特に雨がない。殆んど毎日かん〳〵照つて居る狀態であります。十一月から翌年四月迄の六箇月が雨期で、非常に雨が多い、殊に十二、一、二月は殆んど毎日雨と云ふ位である。然し雨と申しても內地の梅雨のやうではなく、夕立で、結局二三時間長くて半日も降つて居りますと其後は更にかん〳〵日が照ると云ふ狀態であります。溫度はスラバヤでは室內平均九十度位、室外は勿論百度以上に昇ります。人口は一九二二年の調査によれば爪哇全部で三四、九八四、〇〇〇人、卽ち約三千五百萬、其の中東洋人四一五、〇〇〇人、西洋人一三五、〇〇〇人殘りの三四、四三二、〇〇〇人が土人であります。爪哇以外の蘭領東印度は一四、三六六、〇〇〇人、蘭領東印度と云ひましても其の大多數は爪哇に

居ると云ふことになります。人口の密度は一平方哩約七百人で非常に稠密であります。

## 二

爪哇の砂糖の産地は。「スラバヤ」附近にブランタスと云ふ河があります。此の河の流域が最も主な生産地域であります。次に中央部の北に面してチエリボン・テガール・ペカロンガン・スマラン・と云ふ港がありますが、此の地域とスラバヤの東に在るパソロアン・プロボリンゴ・ブスキ・パナルーカン・と云ふ積出港があります。其の背後の地と、更に南岸にチラチャップと云ふ港があります。此のチラチャップの一帯ー之が砂糖の主な産地であります。東部の方は土壌が甘蔗に適して居ると云ふことゝ、今一つは乾燥期に西部よりもより乾燥して居るので砂糖の耕作に適して居るのであります。従つてチエリボンを境として東の方に生産地が有る譯であります。而してスラバヤが中心の市場で之に次ぐは中部のスマランであります。總督が居りますのは西部のバダビヤであります。蘭領東印度の全部の輸出貿易は、一九二一年の調査に依れば一、一八八、七〇〇、〇〇〇盾でありますが、其中で爪哇の輸出は六五八、六一二、〇〇〇盾でありまして、其中で砂糖は四一四、八六五、〇〇〇盾即ち爪哇の輸出の約六割二分强でございます。蘭領東印度の中で爪哇は和蘭の寶庫であると云ふて居りますが。砂糖は特に其主なる部分を成して居る譯であります。

## 三

其の砂糖の種類は次に掲ぐる通りで

白　双　(Supérieure Hoofdsuiker
Superior Head Sugar ; Java white Sugar)

| | |
|---|---|
| 幼砂 | (Supérieure Stroopsuiker / Superior Soft sugar) |
| 中双 | (Hoofdsuiker No. 16 en hooger / Head sugar No. 16 and higher ; Java Brown sugar No. 16 & higher) |
| 黄双 | (Muscovados / Java Muscovados) |
| 赤双 | (Melasse suiker / Molasses) |
| セントリ貢粉 | (Gecentrifugeerd zaksuiker / centrifuged bag sugar) |
| 貢粉(包仔糖) | (Gewone Zaksuiker / common bag sugar) |
| グラマンコ(椀糖) | (Goela mangko) |

白双より貢粉まで是れだけが現在の新らしい工場で出來るもので、グラマンコと云ふのは、臺灣に於ける舊式糖廍のやり方で製造したものであります。白双は色素は和蘭標本二十五號以上、糖度の規定はありませぬ。品質は臺灣の耕地白糖よりも結晶が小さく色合も落ちます。用途は直接の消費ですが、これは世界の一等國民の消費にはならない、主として第二流以下の國民卽ち印度及び極東の方面の直接消費になります。從つて輸出先は主として印度・歐洲で、支那・日本・にも小量づつ參ります。値段は現今白双一月渡二十一盾(一九二三年糖)八月渡は十六盾(一九二四年糖)生産高は一九二二年(以下皆同じ)のもので一千五百三十七萬八千擔、爪哇糖全生産の約五割二分强に當ります。幼砂と云ふのは色素が和蘭標本二十五號以上、これは白双を取つた殘りの二番糖であります。糖度の規定はありませぬ。品質は白双に比すると結晶も小さく光澤も惡

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

くて濕りッポイ。然しそれが幼砂の本質であります。用途は直接消費、輸出先は印度・支那。値段は白双と同じであるべき筈でありますが、供給が少い關係上白双よりも概ね五十錢乃至一盾位高い。生産は四十四萬六千擔。中双は色素は十六號以上、通常分蜜器より振り離しに出たものは十八號乃至二十三號である。糖度は九十八度が標準で、九十七度半以下は引渡が出來ない。用途は製糖會社の精製糖原料で、主として歐洲・香港に輸出されます。値段は通常白双より一盾安。生産高は八百十七萬二千擔。黃双は十二號乃至十四號、糖度は九十六半が標準で、九十五半以下は引渡せない。品質は臺灣分蜜より結晶も少し小さく光澤も落ちる。用途は日本の製糖會社の原料糖。從つて輸出先は日本で、値段は通常中双よりも二十五仙安。生産高は四百七十三萬四千擔。約五百萬擔であります。此の中双黃双は白双に對して原料糖でございます。爪哇の工場を二つに分けて白糖工場と粗糖工場と致します。白糖工場の方は白双を、粗糖工場の方は原料糖を製造致します。日本は關税の關係上黃双を要しますので、振り離しに出來た十八號乃至二十三號品に「キャラメル」を掛けて日本に持つて來ます。これは値段は一體から云ふと二十五仙下りますが、實際に於ては日本の製糖會社が黃双を是非購はなければならぬと云ふ足元を見られて居る爲め、「トラスト」は中双と同じか或は反つて中双より五十仙高いと云ふことさへあります。それは日本が色相に依る關税制度を改めて原料糖は十二號以上二十四號迄同一と云ふことにしたならば、當然我が國は爪哇の中双即ち黃双より色素も良くて、糖度も高いものを寧ろ安く購へる立場になります。これは關税の規定が不完全であると云ふことより起つて來る大なる損失でありまして、之が爲め日本の製糖會社は二つの點即ち品質が惡いと云ふことゝ値段が高いと云ふ不利益を蒙つて居ります。此の問題は現在攻究中でありますから近く改正せらるべきものと思ひます。中双と黃双の生産は合計約千三百萬「ピクル」でありますが、此中中双・黃双・各自の生産高は日本の黃双の買附或は歐洲・香港・の中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

双の買附数量如何に由つて年々変化致します。然し全部黄双を造るものとしても、トラスト所属工場では七百萬以上は造れない相である。彼地で當然中双を造ることを好んで居ります。赤双は八號以上と十號以上と二種ありますが、これは二番糖で糖度の規定はなし。用途は直接消費。輸出先は日本・支那・生産高は五十一萬六千擔、約五十萬擔であります。セントリ頁粉及頁粉は商品としての値打はない。生産高は四萬九千擔及び一一、〇〇〇擔で、前者は分蜜したもの、後者は約二箇月も放置して自然に結晶したものであります。グラマンコ（椀糖）これは矢張り甘蔗（大部分）及び砂糖椰子（小部分）から造つたもので、椰子の實を二つに割つてお椀となし、その中に糖汁を容れて固めたものであります。これは爪哇で三、四十萬擔出來ますが、主として土人の島内消費でありして、輸出に適應したものは僅かに十五萬擔内外で、日本其他に輸出致します。

## 四

次は砂糖の取引事情を申します。爪哇の工場は一九二三年には百八十の工場が作業して居りまして、其中「トラスト」に屬せしもの百五十六、それ以外のもの二十四でありました。「トラスト」と云ふのは百五十六の工場が各自自分の計算に於て生産したものを、共同に代表員に一任して賣つて貰ふ、其の賣上代金を砂糖の生産高に按分比例して分配する制度であります。卽ち販賣上に於ける所の生産者の聯合々同の機關であります。取引の狀況を分ちまして、「トラスト」の取引と、それ以外の工場の取引と、更に商人間の取引とすることが出來ます。第一に「トラスト」取引の狀況を申します。爪哇糖生産者聯合會(Vereenigde Javasuiker Producen'ten)—(United Java Sugar Producer's Association)—其の頭文字を取つて V. J. P 俗に「トラスト」と申しますが、厳格に評すると「トラスト」と云ふ言葉は當りませぬ。其の生産者聯合會に加盟して居る重なる會社は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一は「フアクトライ」(Factory der Nederlandsche Handelmaatschappy) 第二はランドバウ (Nederlandsche Indische Landbouw Maatschappy) 第三は、「バアーフエアー」Handelesvereeniging Amsterdam であります。「フアクトライ」は隨分古い會社でありまして約八十年以上の會社であります。此の會社は工場を所有して居るのみならず、會社の中に銀行部がありまして、其の銀行部は會社の所有工場以外の工場に資金の融通をして、其代り其工場の管理を致して居ります。如此工場を管理工場と云つて居ります。其の所有工場管理工場なるものが其の會社の勢力範圍に屬するもので、「フアクトライ」は其の兩者を合せて三十五工場あります。「ランドバウ……」は二十六、「ランドバウ……」其のものは工場を經營して居るだけでありますが、異身同體の「ハンデルスバンク」(Nederlandsche Indische Handelsbank) は其金融機關であります。次に「ハアフエイア」は其の頭文字を取つたので之が十四工場、其他約七つの大きな會社がありまして、各五個乃至十四個の工場を管理し、それに數個の歐洲人經營の工場及び大日本製糖のゲダレンの工場が加入致して居ります。前に述べました三つの大會社三名が「トラスト」の代表委員と云ふことになりましてアムステルダム及スラバヤの兩方に於て各委員會を組織し「アムステルダム」を本部として居ます。此の外に相談委員及び通常委員等があります。さうして此のアムステルダムに於ける代表委員とスラバヤに於ける代表委員とが、世界の糖價の狀況を詳かに調査して「トラスト」の販賣方針を樹立して行くのであります。

全然此の三名の合議で百五十六工場の製品の販賣に任じて居る譯であります。「トラスト」から砂糖を買ふには通常仲買人があります。此の仲買人が代表委員の秘書役（セクレタリー）に注文を出すのであります。さうして三名の委員に通ずる。三名の委員が承知すれば契約が成立します。それが成立すれば契約書を交換する。そこで一つの表を發行しまして、契約成立の順序によりて番號を附し、賣上げの砂糖の數量種類引渡

の値段等を詳かに記載して翌日迄に公表致します。斯くて「トラスト」では今日迄、何種類の砂糖を何程買つたかと云ふことが判然と分るやうになつて居ります。「トラスト」から買付の場合に何時も問題になるのは保證の問題であります。「トラスト」から買ふ場合に一流の商店例へば日本商で云ふと三井、三菱、私の方、西洋商で云ふとフレーザー、イートン。Fraser Eaton & Co., エルドマン、アンド、シルケン、Erdmann & Sielcken; ウエレンスタイン、クラウゼ、Wellenstein Krause & Co., 等は「トラスト」から買ふときに或一定の數量迄は銀行の保證を要しないと云ふことに成つて居ります。之を商人の自由買附の限度 (Free limit) と申して居ます。此の限度を越えた買附に對しては必ず銀行の保證を要する。日本商は通常正金銀行と臺灣銀行の支店がありますので、此兩銀行より保證を出して貰ふ。「トラスト」は保證關係は非常に喧しく言ふので、其の銀行に對しても銀行が「トラスト」に對して爲し得る保證額の限度を定める。之を銀行に對する自由保證の限度と云つて居る。例へば正金銀行は何千萬盾迄、臺灣銀行は幾ら、和蘭の銀行は幾ら迄と決めて居る。從つて銀行がその自由保證の限度を超えて商人の爲めに保證を爲す場合には、其限度を超過した部分の保證額に對し、その超過額の二割以上の擔保をトラストに提供せねばならず。擔保の提供に付ては、勿論保證を依賴する商人が其の擔保提供に對する犧牲を負擔せねばならぬ。それだけ買附に困難を生ずる。昨年の如き明かに此問題が起つた。卽ち一九二三年の砂糖の引渡が始まらない前に、更に一九二四年糖の買附を始めることになつたので兩銀行の實際保證額が自由保證限度を超過することゝなつた。そこで日本商は保證の一部を外國銀行に依賴し、又た一部は銀行保證の代りに現金擔保として「トラスト」に提供せねばならぬことゝなつた。是が卽ち昨年保證關係が困難であつた理由であります。保證が絕對に出來なかつたと云ふ譯ではありませぬが、非常に困難であつたのです。加之、昨年は財界の不況で「トラスト」は保證に付て非常に喧しく

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

言ひまして、一般の商人及び銀行の信用に對し著しく緊縮方針を執つた。從つて商人の自由買附、銀行の自由保證の限度に對しても、極めて嚴格であつたのであります。今一つは一九二四年糖に對し日本商が盛んに買附けをやつたものでありますから、「トラスト」としても多少恐れを成したのであらうと思ひます。「トラスト」よりの買附に對して、銀行よりの保證によらないときは、通常契約高の約三割乃至四割の現金を供託すると云ふことになる。

## 五

前節「トラスト」取引の中「トラスト」の引渡に就ては「トラスト」が引渡す砂糖は、之に加盟して居る工場の何れの製品でも構はない。百五十六の工場がありますが、此等の工場は何處の港に引渡すと云ふことが決つて居る。通常一千噸ならば一港、二、三千噸ならば一、二港、五千噸ならば三港渡となる。引渡の順序は、契約成立の順序であります。「トラスト」は生產の豫想を出しますが、先づ前年の十二月頃に第一回の生產豫想を出して、夫から三月四月以後は毎月詳細に實際の生產及豫想表を出す。何處の工場では四月にどれだけ出す、五月には幾ら、六月には幾らと云ふ生產豫想を出す。之と自分の買附けた契約迄の「トラスト」の賣約の數量とを比較して、大凡そ自分の砂糖は何月何旬頃に渡ると云ふ計算が著きます。通常爪哇の砂糖は新糖の走りは四月の下旬に市場に出て、五月より十一月迄の間に其の引渡を終る。序に植附を申しますが大概四五月から七乃至十月に終る。さうして約十三箇月甘蔗を生長させて刈取る。乾燥期に植附けて雨期に入つて大いに成長したものが、再び乾燥期に日光に照されて成熟して刈取ることになる。「トラスト」の引渡場所は各積出港の倉庫の前面に在る看貫臺上である。其の看貫臺に載せる迄は「トラスト」の負擔であります。爪哇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

糖が一月渡二十一盾又は五月渡が十八盾と云ふのは、詰り爪哇白双を各港の倉庫前に於ける看貫臺に載せる迄の費用を含むだ値段であります。夫から先の引取に要する費用は詰り商人の負擔と云ふことになります。序に糖價は一九二三年の砂糖で今年に持越されたものが三百八十萬擔であつたので、品薄の關係上非常に高い値段となつて居ます。所が一九二四年糖即ち新糖は五月渡八十八盾でありますが、之は五月中はまだ生産が少ないので高い。七、八月は十六盾生産が多いので値段が安いと云ふことになります。爪哇の砂糖は麻袋(ドンローバック)に入れてありまして、一袋の正味平均一・六三六擔であります。そこで「トラスト」より渡されたる砂糖は倉庫會社が商人の代りになつて引取る。倉庫會社は工場より來るものを看貫して倉庫證劵を工場に引渡す。工場は倉庫證劵を以て商人に支拂を請求する。倉庫會社は倉入れの際必ず見本を取るので、それを工場及商人に分配する。工場及商人は之によつて糖度を定め、品質の檢査を致します。萬一品質が惡いときは商人と工場間に爭ひが起ります。其の時には仲裁々判の方法で決します。若し其の二人の仲裁人の意見が一致すれば可いが、一致しないときは最高の仲裁人を選定して其の人の意見に從ふ。若し品物が拒絶されたときは「トラスト」は更に新しいものを引渡さねばならぬ。「トラスト」の賣約中、普通の契約と變つて居るものは「バランス、コンディション」(Balance Condition)日本で殘糖契約と譯して居りますが、これは「トラスト」が確定の引渡月を定めて一定の數量を賣りました後、(通常生産豫想の約三分の二以上)殘部に對しては限月の定を爲さず、若し「トラスト」が現實に生産し得たらむには契約の數量丈けを引渡すべしと云ふ條件であります。何故に如斯契約を爲すかと言へば「トラスト」は一年の生産を賣出す場合に於て、生産の見積によつて賣りますが、もし普通一般の契約條件で限日を定めて賣約した場合に、若し「トラスト」の生産見積が誤つて居て、生産高減少の爲め或は引渡が出來ないとか、又は引渡は出來ても限月内に間に合はなかつたと云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふことゝなると、「トラスト」として責任問題が起る。それで「バランス、コンデシヨン」とするのであります。それで、それだけ生産しなかつた場合でも、引渡をしなくとも責任を生じないと云ふことになります。

六

次に第二が「トラスト」以外の工場取引、これは二十四個ありますが、支那人經營が十三、歐洲人が九、日本人の經營は二つで、南國產業株式會社經營の「スコレジヨ」の工場と、夫から南洋製糖會社に屬する「スモンヨ」の工場とであります。其の生產は年約三百萬擔內外、「トラスト」の分が二千六百萬擔として、それに對して約一割一分乃至一割二分であります。從て「トラスト」より買へない場合でも「トラスト」外の工場より買ふこともあります。只「トラスト」から買ふときは同一の値段で澤山のものが、例之五萬噸でも十萬噸でも、買へるのでありますが、トラスト以外の工場からは二千噸三千噸と纏つた數量のものを買ふことは困難であります。其代り保證の問題は喧しくない。「トラスト」は澤山賣るときは一日二日間に五百萬擔も六百萬擔も賣る。卽ち臺灣全島の全生產高位のものを一兩日に賣出すのであります。

七

次に第三の取引方法たる商人間の取引、商人が「トラスト」又はトラスト外工場より一度買つたものを、更に商人間に轉賣することがある。每日何萬噸と云ふ賣買をする。それは主として白双であります。白双は非常に數量も多いし。融通が利くので、隨つて思惑の對象に成り易い。中双・黃双・は製糖會社の原料ですから、引取られるのが普通で、從つて轉々賣買されることは尠ないのであります。商人間の賣買は「トラス

ト」の賣約と同樣、倉渡の條件でありますが、稀に本船の契約も致します。商人は日本商としては先程申しました外に、有馬洋行、日本砂糖貿易・千田商會・日蘭貿易・湯淺商店・等があります。西洋人では先程申しました外に約六七軒あります。支那人の大きいのは建源(Kian Gwan)・郭河東(Kwik Hoo Tong)・黃注(Oei Tjoe)・其他大小約六十の商店があります。印度商が約五、六軒、亞剌比亞人商が五軒、都合約百軒あります。其の數に於ては支那人が尤も優勢ですが、實際の勢力は日本商が最も有力であります。「トラスト」より買附けた各國商人の買附高を示した表によると英國人・獨乙人・和蘭人・日本商・支那人・印度人・亞拉比亞人・雜商の順で、一九一八年より一九二一年迄は、常に歐州人が第一位で、日本商は第二位又は第三位でありましたが、一九二二年より一九二四年迄は、反對に日本商が第一位になりました。卽ち一九二二年は日本が約千萬歐羅巴人が七百六十萬。二三年は日本人が千萬、歐羅巴人が八百萬。二四年糖は未だ約二千萬擔しか賣つて居ませぬが、其中で日本が約九百萬、西洋人が約五百五十萬であります。これは「トラスト」の賣約數量でありまして、「トラスト」以外の工場から買つたものもある。商人間で買つたものもある。必ずしも一律に商人の盛衰を語るものではありませぬが、大體に於て「トラスト」の買附は、商人の勢力を示すものであります。其中で、以前は英國商人の　フレーザー、イートン、(Fraser Eaton & Co.)これは古い會社で、戰時中には政府の御用商と成つて砂糖を供給し、爪哇糖界の主として市場を左右して居たのですが、一九二一年以後は私の方が何時も第一位を占めて、二一年には三百七十四萬擔、第二位が郭河東の二百七十九萬擔、其次が「フレザー、イートン」の二百七十二萬擔。二二年には第一位鈴木四百六十萬擔、第二位郭河東三百四十一萬擔第三位「フレーザー、イートン」三百二十七萬擔。二三年には第一位鈴木四百三十一萬擔、第二位郭河東三百三十九萬擔、第三位三井二百六十二萬擔と云ふ順序でありまして、隨つて日本が爪哇市場に於ける所の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中心の勢力を成すやうになりました。私の方は通常毎年「トラスト」から買ふものが約四百五十萬、其他「トラスト」外の工場或は商人間のものを合し、合計六百五十萬乃至七百萬擔を買附け、其中大部分を日本・歐洲・印度・支那・亞米利加・其他の各地に輸出し、殘りの一部分を必要に應じて、爪哇の市場に轉賣をする、と云ふやうなことになつて居ります。仲買人は和蘭人會社が大きいのが五軒ありまして、五六名乃至十名の熟練せる仲買人を養成してスラバヤ・スマラン・バタビア、に本支店を置いて長距離電話で盛んに商人間の取引を仲介致して居ります。此他小さい仲買人を合するときは六、七十名に上りませう。これで大體取引の事情を終りました。

## 八

爪哇糖の生產は、一八九四年には數量は極少ない。八百五十九萬七千擔ですが、其後世界砂糖の消費の增加に伴ひて漸次增加し、一九〇七年より一九一五年迄は二千萬乃至二千二三百萬擔內外を往來して居りましたが、戰爭になつてから歐洲の甜菜糖が減產した爲に爪哇糖に對する需要が增加した。其の爲に爪哇の砂糖は生產を增加して一九一六年より段々多くなり、一九一六年には二千六百三十八萬九千擔、一九一七年は一番澤山の年で二千九百五十萬二千、一九一八年に二千八百七十九萬一千、昨年は二千八百九十五萬二千の豫想、本年の豫想は始め三千七萬三千と云つて居りましたが、昨年の十一月に雨の降出し方が遲かつた爲に旱魃のせいか二千八百六十萬と申します。植付面積は「バウ」(Bouw)(一バウは七反一畝十六步)を以つて云ひ表します。一八九四年には十萬五千バウ、一九〇〇年には十二萬八千バウ、一九一〇年には十七萬八千バウ昨年が二十三萬「バウ」、今年が二十四萬二千バウ、植付は今年が一番多い「レコード」でありますが、先に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

申上げたやうな理由で生產が餘り多くない。今後爪哇糖の生產が增加するや否やは面白い問題ですが、これは爪哇の總面積が千八百萬バウ、農作物可耕地九百三十萬バウ、中に灌漑地が四百三十萬バウ、灌漑地の中に米と甘蔗を作る譯で、四百三十萬バウを如何に使ふかゞ詰り問題であります。御承知の通り爪哇には三千五百萬の人間が居ります。爪哇の土人は大體に於て日本人と同じ骨格で、其主要食物も亦米であります。其の米が一年に尠くも三百五十萬噸內外を必要と致します。爪哇の近所には柴棍・蘭貢・盤谷・東京・と云ふやうに米產地がありますので、それを輸入すれば餘り高くなく買へますが、これは食料品を全然外國に仰くことは危險で、殊に戰時に於てはさうであります。爪哇としても食料自給の關係から、三百萬噸內外の米を爪哇で作ります。殘りの五十萬噸位を、年に由つて異りますが、輸入する。故に四百三十萬バウに對して先づ相當な米を作り、而して其餘裕あるところに甘蔗を作るので、甘蔗の耕作と云ふことは米作の干係上大なる制限を受けて居るのであります。從て新たに甘蔗耕作面積を增加せむとする場合は、必ず政府の許可を必要と致します。今一つは始めに申しました通り、土壤及び乾燥の關係上、東部は甘蔗耕作に適するも、西部は左程に適しない。然るに東部特にスラバヤ州以東に於ては、耕作面積既に最高限度に達して居るさうで今後擴張の餘地は少ない。尙更に爪哇糖としても滅茶苦茶に生產を增加すれば、自分の作つた砂糖の値段を下げることになりまして、經濟上から言つても宜しくないので、兎に角さう云ふ問題に由つて、爪哇糖は矢張り大體に於て三千萬內外の數量が今後暫く繼續されるものと考へます。勿論世界砂糖消費の一般的增加に從ひ、爪哇糖も漸次其生產を增加するの傾向あることは疑を容れませぬ。次に耕作の狀況を簡單に申します向ふで一バウに付、甘蔗が最も多く出來たのは一九一七年で、平均千二百四十三擔、之を甲當りにすると約十七萬五千斤位であります。最近少ない年で、一九二〇年の平均千〇七十七擔、一〇七七擔と言ひましても

甲に直すと矢張り十五萬二千斤位で、臺灣の最近の平均五萬四五千斤に比べると、約三倍になるのでありま す。平均一、一五〇擔として十六萬三千斤餘になります。步留は多いときが平均一割一步四厘五毛、少いと きで一割三毛、概して一割一步と云ふことが出來ませう。生產費は昨年は十盾ですが、今年は九盾位であり ます。從て白双を九盾五十仙とすれば、中双・黃双・は八盾五十錢見當になります。

## 九

次は消費で島內消費が每年二百四十萬擔、其の二百四十萬擔の殘りは殆んど全部が海外に輸出される。其の重なる仕向先は第一が印度―印度は白双を使用します。それが七百萬擔乃至八百萬擔、最近の數字は七百六十四萬九千擔の輸入を致します。夫から次が歐羅巴、それは戰爭前はそんなに澤山行きませぬでした。平均約二百萬乃至三百萬擔でしたが、戰爭中からは約七百三十萬擔輸出されるやうになりました。戰爭後も引續き多く、今年も矢張り其の位のものが輸出されること、思つて居ます。次は日本―日本は以前は三四百萬擔でしたが、最近五百萬擔、それは主として黃双であります。次は支那で、最近十年の平均は三百三十五萬擔ですが、之も最近四百萬擔以上を輸入して居ります。亞米利加は戰爭前は澤山輸入して居ます。殊に一九〇二年から一九一二年迄は彼此四百萬擔も輸入して居ます。其後屬領の布哇・ポートリコ・フイリッピン・及特惠品たる玖瑪糖の生產が盛んに增加した爲め、爪哇糖を要することが尠くなり、今日では殆んど輸入しない。假りに輸入するとしても年に二三十萬擔位であります。濠洲も以前は平均七十萬擔を輸入して居ましたが、最近自國內で保護政策を採つて年々三十萬噸以上の砂糖が出來るので、矢張り十萬乃至二十萬擔位しか輸入しない。夫から暹羅、之も一、二十萬、夫から新嘉坡之は約百萬擔であります。之等の輸出先の中で、

印度と日本と支那は、地理上の關係もありますし、又その使用する砂糖の品質上より云ふも、爪哇糖に取つては規則的なる顧客であります。此の三ケ國は特別の事情がない限り、年々爪哇糖を買はなければなりませぬが、歐洲は甜菜糖の恢復もありますし、而己ならず歐洲は必ずしも爪哇糖を取らなくでも可い。否寧ろ自ら進んで、世界各國の安い砂糖を取つて精製糖を作ると云ふ狀態にありますので、或は爪哇の代りに玖瑪或は伯拉西爾・ペルー方面の砂糖を購ふ。常に安い砂糖を買つて旨く使用する地位にあるので、それは爪哇糖から言ふと、印度・支那・日本のやうに確實なる消費者とは言はれない。本年の砂糖の大凡の消費狀態を考へると、大體に於て歐羅巴が七百五十萬、印度が七百五十萬、日本が五百萬、支那が四百五十萬、新嘉坡百萬、其他の各地七十萬、島内消費二百四十萬、合計二千八百六十一萬でございます。

## 十

次に**糖價**—糖價は御承知の通り一九〇七年から歐洲大戰前迄は一高一低、十盾より十一盾見當を小往來せしが、大戰となりて漸次昂騰し、一九一六年は歐洲へ千百二十三萬三千擔も輸出されたと云ふ年で、最高十六盾五十錢になりました。如斯糖價の昂騰は軈て一九一七年及一九一八年の生産の增加を來す一因ともなつたのでありまして、一九一七年は爪哇糖生産の最高のレコードをとゞめ、二千九百五十萬二千擔の生産がありました。然るに歐洲は戰爭の爲に船腹が非常に不足したのみならず、糖價は日々に昂騰して將來如何になるか判らない。歐洲交戰國は船腹不足或は糖價調節の爲に砂糖の管理をした。第一に船腹は主要なる彈藥食糧品を輸送することに割いて、餘りのものを砂糖其他の輸送に充てることになつた。一九一七年の砂糖は斯樣な事情で歐洲商人としては手を出し兼ねて居る。詰り買附を能う仕なかつた。唯支那人のみが相變らず十二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

盾から十七盾迄で、約生産の半分を買附けた。所が一九一七年の五月頃より愈〻砂糖が出廻はることになると、今申しまするやうな船腹不足の爲に輸出が出來ない。殊に其の時は和蘭商船が聯合國の爲めに抑留されて、積出すにも船がない。砂糖は日に增し港に嵩まると云ふので、一九一六年に十七盾迄昂騰した砂糖は、漸次暴落して一九一七年六月には十一、二盾になつた。斯う云ふときに支那人は割合に破廉恥なもので、此の年も自分達の砂糖は引取らない。各工場は非常に困つて其の引渡に就て色々支那人と交渉したが何うしても話は纒まらない。隨つて糖價は彌か上にも暴落を辿る。其の救濟策として爪哇糖聯合會(Javasniker vereniging; Java Sugar Association-)が出來た。此の聯合會は支那人が取引が出來ない砂糖の販賣に任ずる目的を以て設立された。さうして其の年の八月に入つて漸く十一盾半で第一回の賣出を爲したが、年末糖價は更に十盾半に下落し、翌一九一八年に持越したものが聯合會の手持八百八十萬擔、その以外のものを加へると實に千二百八十萬擔のものが殘つて居た。これは非常に大きなもので、今年は三百八十萬擔を持越したに過ぎないが、その年は生産の約半分に近い千二百八十萬を持越した。從つて糖價はミヂメなもので、加ふるに一九一八年の植付も相當澤山やつて居る。如斯にして一九一八年は暗雲低迷の裡に明けたのでありましたが、一九一七年糖は益〻下落の歩調を辿る爲めに聯合會員間に漸く意見の衝突を見るに至り、自然解散の運命に立至つた。去れば各生産者は先を爭ふて賣出を實行する。加ふるに五月以後は新糖も出廻ると云ふので、糖價はいやが上にも暴落、七月には遂に四盾半の安値を見るに至り、更に不幸なることには此年は爪哇は非常な米の不作で、米は高い砂糖は安い。そこで一九一九年の砂糖は植付を止めやう。或は工場を閉鎖しなければならぬと云ふやうな議論が盛んに起つた。此の年は暹羅米・蘭貢米も不作でありまして輸出禁止をして居る。柴棍米・東京米これは主として歐洲交戰國出征軍士食料として送る。或は日本も不作の爲めに買付する

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふ風で、三、爪哇四十盾にも上つた。近頃は大概七八盾であります。そこで食料問題と糖價の暴落は、爪哇としては由々敷社會問題を惹起するかも分らないこと、なつた。それで一九一八年の七月二十九日に爪哇の總督は、爪哇糖の生産者及び輸出業者の重なるものを招待して、其の善後策に付き協議した。其の結果新らしく爪哇糖の生産者の聯合會と輸出業者の聯合會を作つた。そうして兩者は一致協力して爪哇糖の輸出に努めると云ふことになりまして、差當り三名の委員を設け、輸出制限令を布きました。これは詰り此の三名の委員の推選に由つて政府から輸出許可證を與へる。それがなければ輸出は出來ない。輸出するには輸出許可證を要する。それを得るには三名の委員の推選を得なければならぬと云ふので、いやが應でも總ての生産者を聯合會に加盟せしむると云ふ背水の陣を布いた。さうして一方輸出業者の聯合會と協力して一九一七年及び一九一八年の砂糖を一緒にして、一定の手數料を規定して生産者の爲に輸出を圖ると云ふ方針に出でました。所が當時和蘭本國に於ても矢張工場主が各相當の計畫を立てる。當時は「センサス」の喧ましい關係上爪哇と連絡が取れず。相談が出來ない。そこで和蘭本國では輸出業者を加へずに生産者のみの聯合會を作つた。そこで爪哇に於ては一方和蘭にさう云ふものが出來て居ると云ふこと、今一つは輸出業者が一致の歩調が取れなかつたこと、の爲めに、結局一九一八年の十月になりまして和蘭に於ける組織其のものを採用することになり、輸出業者との手を切つたのであります。之が今日の爪哇糖生産者聯合會即「トラスト」であります而してトラストはアムスタルムに本部を置き、スラバヤに支部を置いた。所で「トラスト」成立の時市場に傳はるや、糖價は漸次持直すに至り、「トラスト」は一九一八年八月に七盾半を以て第一回の賣出を爲した。一九一八年糖は更に十三盾半迄賣上り、一九一九年の砂糖は十四盾から二十五盾、一九二〇年は暴騰して最低三十二盾、最高五十二盾となり、商人間の取引は七十六盾迄出來た年であります。夫れが一九二〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年の五月末から段々暴落して七十六盾迄出來たものが其の年の十二月に十三盾半迄暴落しました。即六十二盾五十仙の大慘落を演したのであります。「トラスト」も其の年の殘糖は僅か計りでありましたが、二十盾迄値下しました。一九二一年糖は始め二十盾で賣出しましたが、其後更に世界の大勢に應じて其の年の六月末に十一盾に値下し、後殘糖の一部は十五盾迄賣約しました。一九二二年糖は始め十二盾に賣出し、一時十一盾に値下げせしも、歐洲よりの大量買付により市價を支へられ八月殘糖を十四盾にて年仕舞ひした。昨年即一九二三年糖は十三盾二十五仙に始まり、高値十九盾迄賣約しました。商人間では高いときは二十三盾七十五仙迄商賣が出來て居ります。一九二四年糖は十五盾に起り一時十四盾に値下し、現今又十六盾五十仙に値上して居ます。

## 十一

斯う云ふ風に糖價は變遷して居りますが、爪哇の糖價はどうして決つて行くか、それは矢張り大體玖瑪糖價から決定されるのであります。先程申しましたやうに、爪哇としては千五百萬擔の白双千三百萬擔の中双・黃双を生產する。之を全部賣らねばならぬ。日本の需要より云へば、黃双は玖瑪日本と爪哇日本との運賃の差及び玖瑪糖との品質の違ひから、日本としては爪哇の黃双は玖瑪の値段を爪哇に引き直したものより高くても構はないと云ふ地位にあります。所が歐洲に中双を賣るとなると、之は運賃の關係上反對に安くなくてはならぬ。そこで「トラスト」は大體左樣な點を考慮に入れ。玖瑪の値段を爪哇に引直したものより幾分加減して、中双・黃双の値段を定め、白双の値段を定めるのであります。さうすると歐洲商及日本商は各中双・黃双は勿論、白双も買う。日本商と歐洲商が買付を爲すと、支那及び印度は自然に之に追隨する。そこで爪

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

哇糖の全部を賣盡すことになる。爪哇の砂糖が今日大體に於て玖瑪に支配されて居るのと云ふのは其處であります。爪哇の砂糖を日本に持つて來れば約どの位になるか、假りに十五盾の黄双を買附けたとすると、日本迄の運賃が約六十仙、向ふで船積其他に要する費用を入れて十六盾五十七仙位になります。それを日本の圓に直すと八十錢の換算で十三圓二十六錢になります。それが[illegible]日本でそれに輸入關税を加へ、其他の費用を加へると、大體に於て十六圓八十六錢になります。今日臺灣分蜜糖が十七圓六十錢と云ふて居りますが、之等の相場は矢張り爪哇糖價の支配を受けて自然に定つて行くものである。それで日本の砂糖の値段は玖瑪爪哇に支配されると云ふのであります。之で大體話を終りました。

## 十二

私は臺灣に參りまして僅か二週間で、別に之と云ふ感想もありませぬが、豫て私が考へて居る日本の糖業と云ふことに就いて、一言私の希望を述べて講演を終りたいと思ひます。第一は臺灣糖の生産費を低減せしむることであります。先に申しましたやうに爪哇黄双が假りに八盾五十仙で出來るとすると、それが日本に來ると保税倉庫渡約十一圓六十錢となる。臺灣の分蜜糖の生産費の平均は約十二圓見當である。即ち三圓十錢と云ふ輸入關税の保護を受けても尚爪哇糖が安い。尤も兩者間には品質の差による値開があり。只今は輸入關税に由つて臺灣の砂糖は保護されて居りますが、併しながら何時迄も小供のやうに保護されて許り居る譯にも參りますまい、必ず自ら獨立獨歩、何處の國の砂糖と競爭しても負けないと云ふ程度に生産費を切り下げなければならぬ。成程爪哇と臺灣とは天惠に於て既に差がある。向ふは土壤が肥えて居る。暴風もない。雨量も相當にあり光線も豐富で、氣候が甘蔗耕作に適して居る。人間が多くて賃銀も安い。種々の點に於て

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

先天的に臺灣に勝つて居りますが、併しながら臺灣の現狀に於ても、若し吾々が努力すれば更に生產費を低減する餘地があります。これは先日糖業試驗場に參りまして、石田技師にお目に懸り數字を拜見すると、石田技師も其の意見で明かに數字が出て居る。例へば是から灌漑の設備を好くする。今に嘉南大州が出來る。さうすると水が豐富になる。夫から肥料をも少し餘計にやる。夫から手入れを良くする。爪哇ではこゝとは違つて總て會社自作ですが非常に手が屆いて、一の甘蔗を植ゆるにも恰も日本の庭先きに盆栽を育てるやうに可愛がる。植付けて水をやる。夫から肥料も周到に甘蔗の根にやる。除草も完全にやる。誠に手の屆いたものである。それを臺灣の甘蔗の育て方に比すると、一方は實子、一方は繼子を扱つて居るやうに思つた。如斯點を好くすれば、爪哇の甘蔗が假りに一バウ當り千百五十擔としても、甲當り十六萬參千斤となり、臺灣の約三倍でありますが、臺灣も五萬四五千斤が十萬斤十五萬斤になることは必ずしも六け敷いことではないと思ふ。試驗場では左樣な成績が擧つて居るのであるから、どうしてもそれを實行せなければならぬ。尙砂糖の步留は爪哇では近年約一割一步、こゝでは一割ですが、工場の操作から云ふと、臺灣は爪哇よりも反つて步留が良いと云ふ。然るにも拘はらず全體の步留は約一分位は惡いと云ふことは、詰り甘蔗其のものが惡い、砂糖分が少いと云ふことになる。臺灣では非常に風が强いとか其他色々の原因もありませうが、結局甘蔗の糖分少ないものが出來て居るやうです。併しながら之も改良に由つては更に暴風雨にも耐へ、糖分の多いものが作れると思ひます。卽ち蔗苗の改良が必要であります。要之、主として農事方面から生產費の低減を圖ることが第一の希望であります。第二は生產を增加すると云ふことであります。御承知の通り日本では每年約七百五十萬擔の砂糖が出來ますが、それに對して消費は八百五十萬、九百萬乃至一千萬に上つて居る。矢張内國で出來るものは不足して居る。假りに内地の不足を補ふ爲めに二百五十萬擔の爪哇糖其他を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

買ふとして其價は約三千三百萬圓となる。平年はそれで好いとしても、戰爭になつたら爪哇糖も日本に持つて來られないと云ふ時が來るかも知れぬ。況んや玖瑪・比律賓糖に於ておや。是に於て我國も糖業の自給獨立が必要となる。少くとも自國の需要を充し得る範圍內に於てもし萬一生產が餘つても生產費さへ安くしておけば、之を輸出して海外市場に於て他國品と大いに競爭することが出來る。如斯意味に於て、も少し生產を增加し又は增加し得る餘地に造つて置くことが必要であらうと思ひます。之を現在耕地面積より二倍三倍の甘蔗が出來るやうになれば、隨つて砂糖の產額も千萬となり、千五百萬となる譯であります。必ずしも新しき耕地面積の擴張を要しない。此の點に留意して益々努力されんことを希望します。第二には日本をして世界の砂糖の市場の中心とならしめる。それは今日紐育・倫敦が各亞米利加及歐洲に於て世界糖價の中心市場で、世界の糖價を支配して居るが如く、日本もどうしても東洋の中心として其支配權を獲得し、東洋の人民に砂糖を供給すべき使命を以て生れて來て居る。それには先に申上げたやうに生產費の遞減、生產の增加に依り、內地の糖業を勃興せしむることは勿論、更に進むで世界各地の到る所の砂糖を持つて來て、紐育・倫敦が如何なる國の砂糖でも之を安いものは利用して精製糖を作るやうに、我が國も世界到る所の砂糖を利用するやうに研究しなければならぬ。爪哇の砂糖でなければ精製には工合が惡いと云ふやうではゐかない。何處の物でも持つて來て精製し得る所の研究をしなければならぬ。又それを實行しなければならぬ。さうして其の安い所の砂糖を國民に供給することは勿論、更に進んで之を海外各地に輸出する。而して其の生產及び貿易上の利益を以て國富を增進するやうにしなければならぬ。若し世界各國何れの砂糖でも使ふと云ふことになれば、今日高く買つて居る爪哇糖も生產者を牽制して今少し安く買へるやうになることは疑ない處であります。「トラスト」として每年頭痛を病むのは日本が假令幾分でも玖瑪糖を買つたと云ふ報知であります。そ

の報知に接することを何よりも恐しく思つて居る。日本の製糖會社は大いに爪哇・玖瑪兩方を天秤にかけて之を甘く操ると云ふことが何より大切なことであります。吾々商人は自己の養ひ得た商業上の智識を以て、世界各地到る處に自ら進んで行つて、其他の事情を研究し、市況を報告して內地市場を導き、安いものは日本の製糖業者に供給する。獨り之を日本國民に分配するのみならず、更に其精製品を外國に輸出する。尙單に外國のものを內國に持つて來るのみならず、更に進んでは直接外國のものを他の外國に輸出する。例之今日爪哇糖を歐洲印度或は支那其他に輸出する如く直接に輸出し、國際貿易上より得る利益を以て我が國經濟の發達に資する考で從事して居る次第であります。私共は生產者と商人と相携へ我が國文化の向上發展の爲に竭くしたいと考へて居る次第であります。

—大正十三年一月三十日總督府に於ける東洋、南洋兩協會支部主催講演會にて—

# 臺灣島に對する地史調査の必要

臺灣總督府囑託　鷹取田一郎

此一篇は臺灣改隷以來の大暴風雨のあつた明治四十四年の歳、災後、鷹取氏の起草されたもので未だ公けにされずに存した舊稿である。勿論地文地質に就て專門家ならざる氏の、之に關する其の取材考察は必ずしも適切なりとは思はれぬが然かも「地史調査」といふ全篇の主眼に至つては確かに其の要を認むるのである。一篇百年の計、十餘年前の舊稿必ずしも舊ならざるを覺える。(編者)

目次

第一章　序論
第二章　本島に對する地史學上の觀察。第一節　造山力の發動現象。第二節　脆弱なる地殼の構造。第三節　水蝕作用に於ける縱谷と横谷の變化。第四節　瀑布の退却及び自然湖の消滅。第五節　河口洲の過去現在未來。第六節　氣象に原因せる地殼の變動。
第三章　地史學的觀念を基礎とせる土木事業。
第四章　地史調査會を設置せよ。第一節　調査會の必要なる理由。第二節　調査會の目的とする事業。第三節　調査會を組織する方法
第五章　結論

## 第一章　序論

臺灣は南瀛の一浮漚のみ。假令三十六島牕外に駢列し、九十九峰階前に揖讓し、雲興霞蔚、居然として人間の文物を形成する者ありと雖ども、山河相砥礪して崩拆冲陷、毫も底止する所を知らざるの現象に想到せば其の桑滄の變、洵に人をして江山の幾す可からざるを浩嘆せしめずんばあらず。

今年(明治四十四年を謂ふ)八月下旬に於ける臺灣の大暴風雨は近世稀有の慘事なりと稱せらる。其損害總額

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

約六千萬圓敢て輕微なりと謂ふ可からず。然れども是れ自然の地貌上に建設したる營造物の破壞に過ぎざるのみ。更に此暴風雨の爲めに異動を與へたる自然地理上の變化に至ては、世人之を目睹耳聽の際に感覺せざるに非らずと雖ども、其系統を逐ひ、其順序を立て、以て能く組織的に說明する者に至ては、未だ曾て之れ有らず。漫然唯地貌の變化に吃驚して、之を茶前酒後の閑話題に供するのみ。

翻て過去の歷史を鑒みるに、暴風雨は寧ろ本島特殊の名物にして、古來之が爲めに人畜の死傷造營物の損害等、人をして酸鼻に堪へざらしむる者幾囘なりしを知らず。隨て暴風雨の襲來毎に著しく自然の地貌上に變化を與へたること、開闢以降蓋し幾千萬囘なるを知らざるべし。一千八百九十年前後、清國海關の稅務吏として安平に住居したる英國人「ピックリング」氏が、其著「臺灣に於ける開拓事業」に於て大暴風雨の猛烈なる現象を詳述するを見ん。更に臺灣の藝文を探討すれば、暴風雨の詞章に顯はれたるもの幾ばくなるを知らず。特に巡臺御史として本島に駐紮したる孫元衡が「颶風歌」を作て鑒戒を後昆に垂るゝを見ん。更に舊版臺灣府志に於ける風信の篇及び稗海紀遊に載せたる颶風に關する紀事等を閱讀するに於ては、蓋し想半ばに過ぐる者あらん。尙ほ舊志の謂ふ所を看るに、颶風にして俗鬪別に麒麟颶と稱するものあり『其暴者風中有火數年間竹樹咸焦』と云ふに至ては、聊か荒誕に屬すと雖ども、古來本島に於ける暴風雨が深く世人の憂慎する所たりし情態は、蓋し之を以て察するに足らん。

既に吾人は今年(明治四十四年を指す)の暴風雨に依て、自然の地貌上に著大なる變化を與へたるを目擊せり。前段既に陳述したるが如く、果して本島に於ける暴風雨が特に猛烈を極むるもの有りとせば、古來幾千萬囘なるを知らざる暴風雨の襲來毎に、這囘吾人の目擊せるが如く、自然の地貌上に變化を與へたるの事實は疑ふ可からざる所なり。果して然らば、現在本島の地貌は、古來幾千萬囘なるかを知らざる地貌の變化を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經過して以て現在に至れることを覺らざるを得ず。尙は過去の經歷に由て、進んで將來の變化を觀測する時は、吾人が本島を以て南瀛の一浮漚たりと謂ふもの豈夫れ偶然ならんや。

自然界の現象は往々人爲と相扞格するもの有り。暴風雨に由て被むる國家財政上の損失の如きは、畢竟此に原委するに外ならざるべし。旣に吾人をして南瀛の一浮漚たるを感ぜしめたる地盤上に人爲の建設物ありとせば、必らずや豫期す可からざる天變地妖の爲に、何の時か之を破壞せられざるを得ず。斯の如きは自然の現象に於て免かる能はざる所たり。是に於て乎地史學的調査の必要は生ぜり。

地史學的調査とは何ぞや。卽ち地文學及地質學の見地を以て、本島地貌の形狀が現在に至れる歷史を研究して、之を系統的に之を秩序的に最も具體せる事實を獲んとするもの是也。若夫れ之を事實にするを得ば、臺灣の統治に資すること蓋し鮮なからざるべし。吾人今此調査の必要を訴へんが爲めに、次章に於て本島に對する地史學上の觀察を略述し、以て世人の注意を請はんとす。吾人固より斯道の學者に非らず、其說く所或は石を看て虎と爲すの過失無きを保せざるべし。識者幸に垂敎を吝む勿かれ。

## 第二章　本島に對する地史學上の觀察

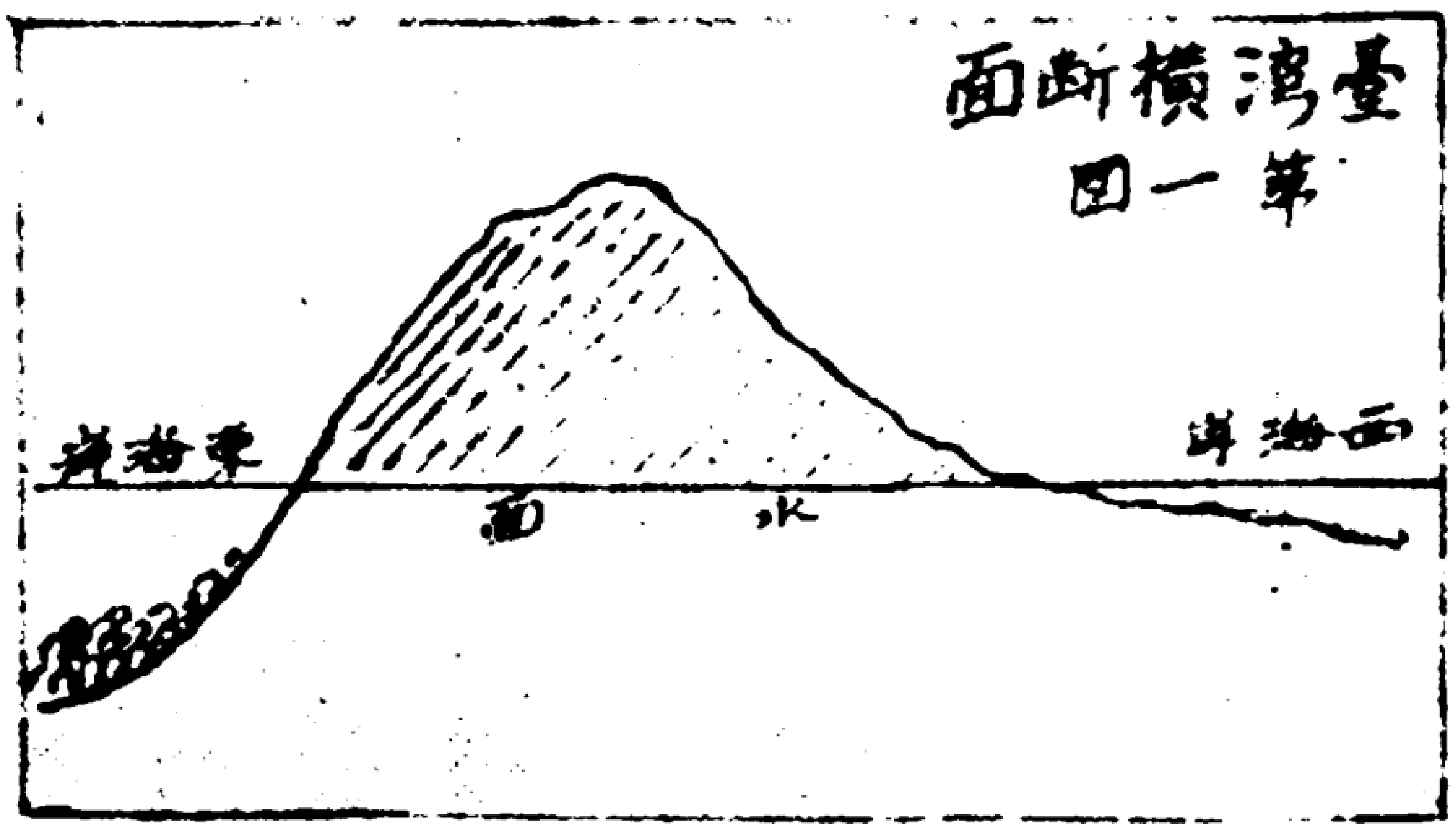
### 第一節　造山力の發動現象

地球の收縮に由て生ずる著しき現象としては陸地の一部分に隆起作用を現はすと同時に、他の一部分に降沈現象を生ずるは勢の免かれざる所、地文學上之を名けて造山力と稱せり。今之を臺灣島に徵するに、其の西海岸に於て隆起作用を認むると同時に、東海岸に於て降沈現象を示せるは爭ふ可からざるの事實なり。之

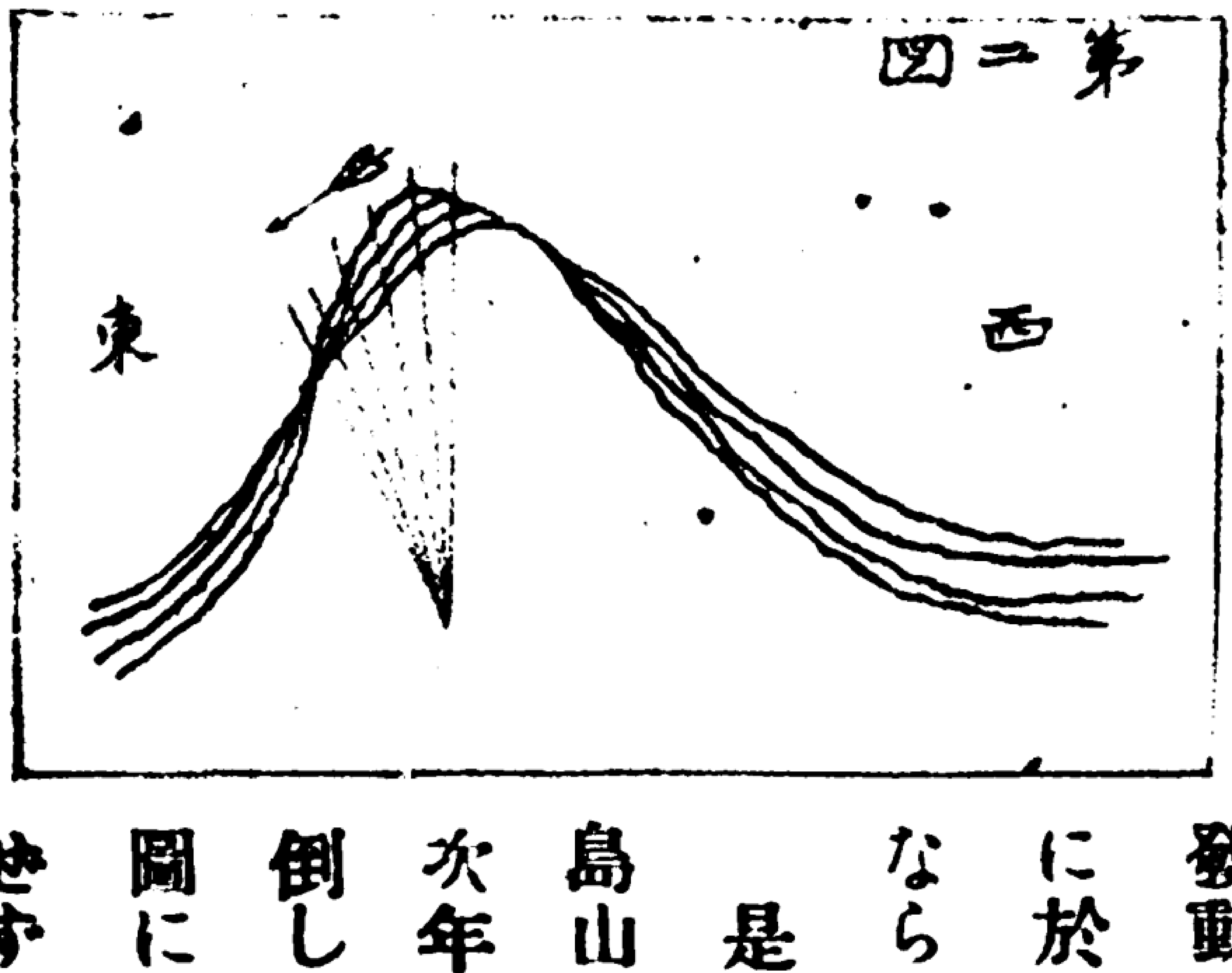
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を本島に於ける造山力の發動現象と爲さゞるを得す。

第一圖に示せる如く、本島の東方に於ける太平洋中に非常なる海深を有する部分あり。此の海深を充塡し了らんとするの作用は、自然に岩石の崩拆を促がし、之が爲めに本島東面の地殼を剝落せらるゝは勢の然らしむる所、其勾配の急斜にして斷岸絕壁の相連亘するもの蓋し此に之れ由る。殊に臺東、花蓮港の兩地に地震の多きこと復た此に原因せすんばあらず。之に反して西部の海底は年々歲々隆起し來るの現象を示し、浦澱相望み、淺渚遠く相連るもの、漸次西に延長せられ、往時閩粵の通商口たりし三林港、北港は既に陸地に化し鹿耳




門も亦た桑田の間に殘らんとせり。其他鹿港、塗葛堀、梧棲、香山の各海岸の如き、其の汀線の西に向て推移せること最も顯著なるを見る。是れ即ち造山力の




發動現象にして、本島に於ける地史上の大觀ならざる可からず。

是に由て稽ふるに本島山嶽の中心點は、漸次年を逐ふて東方に傾倒しつゝあること第二圖に示せるが如きを信せずんばあらざる也

## 第二節　脆弱なる地殼の構造

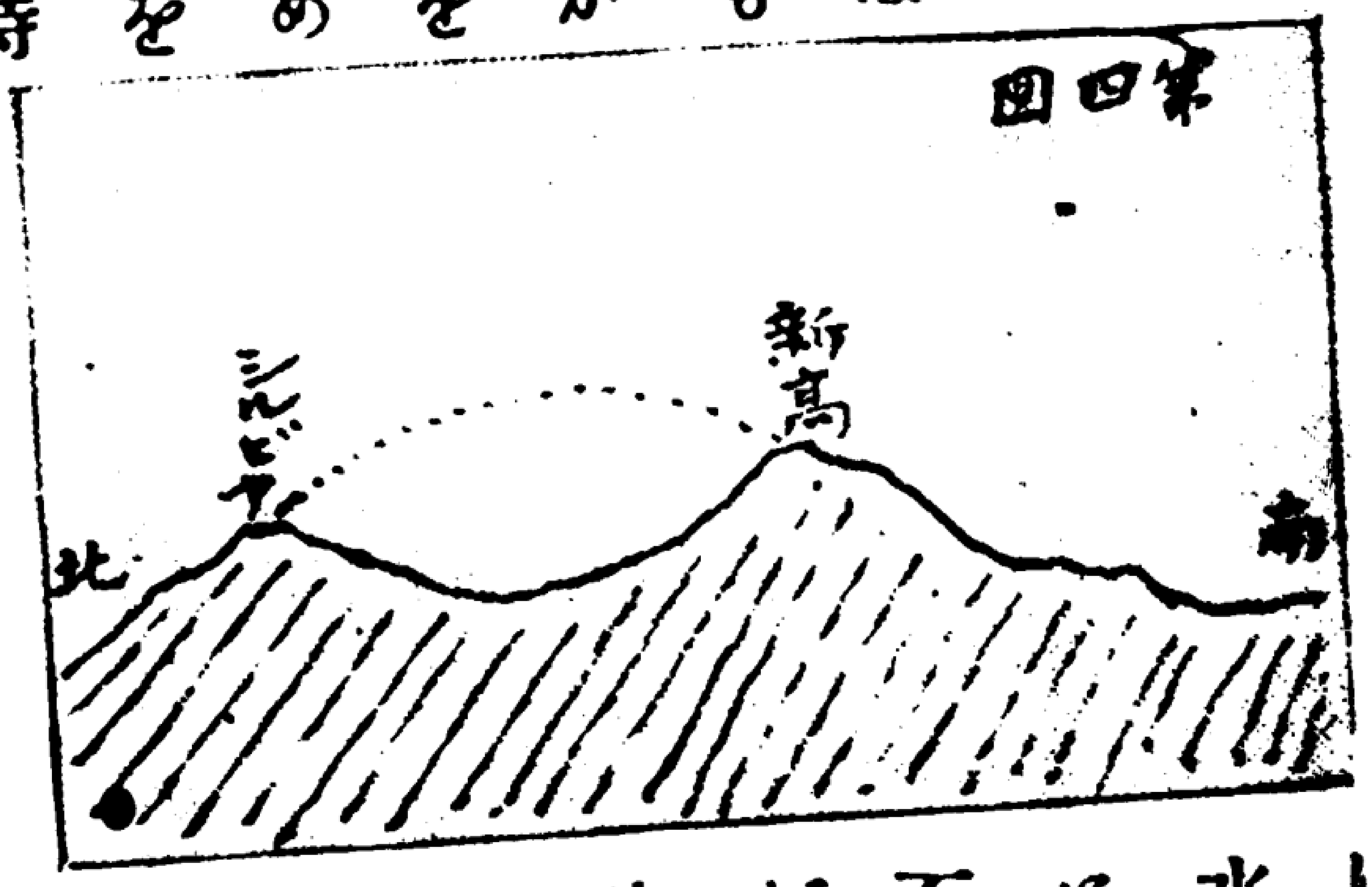
前段に陳述したる現象は、地文學の範圍に屬する問題にして、地貌變化の狀態は未だ之を以て盡せりと謂ふ能はす。故に本節に於ては聊か地質學上の觀察を試みざるを得ず。

抑も本島の地質は、地史學上第三紀層若くは第四紀層に屬するものにして、其の地殼を組織せる主要岩石

に總て是れ水成岩より構造せらる。是を以て水蝕作用を感受すること極めて猛烈也、之を他の火成岩より構造せらるゝものに比すれば、頗ぶる地殼の脆弱なるを覺らざる可からず。前述の造山力に於ける現象が最も猛烈に發動するも亦た當然也。

試に吾人の想像を逞ふせしめん乎。此の脆弱なる地殼が水蝕作用に應ずる現象は、實に左圖を以て說明するを得ん。

抑も造山力の發動現象は永久不變也。若夫れ此の發動現象をして任意に放置し、毫も之に向て水蝕作用を加ふるものあらずと假定せば、第四圖の想像線に由て示されたる如く、「シルビヤ」山、新高山等よりも、尚ほ更に遙に高峻なる一大峰が、本島の中部に突兀として聳へたりしを信せずんばあらず。然れども太平洋中の海深が近く本島の根部を剝落せしむる爲めに、山嶽の崩折を免かれざると同時に、本島全部の地殼が水蝕作用を感受すること甚だ猛烈にして、岩石の決潰頗ふる急なるが爲め、高峻なる一大尖峰を形成すべき主要成分は、東西に崩潰隕落して、遂に現今の大鞍部を形成し、新高山と「シルビヤ山」との尖峰を南北に對峙せしむること、第三圖の如くならしめたり。之を新高山の實測者に聞く、該山の最高峰は五位の主山より成り、孰も競ふて峻秀なる鋭角をなせりと雖ども、水蝕風侵の爲めに、常に其形を變化せしめ決して恒久不渝の容態ある莫しと。果して斯の如くなれば前述の想像說も亦た人をして聊か首肯せしむる所あらん。




Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

果して然らば西臺灣の中部に於ける肥沃の平原は此の高峻なる一大尖峰を形成すべき主要成分の崩拆したる積土ならざる可からず。地殼構造の脆弱なる寔に愕くべきにあらずや。

### 第三節　水蝕作用に於ける縱谷と横谷との變化

曾て聞く、往古「ヘブリュー」人の詩篇を研究する時は、水は陸地を整理するの神力を有するもの也との意味を歌へる事實を得ん。是れ實に至言也。臺灣の地理を案ずる者は、多くの溪谷が縱横相錯綜せるを知らん。而して多くの場合に於て、其の縱谷の南北に流通するもの、所謂陸地を整理するの神力に由て、更に横谷に變化せんとするの現象を示せり。濁水溪、大甲溪、大安溪、孰れも咸な此の神力に由て、脆弱なる或る地殼を截斷し、以て現今の横谷を作れるものならざる可からず。斯の如きは鐵道旅行者も亦た常に目擊せる現象にして、奇巖怪石の峨々たるもの水流の爲めに横斷せられ、奇怪更に奇怪を極むるもの、車窓の外に歴々指顧するを得ん。

更に此の縱谷と横谷との關係の最も著大なるものとして阿緱平原に於ける現象を擧げて其適例を示さゞるを得ず。

舊蕃薯寮廳管内に於ける楠梓仙溪と老濃溪とは倶に本島の縱谷にして、元來大武山脈の西麓に沿ふて南北に流れたるものたらざる可からず。然れども大武山彙に屬する中央山脈の連山に發源する濁口溪、隘寮溪、萊社溪、其他の横谷が楠梓仙、老濃の二大縱谷に集注滙合して、此に陸地を整理するの神力を逞ふしたるを以て、漸次現今の地貌を形成し、下淡水溪の一大横谷を穿鑿するに至れるものならざる可からず。果して然らば舊阿緱廳の管内は、此縱谷と横谷との衝突に由て作られたる冲積平原なりと謂ふを得べし。

現に蕃薯寮街(現今の旗山)の地盤が、年々河流の爲めに侵蝕せらるゝの實況あるもの、即ち是れ楠梓仙溪の縱谷が、漸次下淡水溪の横谷に變化せんとする焦點に立てるに由るものにして、奈何に人力を以て護岸堤防を築き之を制止せんと試むるも、自然の作用は到底人力を以て之を捍禦する能はざるべし。

更に之を小にしては舊新竹廳管内の三叉河に於ける現象、臺北市街附近に於て淡水河の流域が諸溪流を綜合せる現象等の如き、本來の縱谷が將來に於て横谷に變せんとする自然作用の爲めに、地殼を截斷して息たらざるの形迹は、歷々として各處に認むるを得ん。

## 第四節　瀑布の退却及び自然湖の消滅

今臺灣島の地貌に依て想像するに、悠遠なる上古に在ては、地殼の陷沒の爲めに生じたる幾多の自然湖の存在せしを疑ふ可からず。現時に在ては既に全く消滅に歸し去りたるを以て、其の遺跡は萬山周遭の間に之を認むるを得るのみ。今纔に之を存するものは水沙連湖にして、現今の所謂「日月潭」是也。

日月潭は吾人未だ實地を探討する能はずと雖ども、多くの場合に於て自然湖の吐口は概ね瀑布を爲すものたらざる可からず。其最も顯著なる實例を擧ぐれは、米國の「レリー」湖及び「オンタリオ」湖の吐口に「ナイヤガラ」の瀑布を有するが如き、我日光山に於ては中禪寺湖の吐口に華嚴瀧を懸くるが如き、比々皆な然らざるは莫し、幸に日光山の地質は堅緻なる火成岩に依て構成せらるゝを以て、華嚴瀧の退却は極めて遲鈍なりと雖ども、「ナイヤガラ」に在ては、其地質水蝕作用を感受する水成岩に依て構成せらるゝ因り、彼の大瀑布は年々幾吋かを截斷して退却しつゝあること地學者の確實に認知せる所にして、此の瀑布の退却は遂に「レリー」湖及び「オンタリオ」湖を消滅せずんば歇まざるの勢ある也。本島の地殼が水蝕作用を感受するに鋭敏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なる事實は、前節に於て詳述したる所、是を以て考ふるに、上古本島に存在したる幾多の自然湖は、瀑布の爲めに截斷せられて遂に消滅に歸し去りたること、既に之を疑ふの餘地莫からん。

人若し本島の蕃界を踏査して、深山幽谷に向て進入するあらば、其の溪流に於て必らず河峽の存するを見ん。其幅員極めて狹少にして兩岸に、斷崖を有し、殆んど天門狹窄纔かに身を容るに足るもの、如し。斯の如きは總て是れ瀑布が地殼を截斷して退却したるの結果、終に自然湖を消滅せしめたる遺跡ならざる可からず。

瀑布は實に山嶽を截斷する刀鋸也。本島に於て最も適切に、且つ最も明瞭に之を覺らざるを得す。現今本島に現在する瀑布は、其數枚擧に遑あらざるべし。而して此等の瀑布は、孰れも咸な過去の歷史上幾多の地殼を截斷して、其の自然湖を消滅せしむるに於て業に已に偉大なる成功を擧けたるものにして、其餘威尙ほ山嶽を截斷しつ、あるものならざる可からず。之を鐵道「ホテル」の談話室に掲げたる雙溪の扁額に徵せ。水平を維持せる沈澱層の斷崖に、一道の瀧湫が滔々滴々として直下する偉觀に接するを得ん、是れ實に臺灣に於ける瀑布の作用を明瞭に認識すべき好畫題たるを失はざる也。

往時の水沙連湖。卽ち當時の日月潭に關しては吾人別に說あり。此に之を述ん。

藍鼎元の東征集に見へたる「荷苞嶼」は、吾人今之を實地に目擊せす。然れども舊時の嘉義廳管內の海岸に於て海の一部たる自然湖の存在を見るなるべし。乃ち是れ藍鼎元の所謂荷苞嶼の所在地にして其說く所は日月潭と殆んど其の形狀を同ふするもの、あるを覺ゆ。想ふに現時安平と臺南との間に於ける海洋が既に渺茫たる干瀉を爲し、僅かに海の面影を殘して陸地の隆起を爲しつ、あるが如く、此荷苞嶼も亦た往時海面たりし遺跡ならざる可からず。之を推究するに日月潭も亦た西臺灣の隆起。乃ち第一節に詳論したる造山力の發動現象に支配せられたるの結果、海面一部を山中に殘しものなること、尙は荷苞嶼が海の遺跡たると一般なるに

は非らざる無き乎。一千八百七十年（明治三年）地質學者「アルツル、コルネル」氏が此の日月潭の海拔位置を測量せしことあり。蓋し「アルツル、コルネル」も亦た之に著眼し、西臺灣に於ける陸地の隆起が如何に猛烈なるかを調査せしに外ならざるべし。日月潭にして果して海の遺蹟なりとせば日月潭の水面と現時の海面との差異は全く造山力に依て隆起したる尺度ならざる可からず。想ふて此に至れば實に造山力の發動現象が如何に猛烈なる乎。人をして戰慄に堪へざらしむ。

## 第五節　河口洲の過去現在未來

支那の楊子江は、毎年六十五億立方尺の土砂を排泄して河口洲を形成しつゝあり。第十五世紀に於て始めて水平線上に現はれたる崇明島が、今や七十平方里に亘れる面積を形成し、人口二百萬を有する地層を現出せしむるに至りたるは、夙に世人の認知する所なるべし。本島に於ける諸溪流が年々幾許の土砂を排出せるかを知らず。然れども今本島の溪流を見るに、上流若くは中流に屬する部分のみ存在して、河川の下流情態を作すもの、極めて罕れなるを認む。現今の形勢斯の如くなれば本島の諸溪流は、土砂を排泄して下流情態を形成するに頗ふる多忙を極むるは自然の勢也。然らば則ち本島諸谿流に於ける土砂排出量は、隨て比較的大多數ならざる可からず。大肚、濁水、大甲、大安、曾文、下淡水等の各溪流に於ける河口が、年々歳々埋沒して淺渚を增大ならしめ、西臺灣の陸地が漸次西方に向て擴張せられつゝあるは、楊子江の河口が漸次陸地を形成しつゝある現象よりも、尙も且つ猛烈なるは疑ふ可くも有らざるべし。

抑も淵泉は上流也。溪谷は中流也。河川は下流也。沖積平原を通過せるもの也。本島の水經を按ずるに、其名の河川を以て稱するもの稀にして、多くは溪流を以て稱せらる。抑も是れ偶然に非らず。之を地殼の脆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

弱なるよりして觀察するも。之を陸地を整理する水の神力に由て推測するも、本島の諸溪流が盛に土砂を排出して、河口洲を造るに汲々たるは自然の勢ならざる可からず。凡そ河川は其流域を檢査するに、多くは其十分の二を上流とし、其十分の三を中流とし、其十分の五を以て下流情態と爲すを見る。此の原則に隨ひ本島の溪流をして孰れも咸な其十分の五の下流狀態を有せしむるには、尙ほ幾多の歲月を俟たざる可からず。尙ほ幾多の土砂を排出して河口洲を造らざる可からず。其河口洲の延長こそ、乃ち是れ將來の沖積平原たらざる可からざる也。

現今西臺灣に於ける平原曠野は、昔時の河口洲たる也。隨て現在の河口洲は、將來の耕作地たるものにして、現在の海底は復た將來の河口洲たらざるを得ず。此の形勢にして底止する所を知らざるに於ては、彼の遠き將來に於て澎湖島が陸上の連山たるの時代に逢著せんも亦た未だ知る可からず。

## 第六節　氣象に原因せる地殼の變動

地震は一種の彈力性壓搾の爲めに生ずる地皮の震動なりと謂へり。因より其原因が地球の收縮に淵源するや勿論たる也。去明治三十九年嘉義に於ける大地震は主として之に由るものなるべしと雖ども、花蓮港、臺東に於て絕へず遭遇せる地皮の小震動は、太平洋の海底に存在せる最深水底の充塡に原因せる「地辷り」の結果たるは、蓋し何人も之を疑はざるべし。東臺灣に於ける地層の崩拆沖陷するもの、全く此に由ること旣に第一節に詳論したる所にして、卽ち氣象に原因する地殼變動の一ならざる可からざるも、此等は地球の內部に於ける現象にして、更に地球の表面に於ける氣象上の變動は、主として暴風雨に在ることを知らざる可らず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

祖國に於ては古來の習慣上每年八月下旬若くは九月上旬に於て「二百十日」なるものを測定し、之を暴風雨の警戒期と爲せり。本島に於ては勿論此季節に於て之を戒めざるに非らずと雖ども、暴風雨の警戒期は一年十二箇月中盡く之を豫定せざるは莫し。之を以て考ふるも暴風雨の襲來が、本島特殊の名物なることは、信せざらんと欲するも亦た能はざるべし。

舊版臺灣府志に記載せる風信の篇を獵渉し、文中に現はれたる暴風雨の警戒期を表示せば實に左の如し。

| 月 | 日 | 風名 | 月 | 日 | 風名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 正月 | 四日 | 接神颶 | 四月 | 八日 | 佛子颶 |
| | 九日 | 玉皇颶 | 五月 | 五日 | 屈原颶 |
| | 十三日 | 劉將軍颶 | | 十三日 | 關帝颶 |
| | 十五日 | 上元颶 | 六月 | 十二日 | 彭祖颶 |
| | 二十九日 | 烏狗颶 | | 十八日 | 彭婆颶 |
| 二月 | 二日 | 白鬚颶 | | 二十九日 | 文丞相颶 |
| 三月 | 三日 | 元帝颶 | 七月 | 十五日 | 中元颶 |
| | 十五日 | 眞人颶 | 八月 | 一日 | 竈君颶 |
| | 二十三日 | 媽祖颶 | | 十五日 | 魁星颶 |

| 月 | 日 | 風名 |
|---|---|---|
| 九月 | 十六日 | 張良颶 |
| | 十九日 | 觀音颶 |
| 十月 | 十日 | 水仙王颶 |
| | 二十六日 | 翁爹颶 |
| 十一月 | 二十九日 | 普庵颶 |
| 十二月 | 二十四日 | 送神颶 |
| | 二十九日 | 火金颶 |

稗海紀遊を繙讀して文中記載せる暴風雨の警戒期を表示せば又た左の如し。

| 月 | 日 | 風名 | 月 | 日 | 風名 | 月 | 日 | 風名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 正用 | 三日 | 眞人颶 | | 二十五日 | 龍神朝天颶 | 四月 | 一日 | 白龍颶 |
| | 二十四日 | 小妾颶 | | 二十九日 | | | 十三日 | 太保颶 |
| | 二十八日 | 洗炊籠颶 | 三月 | 七日 | 閻王颶 | | 十四日 | 純陽颶 |
| 二月 | 十日 | 張大帝颶 | | 十八日 | 后土颶 | | 二十五日 | 龍神太白颶 |
| | 十九日 | 觀音颶 | | 二十八 | 東嶽颶 又云諸神朝天颶 | | 一日 | 南極颶 |

| 月 | 日 | 風名 | 月 | 日 | 風名 | 月 | 日 | 風名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 五月 | 七日 | 朱太尉颶 | 七月 | 七日 | 乞巧颶 | 十月 | 二日 | 風神颶 |
| | 十六日 | 天地颶 | | 十八日 | 王母颶 又云神煞交會颶 | | 六日 | 天曹颶 |
| | 二十九日 | 成顯颶 | | 二十一日 | 普庵颶 | | 十五日 | 下元颶 |
| 六月 | 六日 | 崔將軍颶 | 八月 | 五日 | 九皇颶 | | 二十日 | 東嶽朝天颶 |
| | 十九日 | 觀音颶 | | 二十一日 | 龍神大會颶 | 十一月 | 十四日 | 水仙颶 |
| | 二十三日 | 小姨颶 | 九月 | 九日 | 重陽颶 | | 二十九日 | 西嶽朝天颶 |
| | 二十四日 | 雷公颶 | | 十七日 | 金龍颶 | 十二月 | 記載する所なし | |
| | 二十六日 | 二郎神颶 | | 二十七日 | 冷風颶 | | | |
| | 二十八日 | 大姨颶 | | | | | | |

此他兩書の記載する所、其暴風雨に關する記事尠なからずと雖ども、多くは荒誕無稽の說にして信ずるに足らず。然れども古來暴風雨の警戒期が、斯の如く多數なるは、要するに本島に於て特に暴風雨の多數なることを證明するものたらざる可からず。書中に云ふ「諺曰。六月一雷止三颱。七月一雷九颱來。（颶之尤甚者曰颱）」復た是れ特に本島に在て暴風雨の多きを證明するもの也。

夫れ暴風雨は天が陸地を彫刻する鑿刀也。既に本島に於ては、此の鑿刀を加ふること前陳の如く甚しき也。臺灣の山嶽が蒼穹を刺すこと彼の如く銳どく、臺灣の谿谷が地軸を穿つこと彼の如く酷しき所以のもの、實に察するに餘ありと謂ふべし。

上來論述したる諸點を綜合して、之が斷案を下すときは、本島造山力の中心は、漸次東方に傾倒し去るものにして、新高山及び「シルビヤ」山の如き最高の海拔地點は、漸次に降沈して西部臺灣の陸地は漸次西方に擴張せらるゝもの也と謂はざる可からず。

吾人は本章に於て未だ之を說述せずと雖ども、海潮の干滿作用が、周圍の海岸線に於て常に浪淘沙の運動

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を爲し、又た是れ陸地に變動を與へつゝ在ることを記臆せざる可からず。而して此の運動は悉く是れ前掲の斷案を確實ならしむる別箇の資料たらざる可からざる也。

## 第三章　地史學的觀念を基礎とせざる土木事業

吾人は既に前章に於て臺灣に對する地史學的觀察の梗槩を陳述するを得たり。斯の如き地殼變動の猛烈なる土地に於て、苟も行政上の必要に由り土木事業を建設せんと欲する時は、必らずしも自然の作用に適應することを工夫せざるを得ず。何となれば自然作用に適應するものは永久なりと雖ども、之に逆ふものは脆弱なれば也。是に於て乎總ての土木事業は其基礎を地史學的觀念に置かざるを得ず。若し夫れ然らずんば鉅萬の工費を投じたる建設物も、畢竟沙上の樓閣たるに過ぎん。

世人は本年（明治四十四年を指す）八月下旬に於ける大暴風雨が幾多の教訓を與へたることを說けり。是れ卽ち天然作用に適應すると否とは、人工的設備の耐久力に非常の等差あるを感知したるの謂ひなり。更に之を詳言すれば、地史學的觀念を基礎とせざる土木事業は終に恃むに足らざることを發見せしに外ならざるべし。

古來本島の諸溪流に對して毫も築堤を施すこと無く、自然の形勢に放任して顧みざりしは、因より清國時代に於ける統治上の怠慢に相違無し。然れども地史學的思想を以て之を觀察する時は、或は現時の溪流に堤防を築くは自然作用に逆ふものにして到底恒久を期す可からず。寧ろ河口洲の延長を助長し百年以後の築堤時代を俟つの安全なるを覺へずんばあらず。現今河川整理の方法として強て施設すべき事業を求むれば河口を浚渫し、諸溪流の排出する多量の土砂を左右に堆積せしめ、西海岸に於ける陸地の隆起作用を助長するこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そ、或は適當なる方法也と謂ふ可き乎。是れ即ち築堤工事は自然作用に逆ふものにして他の浚渫事業は之に順應するものなれば也。

更に鐵道事業に對して考ふるに、其の南北縱貫線の如きは、勗めて西海岸に偏する線路を擇ぶを以て安全とし中央山脈の脚底に接近するに隨ふて安全ならざるは、實に本年(明治四十四年を指す)八月下旬の大暴風雨に於ける結果に徵して明瞭なりとす。是れ又た自然作用に順應せしむる所以なれば也。

一千八百六十七年以來、殆んど二十年間濠洲の牧民官として偉大なる成功を擧げたる「サー、ショルジ、ボウェン」氏は、濠洲北部の鐵道創業式に於て演說して曰く「新植民地に於ける交通の最良動脈は鐵道なり。新植民地は常に金利の高きか故に、注意して事業と費用とを節約せざる可からず。即ち新植民地に於ける鐵道敷設の目的は、堅牢なる鐵道若くは非常の速力ある汽車を供ふるに非らずして、寧ろ國土を開拓し里程を延長する爲めに貨幣を消費するに在りと」。吾人は未だ此說の當否を知らず。然れども鐵道と謂はず、橋梁と謂はず、埤圳と謂はず、廳舍建築と謂はず。總て臺灣に於ける土木事業の目的は、金融を緩和せしむるか爲めに貨幣を消費するに在りと謂はゞ即ち止む。若し然らずして、本島を開發する爲めに交通、衞生、教育、產業等多方面に亘りて其の設備を完全にするの必要ありとせば、之に要する土木事業は必らずしも維持上の耐久力を謀らざる可からず。然らざれば一事業に對して巨額の費用を要し、有限の歲入は必らずしも多方面の事業に浹洽せしむる能はざれば也。想ふに金融を緩和せんとならば、他に幾多の貨幣を消費するの手段あるべし、豈夫れ土木事業を以て唯一の手段と爲すの必要あらんや。要するに金融緩和策と土木事業とは自ら別問題也。新植民地たると舊邦家たるとを問はず、苟くも巨萬の資本を投じて或る土木事業を起さんとせば、必らずしも豫じめ地史學的觀察を以て安全なる地盤を求めざるを得ず。若し夫れ總ての土木事業は斷じて地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

史學的觀念を基礎とするの必要無しと謂はゞ、乃ち彼の滿洲鐵道の目的が貨幣を消費するに在りと極論したる「ボウエン」氏と雖ども、恐らく之を首肯する能はざるべし。何となれば地史學的觀念を基礎とせざる土木事業は所謂沙上の樓閣たれば也。

# 第四章　地史調査會を設置せよ

## 第一節　調査會の必要なる理由

吾人は臺灣統治の成功を健全に收めんが爲め、交通、水利、衛生、教育、產業等幾多の事業を遺憾無く發達せしめんことを希望するが故に、鉅萬の資金を要する設備を要求するや、極めて切ならざる可からず。爰に一事業を創業して忽ち自然作用の爲めに破壞せらるゝあらん乎、復た更に之を復舊するに鉅萬の經費を支出せざる可からず。復舊に復舊重をねて底止する所を知らざるに於ては、有限の歲入を以て無限の支出に應ずるの愚を爲さゞるを得ず。斯の如くにして臺灣の統治に必要なる各種の設備を浹洽せしめんこと到底不可能なりと謂ふべし。是に於て乎吾人は臺灣地史調査會の設置を以て最も必要なりと信ず。

## 第二節　調査會の目的とする事業

既に序論に於て陳述したるが如く、地史學的調査とは、地文學及び地質學の見地を以て、本島地貌の形狀が現在に至れる歷史を研究して、之を系統的に、之を秩序的に、最も之を具體的に整理したる事實を擧げんとする者にして、調査會設置の目的は卽ち之を實踐して前章に詳論したる缺點を補充し、以て臺灣統治の健全なる成功を稗益する所有らんとするに外ならざる也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今吾人の私見を以て調査會の目的とする事業を詳細に列記せば、大約左の如くならん。

(甲)海底測量　本島周圍の海深及び地質を測定し又は河口に於ける土砂の排出量を測定し年次を逐ふて之が統計表を調製すること

(乙)山巓測量　本島各山巓に一個の標準を定めて地貌の異動を檢定し年次を逐ふて沿革地圖を調製すること

前記甲乙の二項は地史學的調査の大綱にして、要は造山力の發動現象を何人にも知悉せしむ可く、圖畫と數字とに由て確實に之を表示せんとするに在り

(丙)各溪流に於ける縱谷と橫谷との交會點を求めて其地點に於て地殼の水蝕力を統計的に調査すること

(丁)各溪流に於ける上流、中流、下流の區分を定めて其變遷を沿革地圖に現はすこと

(戊)瀑布の退却力を測定して既に消滅したる自然湖の區域の消長を調査し其沿革を考査すること

(己)沖積平原に於ける河流の水路變遷を調査して沿革地圖を作製すること

(庚)地質の差異に由る水蝕作用の程度を測定すること

(辛)噴泉、伏流、巖洞の存在、消滅及び其他の異動を調査して其沿革を明瞭ならしむること

(壬)生物の分布及び化石の分布を調査して組織的に標本の配列を爲すこと

(癸)地震及び風水害の地殼に及ぼしたる現象を各年次に調査し地圖と統計とを以て之を表示すること

以上八項は地史學的調査の細目にして部分的に之を精査するを要す

## 第三節　調査會を組織する方法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾人の希望する所は、調査會の存在を永久ならしめんとするに在り。何んとなれば忽に之を設置し、忽に之を廢止すること有れば、到底本來の目的を完成せしむる能はざれば也。是に由て組織の方法に關しては左の如き希望を提出せざるを得ず。

斯道の專門學者に囑託して調査方針の大綱を決定するは勿論なりと雖ども、主として總督府職員の適材を簡選して委員と爲し、學術部と作業部とを分ちて各之を擔任せしめ、少數の常務員を置きて、事務を整理せしめ、民政長官之を統轄す。

前節に記述したる調査會の目的は勿論吾人の私見也。故に本會の目的事業未だ之を以て完全なりと謂ふ可からず。若夫れ此の組織を遺憾なく整頓せしめ事實上其の會務を開始するに至らば、或は之を變更するの必要あるべし。蓋し調査方針の大綱は斯道專門の學者に倚頼せざる可からざれば也。

## 第五章　結　論

吾人は本年（明治四十四年を指す）八月下旬に於ける暴風雨の結果に驚愕し、此に始めて地史學的調査の必要を感じたる者に非らず。抑も此の必要を生じたるは既に我國が本島を領有したるの時に在りし也。臺灣の律令法規を制定せんか爲めには、夙に舊慣の調査を必要としたるが如く、本島の土木事業を立案せんが爲めに、地史の調査を必要とするは、畢竟地文と人文との差異あるのみ、其必要なるは一也。

臺灣地史調査會は實に行政上の根本問題を解決せんと欲する也。或は鐵道を敷設し、或は橋梁を架設するが爲めに、來て地史調査會の資料を參照すること有らん、此の場合に於ては勿論參照せざる可からず、又た參照せしめざる可からずと雖ども、斯の如きは其の功用の枝葉に屬するものにして、却て他に其の功用の根

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

幷を有するを知らざる可からず。

要は本島の統治者をして施政の方針を定むる伐柯の天則たらしめ、各種の土木事業は之を計畫するの前に於て、其の必要不必要を査定し、其存廢を判斷し、其適否を考覈し、自然と人爲とを調和して、毫も財政上過失無からしめんことを期するに在り。彼の舊慣を斟酌せざる律令は、往々にして公安を害すること有るが如く、自然に適應せざる設備は、忽ちにして壞るゝを免かれず。故に此の調査會は財政上最初の顧問機關にして彼の立法上先決問題たる舊慣調査と倶に臺灣統治の二大要素なりと謂はざる可からざる也。

彼の臺灣舊慣調査會が著々實功を奏して法律編纂上の資料を提供したるが如く、將來地史調査會をして其の實功を擧げしむるに於ては、堅實にして悠久なる土木は勃然として興り、財政上無用の失費を節約して或は健全なる臺灣の統治を見るを得ん乎。

吾人は最後に斷言す、苟も臺灣を經營せんとならば豫じめ地史學の見地を以て本島が南瀛の一浮漚たるを大悟徹底し、人爲をして自然に適應せしむるの觀念を以て庶政を劃策せざる可からす。若夫れ然らさるに於て、踵を廻らさずして必らず噬臍の悔に逢著せん。吾人今此の問題に向て呶々數千言を費す。豈に夫れ奇を好むの贅辯ならんや。當局の諸公庶幾くは三省する所あれ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

調査研究

# 支那に於ける報界の事情

臺灣總督府稅關事務官　井出季和太

## 一　上海の新聞紙

上海は政治の都たる北京に對して商業の都なりと曰ふも、實際又た政治上並に思想上の策源地にして人口二百萬内外を有し、且つ在留諸外國人多く、交通の衝に當り、就中取締緩大なる租界大部を占むる一種の自由區域なるを以て、新聞業の發達を來し、支那に於ける漢字紙及外字紙中最も大なるものあり。漢字紙二、三十種、外字紙十數種あり、以下重要なるものに就て述べんとす。

### 甲　漢字新聞

（一）申報　一八七二年（同治十一年）の創刊に係り、支那に於ける近代的新聞紙の濫觴なりとす。上海の重

要商人を株主とし、先年英國關係なりしが後專ら支那人經營となす。陳景韓(號冷血)は前淸時代よりの主筆にして日本に遊學したることあり。論說には「冷」と記し、亦た支那操觚者の古參者なり。一九一六年日本人名義にて日本總領事館に登記したれど、前年の排日風潮に際し賣行減退したるを以て更に佛國領事館に登記したり。

同社は資本金五十萬元にして、最新の米國式印刷機を設備し、一時四十八「ページ」新聞を發行したることあり、現在十二「ページ」にして發行部數四萬八千と稱す。創刊以來旣に半世紀に達したるが故に、支那內地・南洋諸島・安南・朝鮮・歐米等に讀者を有す(註、前記發行部數は一九二〇年四月號「ファーエートスターン」誌の說なるが今年上海に於て聞く所に依れば三、四萬なるべしと云ふ)本紙の論調は古來中立を持し、近年日支問題多きに當り敢て排日の論說等なきも、排日の記事を掲載したること少からず。而して山東の直接交渉問題に關しては著しく反對說を唱道し、又親日派人物を攻擊したることあり。而して今年の排日に際しては公平なる態度を採れり。

(二)新聞報　申報に亞ぎ古き歷史を有し、一八九二年(光緒十八年)の創刊に係り、當初より二、三外人の手に移り、米國人側株主多きを加へ、英米煙草會社より補助を受けつゝある關係上親米派に屬し、政治に關しては中立を主義とし、主筆には李壽熙(號浩然)の如き熱心家を聘し、經營宜しきを得、內容極めて充實し信用あり。支那紙中讀者最も多く、數年前に發行部數三萬內外と稱せられしが、今年上海の信據すべき某支那人の言に依れば其數七萬に達すると言ふ。其の論調は、先年山東問題發生以來、總統府顧問の米人ファーガソンの如き人物之が株主中に存し、排日の色彩極めて濃厚なり。又今回も時々排日的論文を掲載し、二十一箇條約撤廢を主張し、最近の如きは日本の排日對抗策に就て批難する所ありたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(三)新申報　一九一六年十一月の創刊に係り、從前社長は申報社長として經驗ありし席子佩にして、主筆は孫東吳とす。而して記者中には排日親米派たる王鈍根の如きあり。自ら從來支那紙中最も排日的特色を有したりしが、唯、最近社內爭議の爲に經營者の交替あり。日本領事館に登記するに至りて以來、大體に於て排日氣分を帶びず、又從前は新交通係の機關紙たりしが、現在は前記申報及新申報と共に政黨關係なく。發行部數は一萬二、三千と稱す。

(四)時報　一九〇四年(光緒三十年)の創刊に係り、舊保皇黨の首領康有爲の出資に成り、社長は康有爲の門下生たる狄葆賢(號楚青)にして、戊戌に變に坐して日本に亡命したることあり。其後再三主張を變更したるが、現在は中立を守り、主筆は申報と同じく陳冷血にして記事穩健なり。從來久しく邦人名義を以て日本領事館に登記し、先年排日の際佛人名義に改めんとして成らず。發行部數は七、八千又は一萬二千と云ふ外人は本紙を「エースターン、タイムス」と稱し信用あり。

(五)時事新報　一九〇九年頃(光緒三十五年)の創刊に係り、研究會系に屬し、一九一六年秋頃より全然梁啓超一派の機關紙たり。論調排日を帶ぶれども激烈ならず。唯、山東問題に就ては屢々直接交涉反對論を唱へ一方支那政府部內親日派と目すべき人物を攻擊したり。然れども華府會議以降對日方針を改めて穩健に傾きたり。主筆は留日學生出身の張東蓀にして、其他比較的敎育ある記者を有し、新思想を鼓吹し、學生及勞働者に讀者あり。發行部數は約六千と稱す。

(六)　神州日報　一九〇八年(光緒三十二年)の創刊に係り、中立派に屬し、從來經營困難の結果、一九一六年北京政府に買收せられ、更に一九二一年舊大共和報經營者錢芥塵に屬したりしが、現在は留日學生出身の餘詢(號穀民)が社長兼主筆たるに至り、日本領事館に登記し、邦人側の投資もあり、從前一時排日を主張

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

したりしことありが、近年論調を改め、山東直接交渉問題に關しても極力日本の立場を辯護せり。發行部數は二千又は六千と云ふ。外人は本紙を「ナショナルヘラルド」と呼へり。

(七)民國日報　一九一六年の創刊に係り、舊國民黨系の機關紙にして、當初故上海都督陳其美の投資に依り成立し、社長は邵仲輝(號力士)主筆は葉楚傖にして、北京政府に向つて常に反對の態度を持し、日本の軍閥を攻撃し、從來論調排日主義にして、又新思想の宣傳をなすこと、時事新報に讓らず。唯ゝ最近に於て內政の改革に筆を染むるに至れり。發行部數は三、四千と稱す。

(八)中華新報　一九一六年の創刊に係る政學會系の機關紙なれど、帝政運動の後に民黨議員の共同出資に依り成立したるを以て、自ら其色彩を帶ぶ。論調曾て排日に傾きたりしが、其後態度を改め、神州日報と同じく山東問題に關しては直接交換の已むなきを主張し、彼の無條件還付要求の根據に乏しきを非難し、商報等と熾に筆戰しつゝあり。今日迄尙支那內政の釐革を叫び來りたり。發行部數五、六千と稱す。

(九)商報　一九二一年一月の創刊に係り、實業界新人の機關紙にして廣東人の經營なりしが、最近破產の爲に寧波人の勢力に移りたり。又關係者中には排日親米の人物多く、新聞報と同じく英米烟草會社より補助を受け、記事內容比較的豐富にして、實業界の外に學生に讀者多く、現在尙ほ排日記事を揭げつゝあり。發行部數約一萬と稱せり。

(十)國語日報　一九二〇年の創刊に係り、國語統一を目的とし、記事全部國語體にして社說論評等註音字母を附し居れり。論調は北京政府擁護をなしたるが如し。發行部數は約一千に過ぎずと云ふ。

(十一)其他　一九二一年には「市場日報」又は「大平洋報」の如き一定の主義なき小新聞の發行ありしが、後者は現在なし。又華府會議に先ち「四民報」の如き二十萬元の資本を資し發行部數五千と稱するもの創刊

せられたるが、實際内容貧弱なり。蓋し尊孔主義を標榜し、代表者は孔教會の林福林にして政黨關係なきが廣東政府に好意を有し、朝鮮人に知己亦少からず。獨立運動に聲援したりと云ふが、昨年夏頃既に廢刊せり。

又昨年十月頃には「旭報」の創刊ありたるが、僅か三週日にして廢刊せり。

以上支那漢字紙は從來一般に排日論調なりしが、華府會議以降各自態度を改むるもの多く、殊に昨年秋頃より、中華新報、申報、神州日報、新申報等を始めとし、從來中止したりし日本人の廣告を掲載するに至りたり。而して今年の排日に際しては元より又日本人の廣告拒絶を決議する所ありたれども、尙之が實行を見ざりしもの多かりしなり。

次に支那漢字紙の意思表示機關としては「日報公會」なる一種の倶樂部あり。申報、時事新報等、一二例外を除き各新聞社之に加入し、而して新聞報は其經費をも自身主として負擔するが如く、專ら主幹者の地位に在り。北京方面より大總統命令其他を領受し、之を他地方に配付しつゝあり。

### 乙　外事新聞（附雜誌）

上海に於ける外事紙の鼻祖は、一八五〇年創刊の North China Herald とし、今日支那外事紙の權威たる North China Daily News は其後一八六四年に起り、一八七八年には The Celestial Empire の發刊あり。次て Shanghai Gagette and Advertiser, Evening Gagette, Cathaypost 等諸種の發行あり。一八七九年には Shanghai Mercury, Temperance Union 等の週刊紙起り、其後一八九四年以降 China Gagette (夕刊) 又は Shanghai Daily Press 出で、一九二〇年には Shanghai Times 發刊せられ、一九一一年には China Press, Evening Star 一九一八年には Shanghai Gagette の發行あり。是等新聞紙中には既に廢刊したるもの、他に合併したるもの又は改名したるもの等あり。現在重要なる種類は下に述ぶるが如く、又佛字紙の L' Echo de Chine 等、又は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

露國家新聞其他獨字紙等二、三の發行ありたり。

「參照」上海外事紙の沿革に關して左にクーリング氏の Encyclopedia Sinica (P. P 459—60) の一節を譯抄す。

North China Herald の初號は一八五〇年八月三日四「ページ」二つ折板として發行し、當時上海には五十六名の外人あり（註、「ランニング」の處史中には當時外人數は不在者を含み百五十七名にして又三十七名は家族を有せりと記せり）一九六七年には North China Herald and Merket report が同社より發行せられたり。其後同年十月一日には Evening Express、一八六八年十月一日には Shanghai Evening Courier、一八七一年一月四日には Shanghai Budget and weekly Cowrier を發刊し、本紙は一八七二年六月二日創刊の Evening Gagette の所有者に依り買收せられ、其後 Shanghai Courier and China Gagette として續刊し、又週刊の Celestial Empire は同社より發行せられたり。尙一八六七年一月五日には Supreme Court & Consular Gagette の發行ありしが、間もなく前記 Herald と合併し其百四十號は新に North China Herald & Supreme Court & Consular Gagette として發行し、週刊にして其主筆としてはヘンリー、シエーアマン、サムエルモスマン、アレキサンダー、ジエミーソン、カンドレー、ハデン、バルフオーア、マツクレラン、リントルモンタアーグベル、又はクリーン（一九一一年）是を經たるものとす。當時上海は最も日刊紙發行の必要に迫られ、Herald の編輯者は一八六四年七月一日創刊の著名なる North China Daily News の前身なる Daily shipping & Commercial News なる週刊紙を起せり。尤も Shipping Daily Times の如き又日刊紙なりしが、一八六一年九月十五日より次年の四月迄短期の生命を有したるなり政治文字の週刊紙 Cycle は一八七〇年五月七日より一八七一年六月二十四日迄上海に於て發行せられ、其主筆はアール、エー、ジイミーソンにして稅關の機關紙たりしが如し。其他短期間の發行をなしたる Shanghai Recorder は一八六七年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一月競賣に附せられたり Shanghai Mercury は一八七九年四月十七日クラーク、ブラック及當初の主筆たりしヴィングトンに依つて創刊せられ、現在夕刊として存在し、尙週刊 Celestial Empire を發刊せり。

Evening Gagette は一八七三年六月初號を發行したりしが、火災の爲に八十號にて中止し、翌一八七四年一月に至りバルフォーアに依り再興せられ、翌年 Shanghai Courier に合併せり。Shanghai Evening Courier は一八六〇年十月以降發行し、一八七五年迄繼續し、Evening Gagette の所有者の買收する所となり。Shanghai Courier & Evening Gagette として刊行せられたり。China Press は一九一一年八月二十三日の創刊に係り、一九一七年當時既に朝刊し最も多く讀者を有し、成績良好の種類に屬したり。

佛字三種ありしが、上海に於ける生命は極めて短期なりしなり。卽ち le Nouvelliste de Shanghai は一八七〇年十二月五日以降週刊として發行したりしが、一八七二年末迄にして廢刊し、翌一八七三年一月十六日には le Courier de Shanghai が之を繼承したりしが、又三號にして廢刊したり。

Progres は一八七一年三月二十一日に創刊したるが、Nouvelliste と激烈の競爭を開始したるが爲に兩者共倒したり。L' Echo de Shanghai は一時一八八五年及一八八六年間に於て、日刊紙として僅かに二、三箇月の生命ありたるのみなりしなり。

L' Echo de Chine は東洋に於ける佛國の最も有力なる新聞にして、一八九五年以降今日迄繼續しつゝあり。

Der Ferne Osten は Ostasiatischelloyd の主筆シー、フェンクに依り一九〇二年發刊せられたり。而して Ostasseatischelloyd は一八八六年以來繼續したるが、一九一七年八月支那が對獨宣戰に際し廢刊せり。

以下重要の外字紙を掲げんとす。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(一)North China Daily News(字林西報)　本紙は英歴史及內容に於て支那英字新聞中の巨擘にして、現在發行部數四、五千とし North China Daily News & Herald l,d なる英國匿名會社の所有に屬す。「ロイテル」電報、國際通信の外に華府・倫敦・東京等よりの特電を有し、北京には特派員を置き、支那全國八十個以上に信賴すべき通信員あり。又倫敦・巴里・香港・東京・濠洲・市俄古・印度よりの定期通信あり。世界各方面殊に支那全土に亘れる記事豐富にして正確なり。時々漢字新聞の論評等を譯載することあり。社說は上海操觚界の中樞となり、時事問題に關しては各漢字紙は其社說の漢譯を轉載す。主義は中立公平にして必ずしも英國政府の機關にあらざれど、工部局と特別關係あり。Municipal Gagette を附錄とし、每週一回發行し、株主中には英國側の有力者あるを以て、自ら其意見多きを占む。又英國商業會議所と見解一致せざることあり。

日本に對する態度は日本の軍國主義に向つては極端なる攻擊を加へ、先年排日の際には日本を非難したりしが、華府會議以來其主張を改め、反對に支那政府の施政を無遠慮に論難する所あり。殊に孫文一派を排し吳佩孚等を擁護し治外法權に反對したることあり。而して今次の二十一箇條問題に關しては既に一昨年末頃より排日風潮を戒め、昨年四月五日の論說に於ては支那の國恥は遼東半島に非ず、南滿鐵道に非ず將又誇大に披瀝されたる所謂主權の損害にも非ず、支那國民が自國を破產の域に導き其最も有情ある同情者を落膽せしむる惡政を忍びつゝあるに存すと云ひ、更に臨城事件長沙暴動等の結果日本の支那に對する强硬手段を推賞しつゝありたるが如し。

外に每土曜日に週刊の North China Herald を發行し、約七十「ページ」大のものにして各方面に相當讀者を有す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(二)China Press（大陸報） 本紙は一九一一年八月創刊以來米國人の機關紙にして現在發行部數は一千五百又は四千と稱す。其持主は米國に本社を有する China National Press Incorporated にして、米國人エッチ、ウイッブ主幹たり。其資金の大部は英米煙草會社より出で、英國人亦大株主たるものあり。昨年中同社買收問題起り、米支人の出資に依り、現在は米支人の關係する所となれり。ウイッブは編輯のみに從事し、ドヨル執筆者たり。記者中には其他米人の外支那人も加はれり。記事論說等到底前記字林西報に比肩すべからず。論說等一定の識見なく、往々感情的文字を弄することあり。漢字紙の譯載する所となると同時に不正確なる漢字紙の記事を轉載することあり。外人等をして誤解せしむる虞あり。排日問題に關しては從前の如く惡辣過激なる論法を用ゐずと雖も、現在決して日本に對して好意を有せず。排日的新聞に屬するものとす。

(三)Shanghai Times（泰晤士報） 本紙は一九〇一年春、當時の米國貿易會社の主任たりしエフ、ビー、ポールの創刊に係り、現在發行部數は一千部に達せず。爾來再三變遷あり。就中ファーガソンの買收する所となり、又江蘇省當局の御用紙たることありしが、十餘年前邦人波多野氏所有名義となり、表面上は英國人エフ、エー、ノッチングハムの個人經營たり。對日感情は良好にして從來日英協約の擁護に就て主張しつゝありたり。本紙は前記二者と同じく朝刊に屬し、而して日曜休刊なれど、近年週刊紙 Sunday Times を發行しつゝあり。

(四)Shanghai Mercury（文滙西報、夕刊） 本紙はシー、リヴイングトン、ジー、デークラーク、ジエーアール、ブラック等に依り創刊せられ、現在發行部數千又は千五百と稱す。一八九〇年當時既に全所有權クラークの手に歸し、Shanghai Mercury Ld なる一獨立會社を創設し、前者と同じく印刷業をも兼ねたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して英米獨人の合資なりしが、十數年前日本資本家との間に特別關係を生じ、一九一七年當時日本人の手に移りたるもの其額三分の一を占めたるを以て、佐原篤介氏取締役の一員に加はるに至れり。本紙の社長はクラークにして主筆はアール、デーニイシとす。論調穩健にして英國人の意見を代表すること多し。但し對日感情は前者と同じく良好なり。本紙は一八八九年以來週刊 Celestial Empire を發行し、現在尙繼續しつゝあり。

(五)Shanghai Gagette(上海滬報、夕刊) 本紙は上海英字紙中最も貧弱なるものにして發行部數一千と稱す一九一八年三月に嘗て Peking Gagette に於て日本を誹謗して日支交涉問題を惹起し其發行を停止せられたる陳友仁の創刊に係り、支那政府顧問のシムプソン又は丁抹人ゴルダン、ニイールソン等も之を援助し又は關係を有し、從來及排日態度を以て民黨派孫文等を擁護し來りたり。

(六)Evening News(大晚報) 從前の China Press 社の夕刊 Evening Star(星報)の後身なれど、最近前紙と合併し新聞となれり。發行部數は八、九百に過ぎず。內容多少改良する所ありたれど有力ならず。孫文一派の記事に就ては盡力しつゝあり。

(七)L' Echo de Chine(中法新彙報) 一八九五年上海佛國人團體の創刊に係り、極東に於ける佛國の利益を擁護するを目的とし、現在發行部數五百に達せずと云ふ。所有者は L' Echo de Chine 社にして佛人ヴァンデレ主筆たり。支那各地に在る加特力宗徒及世界各地の公私人間に多數通信員を有し、特に支那記事に關しては周到の注意を拂うて譯載し、支那事情研究の外に佛文學に就き特色を存し、對日感情は良好ならず。

(八)其他 獨逸新聞として一八八六年の創刊に係る小新聞に Deutche Zeitung Von China あり。在上海獨

逸人の購讀する所たりしが、一箇年後に週刊雜誌となり、Ostaseatischelloyd（華德週報）として內容體裁を備ひ、獨逸人の利益を代表し、有力の刊行物たるに至れり。又其後華德日報の發行をも見たるが、對獨宣戰に及び廢刊せられたり。

次に露西亞系の新聞としては、一九一九年以降繼續發行せられたる Shanghai life（昨年 New Shanghai life と改名せり）あり。當初週刊なりしが、後日刊紙として過激派宣傳の重要なる機關紙たり。發行部數七百內外と稱す。又莫斯科政府の宣傳機關として New Russia なる英文週刊誌あり。第一種郵便を以て無料配布しつゝあり。而して反過激派主義の Russian Echo（露文）及 Russian Thought（英文）あり。前者は排日論を揭げたることあり。兩者共昨年夏頃廢刊せり。

次に現在上海に於て特筆すべき外字雜誌としては、Far Eastern Review（遠東時報）及 Weekly Review of the Far East を擧ぐることを得。前者は英米人の關係せる月刊紙にして現在發行部數四千と稱し、鐵道鑛山等東亞に於ける諸種工業の問題を主として研究發表せると同時に、主幹は著名のジョージ、ブロンリンレイにして、遠東の政治外交問題に關し權利ある論說を揭載しつゝあり。一九一四年以降一九二〇年迄排日黨の鋭將ドナルド主筆として劇烈に日本を誹謗したりしが、歐洲戰爭後レイは態度を改め日本の爲に正當の評論を開始したるを以て、一時日本の爲に買收せられたりと迄言はれたり。

後者は一九一七年の創刊に係る著名なる排日主義者米人ミラードの主幹したる週刊雜誌所謂 Millard's Review の後身にして、從來ボウイル及支那人の董顯光（Willington Tong）等之を助け、熾に排日論を揭げ來り、一九二一年頃よりミラードと關係を絕ち米名に改題したり。發行部數は前者と同じく四千と稱す。米支人經營故に最近又多少排日風潮なきに非ず。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

終りに上海に於ける邦字新聞としては、上海日報、上海日日新聞及上海經濟日報の三種なれど、發行部數各自千五六百に過ぎず。專ら在上海の邦人間のみに讀者を有し、有力なるものに非ず。外支人の注意を喚起せず。社説等英字紙又は漢字紙等に轉載せらるゝ程度の權威と信用とを有せず。ウッドヘッドの支那年鑑亦之を載せず。

## 二　北京の新聞紙（附排日外人狀況）

北京は政治の中心なるを以て政治關係の漢字紙其種類甚だ多く、小新聞を加ふるときはウッドヘッドの支那年鑑に示す所に依れば、日刊紙のみにして百種に近きが如しと雖も、上海と異り其發行部數一萬に達したるものは、演藝記事を掲載する群强報と稱する一枚ずりのもの、外殆んど之なく、例へば最高の益世報と雖も五、六千部に過ぎず。之に亞ぎ千部以上に達するものは、晨報、京報、順天時報、北京日報、星報、黃報社會日報等を擧ぐるのみ。甚だしきは數十部に出でざるものあり。

外字紙としては尙更ら上海と異り、大新聞之なく、發行部數千以上のもの稀なり。

當業者の談に依れば、現在北京に漢字紙七十七、同通信社二十八、英字紙五、佛字紙二、外字通信社四とし、通信員には、外人二十名の外、日本人として新聞關係者三十有餘名あり。就中其半數は各新聞社の代表者なりと云ふ。而して北京の新聞は又上海と異り、殊に業務幼稚の域に在り。單に政黨其他の機關にして、獨立營業として新式の經營なく、日本等に比せば二、三十箇年後に居れりと稱す。

左に重要なる新聞紙及通信員等に關して述ぶる所あるべし。

### 甲　漢　字　紙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(一)北京日報　本紙は沿革古く、發行部數又比較的多く、三四千と稱す。特色なきも中立故に相當信用あり。

(二)益世報　本紙は米國系の排日新聞にして漢字紙中最も勢力あり。今回排日の際には米國人側が冷靜なりしが爲に特に排日的論調を認めざりしが、日本に對しては好感を有せず。但し本年三月下旬に於て旅大還付の非を評論せるが如し。蓋し同紙の成功したるは排日を利用したるに存すること少しとせず。又外資に依り成立したれど、支那人の自由經營にして政府に對しても獨立の論評をなし、支那人間に相當信用を博したり

(三)晨報　本誌は研究系に屬し、又蔡元培胡適等新人の關係ありたり。論調は中庸なりとす。今年排日の際には多少日本の態度に慊然たらざるものあり。例へば七月二十日芳澤公使に望むと云ふ社説に於て、二十一箇條の無效を主張し、日本が旅大を還付せば二十年來の日本の惡名を一掃すべしと論せり。

其他「星報」は財政部の機關紙とし、「黃報」は張作霖系に屬し、「社會日報」は中立派に屬し、「京報」は從來外交系に屬し現在勢力なし。「順天時報」は一九一〇年北京日報と前後して創刊せられ。日本政府の補助に依り比較的自由經營にして論調は中立穩健なり。

## 乙　外字紙

(一)Peking leader(北京導報)　本紙は一九一七年十二月梁啓超の機關系として創刊し、從來北京外字紙中出色のものと認められ、米支人再三主筆を改め、現在はジー、クラーク(羅安)主筆たり。從前は米國派多く、シムプソンの如き盛に排日論を掲げたりしが、最近公平なる支那論をなし、旅大還付に就ては時機尙早を主張し、寧ろ日本の態度に贊成せり。

(二)Peking Daily News(英文北京日報)　本紙は外交部側の機關に近く、主筆はジー、ズイ、ウードにして一

九二一年七、八月頃より漸次親露排日的色彩を帶び、勞農政府の機關紙たるの觀あり。大連會議破裂後ドナルドの如き裡面に於て排日の為に後援する所多かりしなり。其後露國代表の去るに及び獨逸方面の電報を掲載する傾向ありたり。

(三)Peking Express(北京快報) 本紙は小新聞なれど發行部數は千に達し、學生間に讀者多し。

(四)North China Standard(英文華北正報) 本紙は日本外務者の機關紙なれど勢力なく、同社日本人記者中には社説を掲載する人物乏しと云ふが如く、世評良好ならず。

(五)Far Eastern Times(東方時報) 本年(一九二二年)二月末の創刊に係り英漢兩文あり。總統府顧問シムプソン主幹たり。親露派に屬し、北京政府・張作霖・安福派等より出資すと稱せられ、發行部數はシムプソン自身の言に依れば千五百に達すと云ふ。外交上の問題として參考たるべき記事少からず。殊に日本の問題に關しては相當注意を傾倒し、經營方法新規にして、北京に於ける在來の新聞を刺激しつゝあり。現在論調は敢て排日を標榜せざれど、旅大問題に就ては既に三月日本の不還付を批難せるが如し。

(六)Journal de Pekin(法文北京新聞)週刊 本紙は從來露國公使館の援助を受けたりしが、露政變以來佛國公使館の保護の下に在り。一九一八年には其機關紙たり。又中法實業銀行(Banque Industrielle de Chine)より。補助を受けたることあり。主筆は皆過激派露人にして、就中ナルボウの如きは排日的毒筆を弄しつゝありたり。其他にPolitique de Pekinなる週刊紙あるが、前者より一層小新聞なり。

次に通信員中從來排日的活動をなしたるは、露國側としてはロスタ(華俄)通信社員のエッチ、ホドロックにして、一九二〇年八月極東共和國政府がユーリンを代表として北京に派遣するに先ち、極東共和國政府のドリヤ通信社の北京支局長となり、日々莫斯科・知多・哈爾賓等の電報を北京・天津等の各外字紙に頒布し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殊に日本の西伯利亞政策に關して荒唐無稽の報道を傳播し來りユーリン等北京に到着と同時に又京津に於ける外漢兩紙の買收に着手し、一時北京に於ても外字紙二種、漢字紙二、三種に投資したるが如くにして、過激派の宣傳に任じ、露國側と各外國通信員との聯絡をとり、勞農政府の北京に於ける新聞政策の中心機關たりしが、其後露國代表の退京以來特記すべき事項なかりしなり。

〇〇〇

英國側としてはロイター通信員の英人ウイーン及デーリーニユウス及天津のピーチータイムスの通信員たるガイルスの如き一時支那に利用せられ、排日行動を採りたれど其後態度を改めたり。又彼の英人ドナルドの如きは曾て紐育「ヘラルド」の特派員たりしが、一九一四年頃遠東時報の主筆となり、前述の如く日本に對して熾に毒筆を弄したりしが、其後同社レイの親日態度の結果彼は退社し、舊交通系との關係あり。財政部をして經濟情報局を設けしめ、之が局長たり。蓋し彼はマンチエスターグアーヂャンの通信員たると同時にロンドンタイムス上海の字林西報、神戸のジャパンクロニクル等に對しても通信關係を有し、又曾て平和會議後排日の通信を歐米に供給するを目的として設立せられたる中華公同通信（チャイナヒユロウ、オブパブリツク、インフオーメーション）の主筆たりし過激派露人のソコルスキーの如き人物を子分として利用したり。現在彼は直接新聞に關係を有せざれど、各種の情報を蒐集しつゝあり。注意人物の一なり。

次に米人シンプソンは、曾てロンドン、テレグラフの通信員たることあり。極東に於ける著術家として世界及支那の事情に通じ、プットナム、ウイールの雅號に依り夙に名聲を博しつゝありしが、品性稍々諂陋にして上流外人間に信用なく、常に排日的通信及論評をなし、機關紙北京「ガゼット」發行停止以來稍々緩和したりしが、其後總統府統計局顧問の名義にて機會ある毎に排日的言論を弄し、華府會議に關し支那政府の内命を帶び同會議前にも歐米各地に於て排日宣傳に從事する所ありたり。而して最近に至り其態度を改め、寧ろ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本側に接近せむとするの傾向ありと雖とも、ドナルドと同じく注意人物の一なり。

次に故米人ラインシ亦排日黨の一人にして、最に北京公使時代より支那宣傳者の有力なる者にして、第一期排日以來、米支提携論、日本支那侵略抵禦論等を倡提したることあり。一九一九年辭職後支那政府顧問たり、華府會議の際にも大いに宣傳に努むる所あり、殊に支那の爲に自費活動を繼續しつゝ、今年一月漢口に於て發狂し、上海の精神病院に在つて客死したれど、支那政府は爾來宣傳費を報償せず。唯入院費の一部を支出したるが如き情態にして、當時米國人一般に憤慨したりと言ふ。

## 三　天津及濟南の新聞紙

天津及濟南は、山東問題に於て相當氣勢を高めたる地方なるが故に、他地方に比して排日新聞多し。

### 甲　天津の新聞紙

(一)漢字紙　天津は北京に比して一層小新聞多く、投資者のみに配布する數十部足らずのものあり。總計に於て數百種に上ると稱すれど、注意すべきは左記數種に外ならず。

京津「タイムス」　本紙は從來益世報と同じく排日新聞なりしが、最近同種英國系のピーチータイムスが排日主張を止めたりしを以て、自ら其論調を改めたり。殊に最近例へば六月十八日の社説に於て排日に對する日本の態度平靜なる外觀は、日本が無策無爲なるに非ず、日本は將來支那を糾彈することあるべしと論せり。

新民意報　本紙は前排日當時學生聯合會を中心として發刊せられたるものにして、尚今日と雖ども排日を目的とし、又過激主義を採り、寧ろ排日の爲に存在すると稱して可なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

**益世報** 本紙は米系にして同時に直隷派が操縦し居るもの丶如く排日紙の一種なり。

**河北日報** 直隷省議會の機關紙と目せられ居れり。

**大中華商報** 警察廳長の機關紙にして亦排日を主張しつゝあり。

**大公報** 本紙は比較的古き沿革を有し、舊安福派の機關紙にして日本租界に於て發行するを以て、一時旅大回收問題に關して他の排日紙に雷同せむとしたれど、其後態度を改め從前同樣寧ろ親日的なりとす。

**華北新報、啓明日報** 共に勢力なく他の排日紙に雷同しつゝあり。

**新聞報** 相當讀者あり日本に對しては好意を表す。

**北方時報** 本紙は昨年の創刊に係り、臺灣人謝介石兄弟の獨力經營たり。主幹謝介石は支那籍に入り嘗て吉林省顧問たり。又直隷省外交課長等たりしことあり。張作霖系に屬するが如く、排日問題に就ては日本の立場を努めて辯護し、日本新聞の記事を多く轉載し、恰も日本政府の純然たる機關紙の如しと雖ども、當地日本官憲其他より毫も補助を受けず。今回排日に際して著しく窮し居り、時下臺灣總督府の援助を渴望しつゝあり（註、現在發行部數は千餘にして一箇月四、五百元の補助を要求し居れり）

(三)英字紙は左の如し。

North China Star（華北明星） 本紙は排日親支主義の新聞にして、現在發行部數三千に達すと稱す。米支人の經營に係り、主筆は米國人ドクトル、チエー、フオツクスとなす。今回の排日に際しは旅大還付の正當なるを論せり。世評の如くに米國官憲の後援を受け居らず。現に米國領事館に對して惡感を抱き、昨年末のコルトマン事件の如き却て支那側の爲に辯護したり。

Peking and Tientsin Times（京津報） 本紙は英國系に屬し、現在發行部數千五、六百なりと稱す。主筆は著

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

名なる支那通英人ウッドヘッドとなす。現在の論調は昔日と異り寧ろ親日的にして、前紙とは主義上の爭已まざるのみならず、經營者個人的にも反感を抱きつゝあり。今回の二十一箇條問題に關しては公平穩健なる評論をなし、例へば既に三月十三日の社說に於て支那の排日的行爲を嘲笑し、支那が現下瀕死の時代に通告を發したるは時機を誤りたり。支那が靑島回收後の實蹟は全然失敗に了り、日本が更に旅大を還付せば其結果は收拾すべからずと論せり。

North Chine Daily News(華比日報) 本紙は英人クラウンの經營にして排日的態度をとらす。

China Advertiser(公聞報) 本紙は日本人松村氏經營すと云ふ。

邦字新聞としては京津日々新聞及天津日報あり。

## 乙 濟南新聞紙

現在濟南には大民主報(發行部數約千五百)平民日報(同千二百)大東日報(同千)商務日報(同五百)簡報(同九百)山東時報(同七百)益知報(同上)通俗白話報(同上)濟美報(同六百)工商新報(同五百)民政日刊(同四百)濟南日報(同千)山東法報(同不明)省憲日報(同上)等あり、殆んど全部排日紙と稱して可なり。如上「大民日報」は從來は米人の投資相當額に達し、裡面に於て援助し最も熾に排日の宣傳をなす。「平民日報」等之に亞ぎ排日新聞として有數のものに屬す。其他のものは勢力大ならず。機會に應じ排日記事を揭げつゝあり。「濟南日報」は日本人の經營に係り日本政府の補助あり。濟南には英字新聞又は外國通信員なく、外人は臨機に支那紙を利用しつゝあるのみなり。

邦字新聞としては數年前より刊行したる山東新聞あり。發行部數一千と稱すれど、七百内外なるが如し。

其他濟南經濟・山東通信等小新聞あり。(終)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 領臺前噶瑪蘭の番務

臺北州調査

此の一篇は元宜蘭廳波越重之氏の調査に係り、改隸前宜蘭番に對する番務の沿革を闡明せるもの、番政上重要の資料なるを以て茲に掲げて大方の參考に供することゝせり。（編者）

## 一　總說

本邦の邊地は國家先づ經營して而して後人民之に居り、臺灣の番地は流移先づ開墾して而して後官吏之に臨めり。唯夫れ民の先づ之を開くなり、是を以て動もすれば官の職權を牽制し、吏務に鹵莽の跡あるを致し、諸弊は之に随へり。其の拓殖の完全ならんことを欲するも豈得べけんや。然れども臺灣開闢の方法は閩粤の經驗を傳へ、閩粤の開闢は支那歷世の施設を重ねたるのみならず、其の理番政略は西倉の理猺及四川屯練等の實例を採酌せり。乃ち其の拓殖は完全ならざるべきも、之が實弊の由る所を審にし、以て除くべきを除き、去つべきを去つれば、我に於て自ら參酌に資すべきものあらん。況んや古昔に在りて熊襲隼人を西南に鎭撫し、打猨土蜘蛛を中土に勦絶し、蝦夷を東北に駆逐せる上世の丕績の如き、史には仍は炳然たりと雖、人には復經驗の徵すべき無きをや。爰に收臺以來、地方の當局は時に懷柔を試みざるに非ず、又膺懲を試みざるに非ざるも、當時猶未だ番性を徹底に詳にせず。所謂端倪あつて尙綱紀なき底の間に立ち。而も誤謬多き土

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人の言を取つて對蕃の材料と爲したるに過ぎざりしが故に、懷柔の方便は時に或は彼をして狃れて驕らしめ、膺懲の手段は却て其の敵愾心をして增長せしむる傾向あり。尙又如上懷柔の方便すら往々外來の支障即ち利已的冒險の徒に攪亂せらるゝを常とし、膺懲の手段も亦多くは是等徒輩の行爲より迫出せる開端の爲めなるを例とす。蓋し臺灣人は積弊に狃れ、內地人は經驗に暗く、共に煩累を國家に及ぼし、恬として顧るなく、惟蕃の獰惡を鳴らすのみ。地方官吏も亦事情に制せられて職權を固持する能はず。所謂蕃性を徹底に詳にせず。又民蕃を綱紀するに暇あらざるもの、如し。何ぞ知らん邊夷を經略せる國家上世の旨は、決して是の如きものに非ざりしことを。今や府是を確立せられ、各地方は其の步調を一にして以て大に力を蕃地に奮へり。是に於て宜蘭廳は叭哩沙蘇澳の防備を嚴にし、漸次步武を內層に進め、深頭蕃・南澳蕃を歸順せしめて以て大南澳・笑獅山・双生山・烏底嶺・烏帽山・大元山・鳳紗山・十三份の各地を席卷し、更に「ガオガン」蕃を膺懲して以て桃園廳各生蕃の背後を擣ち、遠く新竹廳と聯絡呼應せり。顧ふに千歲の一期會を開き、有史以來の大成功を示されたる今日に在りて、各蕃種族は爾後如何なる行動を以て接應せんとするや。

## 二　蕃務考

### ロ　蛤仔難の洪荒

宜蘭は其の開闢以前に在つては蛤仔難即ち「ハバラン」と呼べりと云ふ。蓋し洪荒の事は山前地方と雖も得て考ふ可からず。況や山後の宜蘭をや。地は最僻遠と目せられ、官は最後れて設けられ、噶瑪蘭廳誌の外は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

復據るべきの志乘ある無し。但た其の參照とする二三を摭錄せんに、尹氏臺灣志略は鷄籠山後の地に蛇首獰猙たる食人蕃族の栖息せるを紀し、並に是の發見は康熙二十三年（清國收臺の翌年即今を距る二百二十年前とす）間の事に係り、當時未だ蛤仔難の譯名あらざるを紀せり。次に臺灣舊志（康熙三十三年編纂）は曰く、鷄籠山南を蛤仔難と爲す。二港あり、三十六社は港の左右に散處す、土人之を平埔蕃と謂ふ云々。蓋し此の時乃ち蛤仔難の稱起り、蕃は概ね海濱に住み、生蟹鳥魚を捕へ、鹽を加へて活嚼するを常とし、殆ど雞豕を食はず、又錢銀の如きは固より未だ使用するを知らざりしなり。而して噶瑪蘭廳誌は即ち曰、未だ版圖に入らざるの先きには毛を茹ひ血を飲み、蓬髮にして露體、男女別なく婚姻時なし、花を開くを以て四時を紀し、牲を打つを恒業と爲す。間々漢人の之に耕種を敎ふるあり、稻穀を寶とし貴ふ、但し短刀を以て犂鋤に代へ、並に牛隻あるなし。又間々樹皮を織るも僅かに下體を蔽ふのみ云々。蓋し噶瑪蘭志の載する所は既に洪荒を經過したる進歩時代の情景を徴するに足るべく、即ち單に魚介を生食するの時代より打牲を恒業とする時代に入り、且つ其の分布地域も亦海濱のみに非ざるを知るべく、又其の耕種に在りては始めは手を用ひ沙土を堀鑿するの外、別に農具あるなし。是れ海濱を趁ふて栖息せる原因中の一にして、其後鹿角を用ふる時代に進みたりしが、其の短刀を以て犂鋤に代ふるに至つては、更に鹿角時代の經過と其の進歩とを證するものなり。然り而して古老の口碑に由れは、當時蛤仔難の平野は蒼たる大森林にして、抱を連ぬる喬木は天に參はり、仰いで日影を見ず、深蓊密箐、棘刺藤蘿は蹊を塞ぎ徑を蔽ひ、禽獸驕り蝮蛇逼れり。而して土蕃は概ね沿海の地に居り、或は平原に居るものありと雖、皆溪流に傍ふて分布したりと云へり。即ち是の情景を以てすれば、殆ど洪荒を聯想し得るに庶幾らんか。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 口 西班牙人の占領

爰に蛤仔難蕃地は、上文に述ぶる如く山前各地方に比し開疆甚だ後れたりと雖、却つて全臺洪荒の時期に於て、今の臺南・基隆・淡水に比すべき歷史を有せり。卽ち西班牙人の關係是れなり。西曆一六二六年(我が寛文三年明の天啓六年)西班牙人が北部臺灣の形勝を探尋し、其の鷄籠の占領は蓋し三貂角の發見より成れり。既に三貂角を發見したりとすれば、同時に蛤仔難の原野森林が其の望中に入らざる理なし、惟是の時に當りては西班牙人は根據地を北部臺灣に求め、以て荷蘭の海權を制するに急なり。乃ち先づ鷄籠の社寮島に入り、敢て是の地には入らざりしなり。爾來西班牙人は專ら鷄籠の防範備設に力め、及び土蕃の敎化に從事し續で淡水八里坌を經略して以て鷄籠と犄角を爲し、以て臺北の平原を經營したるが爲め、是の地は未だ何等の事跡を見ざりしが、一六三二年卽ち六年の後に於て爰に理蕃上の一動機を發現したり。臺灣蕃政志に曰、呂宋の「マニラ」に向ひたる東埔寨の船颶に遭ひ、カブアランの一港に漂著せしに、土蕃の爲めに船員五十人悉く殺勠せられたり。是に於て其の一港口に守備を置くの必要を認め、西班牙人及呂宋土人を率ゐ至り、土蕃の部落七所を焚き、十二人の土蕃を殺せり。然るに慓悍なる土蕃は退きて險隘の要に據り、之を恃みて服せず。西班牙人も亦之を征服する能はず。他の馴化の土蕃亦之を見て西班牙人の怯弱を嘲り侮るの狀あり。西班牙人は其の海岸の一帶を「サンタカタリナ」と命名し、其の中の一港口を「サン、ローレンソ」と命名せしが、其の地四十七の土著部落より成り、夥く金を產し、米及鳥獸魚肉等の食物にも餘裕あり。呂宋より臺灣に往來するには必經有望の地にてありき。斯くて一方には臺北平原より中央山脈を橫斷して此の地に達する道路を通せんことを計畫したり云々。乃ち蛤仔難は是の草昧時代に在りて西人已に之が經營に著手したることは、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の一、海岸の一帶及其の中の一港に命名したること、其の二、土蕃四十七部落の判明を爲したること、其の三、産金の夥きを發見したること、其の四、米及鳥獸魚肉等の餘裕あるを知得したること、其の五、臺北との交通を山道に取るの計畫を爲したること等により、之を知るべきなり。

## ロ　西班牙人占領の地點及經營

上文西人の經營に對しては、殊に之を推考し來るの要あり。第一海岸一帶及其の中の一港の命名に付ては西人が既に確實に其の他を占領せしことを知るべし。又其の一港の何處なりしかに就ては何人と雖も之を蘇澳なりと考定すべし。然れども蛤仔難の地形及當時割據の形勢より論じ來れば、或は加禮遠港に非ざる無きを得んや。臺灣舊志に曰、蛤仔難港は二あり。諸山の灘流を合して海潮と滙し、三十六社は港の左右に散處す云々。所謂二港なるものは加禮遠港と烏石港とを指すものゝ如し。噶瑪蘭廳志に曰、港口の水は烏石港に較ぶれば尚深きこと三尺にして並に暗礁なし。土人之を東港と謂ひ、東南より流れ出づるもの皆此に聚る。其の西北より流れ出づるものは頭圍に匯寄す。因て烏石港を以て西港と爲す云々。（烏石港は光緒年代に壅塞し址を存せず、雖道光年代は正口を設けたるさへあり世代愈よ古く港水愈よ深かりしと傳へらる）是に由て此を觀れば所謂二港なるものは東港と烏石港とにして蘇澳は與らず。且つ蘇澳は一隅に僻處し殆ど平埔蕃を分布せしむるの餘地なし。即ち三十六社が港の左右に散處すと云へる地形に符合せざるなり。又西班牙人割據の形勢を以て之を論ぜんに、第一守備を蘇澳の一隅に置き果して能く蛤仔難全部を制し得べきか。是れ遂に不可能たるべきを以て、勢ひ東港に據り右に蘇澳を挈へ左に烏石港を提け、以て連繫を三貂に試み、而して鷄籠と呼應したるものなり。第二土蕃四十七部落の判明は蓋し眺瞻物色等の如き輕々の談にあらずして、必ずや實地に之を調査し又布教傳道に著手せし結果たるを知るべきなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

乃ち西人が鷄籠淡水の行動を觀るも、由來彼は敎導を以て對蕃方針と爲し、以て荷蘭に對抗せしものにして彼の八里坌に於ける如く兵力を以て大打擊を加ふるも、一面より啓發を行ひ遂に化に向はしめたる實例あり乃ち西人が蛤仔難に處する情形を察見すべし。第三其の產金の夥き云々に就ては蓋し武荖溪の砂金を指すものにして、是の地は則ち加禮遠港に近くして寧ろ蘇澳とは蜿蜒起伏せる山阜を隔つるのみならず、其の砂金多き上游の如きは峻山險谷を以て蘇澳を遮斷せるが爲め、假りに西人を以て蘇澳に據りたりとせば、武荖溪の砂金を知得する豈容易の談ならんや。乃ち考ふるに其の守備を置けるは加禮遠即ち東港にして、又西人は實に採金迄に經營を試みたることを。第四米及鳥獸魚肉等の餘裕あり云々、洪荒のとき森林は鬱茂せり、鳥獸群を爲すこと固より其の所なるべく、又海に臨めり、魚類の多きも亦怪むに足るなし。獨り產米の餘裕あるを說くに至つては、蛤仔難生蕃は已に耕種を解したるもの丶如し。顧ふに山前の平埔が未だ耕種を知らざるに、山後の蕃が特り之を知るもの、則ち蓋し西人が田埔を墾耕し米穀の種作を敎へ、而して收穫するまでに經營を遂げたるを證するに足る。第五山道を開き臺北の交通を企畫する一事に關しても、亦西人が確實に蛤仔難平原を占領したることを推定すべし。苟し夫れ蘇澳ならんには縱令ひ確實の占領なりとするも、一邊隅の形勢を以て是の如き大規模の開路は蓋し能く辨ずる所に非ざるなり。如上各項に由つて當時を測斷すれば、蛤仔難蕃地が西班牙の治下に在りて、二百八十年前に多少の經略を試みられたることは頗る考信するに足るものあり。

ロ　西班牙人の退去

然れども蛤仔難の平埔蕃が悉く之に服從したるに非ず。其の驁悍なるものは退きて險隘に據り、仍ほ反抗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を試みたりと云ふ。蓋し險隘は叭哩沙喃方向の諸山脚及利澤簡雞東等の沿山地方を謂ふものなるべく。而して西班牙人は復進取を急にせず、專ら力を海岸の一帶に用ひたりしが、一六四二年に至り西班牙人は荷蘭人の逐ふ處となり、鷄籠淡水を棄つると同時に蛤仔難をも抛棄したり。蓋し是の地には別に攻爭の歴史を存せず。然り而して西班牙は其の三貂角の發見より玆に至るまで約十七年にして、其の蛤仔難を占領せしより約十一年の關係を保ちたるものなり。

### □荷蘭時代の蛤仔難

然るに荷蘭人の北部臺灣の經營は、惟ゝ鷄籠淡水に止まり、而も武備に汲々として西班牙の報復を虞とするのみ。土蕃化導の實效に於ては、復南部臺灣の如くなる能はず。蓋し之を爲すに遑あらざるなり。故に蛤仔難に對しては、其の福音竝に政令の及びたる跡無し。

### □鄭氏時代の蛤仔難

鄭氏の時に及んでは殆ど意を蒞政に用ふるの暇あらず。專ら屯田の施設に汲々たりしが、尙其の施設は山前を完了せず。故に山後の蛤仔難は固より消息の窺ふ可きものなし。惟ゝ沈光文の平臺灣序に、鷄籠城以外は路の行くべきなく、亦灣の泊すべきなし。惟ゝ夏月の風靜なるを候し小船を用ひ海墘に沿ひ行くこと一日にして山朝（即ち三貂）社に到り、三日にして哆囉嘓に至り、三日にして直脚宣に至るとあり。乃ち鄭氏の時、既に人の蛤仔難に至りしを徴すべしと雖、是れ固より政令の及びしを謂ふに非ざるなり。然り而して是の如く荷蘭・鄭氏時代よりして、蛤仔難は再び洪荒草昧の間に棄置せられたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## □ 淸國開臺の初期に於ける蛤仔難

上文の如く蛤仔難は再び洪荒に復歸したりしが、淸國政府の臺灣を收むるや、時世は猶未だ蛤仔難を經營せしめず。先づ山前の平原に閩粤の流民を驚集せしめ民蕃の交渉は日を逐ひ多事なり。故を以て閩浙總督福建巡撫及臺厦道臺灣知府等の蕃政方針は、勢ひ消極を持せざるを得ず。土牛を築設して民蕃の境界を限り海船を制禁して閩粤の偸越を防げり。是に於て淡水の大山頂及山前竝に石頭坑・蜂仔嶼社口に界石を立てたり。是に因りて雞籠山後及山朝社の如きすら旣に界外に屬したるを以て、其の以上の奥區たる蛤仔難に在りては固より採樵の入り得べきに非ず。是れ康熙收臺より同六十一年に至るまで淸國對蕃の情形なり。

## □ 康熙三十年代及雍正年代迄の蛤仔難

然れども淡水雞籠等に驚集せる流民は、法を潛り險を冒し、內地及淡水の帆船に由りて鐵器及烟布等を載せ、烏港に入りて土蕃と密貿易を爲すもの、已に康熙三十年代に見はれたり。當時臺灣の行政機關は、臺厦兵備道の下に臺灣知府・臺防同知・臺灣・鳳山・諸羅の三知縣あり。卽ち恰仔難は諸羅縣の開闢すべき區域內に屬したりしが、諸羅は南北一千里に亘り、遼濶なること西部臺灣の二分の一に居り、鞭長馬腹に及ばざるは復言を待たず。然れども淸政府は、其の民が土地を墾し聚を成すを竢ちて、始めて官を設くるの慣習を有するを以て、是等形式的行政機關に安んずるも亦怪むに足らざる所なり。然り而して地方行政機關に屬する通事なるものあり。其の資格は官吏にあらず、又胥役にあらざるも、蕃社に出入して蕃語を通じ、社事を辨ずるを職とするものなり。而して通事は界の內外を問はず、蕃の生熟を論せず、官之を許して該蕃社內に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

眠食するを常とせり。故に洪荒の蛤仔難は未だ通事あらざるも、時に淡水鷄籠通事の物色する所と爲り、他の密貿易の徒と相表裏して、烏石港附近は漸く漢人の足跡を印するに至りしもの、如し。其の最參考に資すべきものを擧げんに、康熙三十四年鷄籠の大通事賴科に由つて招撫せられたる崇爻八社なるものは、諸羅縣の山後と稱し甚だ遠地の如くなるも、番俗六考の所謂崇爻・直加宣・抽丹・薄々・芝舞蘭・斗難・芝密・水輦・筠椰々なりとせば、其の直加宣・薄々・斗難は蛤仔難の鯉浪港南に分布せる「アミス」番族なりとす。則ち鷄籠通事が蛤仔難の地に至るに、其の途中に分布する蛤仔難を置きて顧みざるの理なきなり。顧ふに賴科は必ず是の地に往來せるものなるべし。又同六十年提督藍廷珍が淡水守備に與ふる檄文中に、蛤仔難大鷄籠社の夥長許略、關渡門媽祖宮の廟祝林助、山後の頭家劉裕、蛤仔難の夥長許拔は、皆能く番語に通じ、曾て躬親ら其の地を跋涉して蛤仔難を熟悉せり。該辨には賫くるに行李餱粮を以てして、淡水山門より蛤仔難に至り、卑南覓に至りて止ましむ。千里間斷を得る勿れ云々。即ち蛤仔難の夥長と曰ひ、山後の頭家と曰ひ、蛤仔和蕃と曰へるが如き、是れ明かに是の地に民蕃貿易の行はれたるを徴すべく、又東勢集中に、同六十一年に把總朱文炳が鹿耳門外に在りて颶の爲めに飄せられ、三晝夜を經て蛤仔難に至り、船破れて岸に登る、蕃寇ふて寇と爲し、將に之を殺さんとす。社に何姓なるものあり、素より蕃と交易するものなるが、力めて禁止を爲す云々。是れ亦明かに密貿易の行はれつゝありしを證するなり。

### ロ　蛤仔難は通事に由て開かる

既にして雍正元年諸羅縣を割きて新に彰化縣を北路に置き、尙淡水廳を置き、北路の彰化以北を稽察することゝ爲れるを以て、後來蛤仔難の經路は全く兩機關の知る所と爲りしが、墾地殖民等の事業は未だ是の地

に及はず、先つ淡水通事に由つて歸化輸餉を奬勵する名義の下に公准貿易を行はしめたり。是に於て蛤仔難番は歸化輸餉の界外番として、雍正二年始めて政廳の簿冊に登錄せられ、是の歲之を諸羅縣より彰化縣に引續き、同九年淡水廳が地方行政の執行を兼ぬるに及んで、復之を彰化縣より引續きたり。然れども是の引續に因つて蛤仔難が名實倶に歸化せるに非ず。府志に曰、蛤仔難並に哆囉嘓社は、蕃社餉銀三十兩とす。該社淡水通事は四五月間の南風盛發期に多社蕃をして貨物を買置せしむ。乃ち舟載して蕃社に往き、貿易し年に輸餉銀三十圓を認めしむ云々。是れ即ち社蕃が自ら餉を輸するに非ずして、淡水通事が營利上の便宜により歸化の名義を附加せるのみ。

□ 贌社貿易及通事社商

通事は上文の如く土蕃漢人間の意思を通じ、社餉等の事を辨ずるを職とすと雖、官は其の社蕃を操縱する爲めに通事自身の意思を用ゆることをも認容し、又相當の俸銀を給せざる爲め、之を蕃に取ることをも認容せり。故に遠隔の地に在りては、其の勢力純然たる地方官吏にして、其の弊害も亦汚官貪吏に異ならず。又地方の情況によりては、社商（即ち頭家と稱せり）の爲すべき贌社餉の事をも代辨せしめたるを以て、彼れは公々然として私嚢を肥すを得たりしなり。蓋し入蕃は最冒險の業たるを以て、利慾に趨る者に非ざれは概して通事たるを願はず。是に於て遊手無賴の輩をして爭ひ進ましめ、而して流移の徒も亦之に夤緣して僭越侵佔の端を開き、曾て懷柔機關の先驅たらしめんとしたるもの、却て國家の隱憂を釀造するの具と爲れり。贌社輸餉は蕃社餉を包辨するの謂ひなり。其の方法は荷蘭人により創設せられ、鄭氏も亦之を續行せるものにして、餉とは歸化土蕃に課する蕃丁銀即ち人頭税・戸別税等の總稱なり餉は米を用ふるあり、銀に換算するあり、或は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鹿皮を用ふるあり、一に蕃社の情形に從ふものとす。初め淸政府は毎年秋季を以て徵收を爲したりしが、秋成の貢納は易きに似て實は然らず。乃ち蕃習は餘儲を爲さゞるが故、期に至れば復一物あるなし。且つ徵額の積重するが爲め、輸納の因難少なからざる情況あり。仍て荷蘭及鄭氏の例に倣ふて包社の方法に由らしむ。包社とは蕃社全部の納額を包羅して一人之を受け負ひ、社に代りて四季に辨納するものにして、卽ち之を社商と曰ふ。社商は官の定むる餉額を輸納し、每季後に於て其の夥伴を率ゐて社に至り、貿易を行ふを例とし、凡そ蕃社の所有物は悉く社商の手に入らざるは無く、社蕃の需要品も亦社商の手に出でざるは無し。故に社商の利は實に莫大なるものあり。例へば蕃が鹿を捕ふるとき、贌社商は雜貨を以て之に易へ、其の肉は脯に作りて發賣し、皮は官に納めて餉に代へ、其の他鹿角・鹿鞭・鹿脚等も亦皆社商の有に歸し・蕃は惟々頭と腸とを得るのみ。然れども其の社商に需むる所の雜貨は、常ありて敢て數を減せざるも、捕鹿の數は豫期すべからず。往々社商の缺損に歸することあり。是を以て萬一を慮る爲めに陵剝の手段多く、其の害遍事に越ゆるものあり。但し社商は相當の資産を有し、且つ街市舖戸の保領を爲すものなるが故に、固より遊手無賴の徒と同視すべからざるも、就中無資産にして他の出資に依るものあり。又奸棍の徒にして贌を爲すものあり。是等は概ね蕃の朴魯を奇貨とし、相率ゐて凌虐を事とせりと云ふ。

### □　歸化蕃の定義と質地の情形

歸化蕃と曰へる定義は、治化に馴服せるものを指すなり。然るに淸政府は其の蕃社餉を輸納せるものを以て、之を汎稱したるもの、如し。是れ獉狉の生蕃と區別するには未だ必ずしも不可あらざるも、蕃政の眞面目を論ずる上より甚だ失實の嫌ありとす。蕃俗近古說に曰、夫れ餉を輸するの社は歸化蕃なり。餉を輸せざ

るの社は野蕃なり。生蕃何ぞ能く輸納せん。惟是れ社丁が賤社して得る所を以て税を官に納むるのみ。其の險を冒し利に趨り、野蕃と交易するの蕃丁は、官は問はざるなり云々。又蕃社紀略に曰、界内蕃は或は平地に在り或は近山に在り皆熟蕃なり。界外蕃は或は歸化し或は未だ歸化せざるも皆生蕃なり。夫れ賤社は卽ち民蕃の互市にして、所謂歸化は特り輸餉するのみ、薙髮せず衣冠せず、依然たる獉々狉々なりとす。間ま或は熟蕃を掩殺するも、而も有司は治むる能はずして之が大息を爲すのみ云々。是に由りて此を觀れば、蛤仔難の如きは其の位地の界外最遠に屬し、僅かに淡水通事が土蕃との互市に得る所を以て税を官に納むるに過ぎず。卽ち蛤仔難蕃は依然獉狉の野蕃なりしのみ。

### ロ　蛤仔難沃野の發見竝に林韓生墾業の毀敗

然れども淡水通事の認辨輸餉に依りて、蛤仔難の沃野は次第に世の注目を惹き、乾隆年代に及んで遂に林漢生入懇の企あり。是より先き蛤仔難は、輸餉歸化蕃の列内に入りたりしも仍ほ草昧に屬し、未だ蕃丁を確算するの進度に達せず。乾隆二年民丁の例に照らし毎番丁銀二錢を減徴するに及んで、是の地は三十兩の餉額を免除せられたるもの ゝ如し。而して是の恩典は殆んど土蕃には及ばずして。惟淡水通事等の貿易に向つて私腹を肥せるのみ。是の如くにして愈よ彼等に便宜を與ふるに至り、漢人の出入は自ら頻繁を致せり。而して是等民蕃の接近は皆貿易に由りたるものにして、其の懇業に由れる越界は實に林漢生を始めとす。林漢生は蓋し康熙末年に是の地を跋涉せる關渡門の林助と姓を同ふするを以て、或は其の子孫にして父祖入蕃の緣故を履みたるものに非ざる無からんや。是に於て林漢生は乾隆三十三年以て淡水より舟を艤し、衆佃を率ゐて烏石港に上陸し、開墾に著手したりしも、土蕃の容る ゝ所とならず、終に殺されて事熄みたりと云ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

顧ふに蕃埔の荒蕪するを見るや、漢人は乃ち曰ふ、蕃は地を愛せずと。何ぞ知らん安士は獨り米穀の爲めならず、其の水土に慣れ其の林野を好み、其の部落を愛つるに緣て、絶體に他種族の占據を欲せざることを。且つ此の地方は西班牙人の時已に米の食用に餘裕あるを報ずるさへあり。今に於て豈に多少の米作を試むる無かるべけんや。卽ち其の荒蕪せる如きは地を棄つるに非ず。多墾積貯の要を思はざるに因るのみ。豈に其の地を愛せざらんや、是れ林漢生の殺さるゝ所以なり。

### □ 通市に籍て漢人益〻蛤仔難を窺ふ竝に吳沙

林漢生が敗れし後、暫くは越墾の跡を絶ちしも、通市に籍て地味に垂涎するもの愈〻益〻多し。加之支那大陸の船舶あり、夏秋の間風便に乘じ來りて烏石港を窺ふもの逐年絶えず。甚しきは匪類之に混して刧掠を行へり。時に淡水に貢生柯有成・豪戶趙隆盛・何繢及林漢中・許大送の輩あり。殊に意を開闢に屬せり。蓋し林漢中は漢生の後なるが如く、許大送は蛤仔難に密貿易を業とするものにて、亦往昔の許略・許拔等の後なるが如し。然り而して彼等は常に烏石港より上陸して土蕃と貿易し、頗る蕃情を悉くせり。又漳人吳沙なるものあり。三貂社に居り、蕃と貿易して信あり。蕃甚だ之に懐けり。而して流民の往て投ずるものには、米一斗と斧一柄とを給し、山に入り薪を伐り籐を抽き以て自ら營ましむ。是に於て流民も亦多く之に歸したりしが、吳沙亦た蛤仔難を墾するの意あり。而して本屬官廳たる淡水廳は、吳沙が頻りに衆を集むるを聞き、其の亂を作さんことを懼れ、意を加へて之を遏し、以て羈縻するに力めたりと云ふ。

### □ 淡水同知徐夢麟の蛤仔難觀察

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

是の如く蛤仔難が世に注目せらるゝに至りしも、尙是れ淡水廳以北の關係に止まりたりしが、林爽文の亂に因つて其の名は始めて臺灣知府楊廷理の知る所と爲りしと云ふ。爽文の亂は乾隆五十一年に起り同五十三年に迄り。初め楊知府は賊の竄路を籌防するに因つて蕃地の險要を査察せしが、三貂及蛤仔難の形勢の藐視す可らざるを知り、淡水同知徐夢麟に檄し、三貂に出張して賊を堵截し、竝に緝捕の措畫を爲さしむ。夢麟乃ち番丁を率ゐ三貂に入り之が備設を爲し、因つて以て左の情形を詳にせり。

三貂は民蕃共に吳沙に服從し、疎縱の弊あるなし。竝に蛤仔難は土蕃未だ歸化せず。隨て漢民住むなきを以て林賊の溢擾は是の地に波及するの顧慮を要せざるなり云々。

右の覆報に由て臺灣鎭・道・府共、蛤仔難地方の平廣にして土性の膏腴なること、竝に土蕃を招撫する手段も亦容易なるべきを同時に知悉せりと云ふ。

## □ 吳沙始めて蛤仔難に入る

是より先き吳沙は三貂の蕃心を得ること已に久しく、依つて以て蛤仔難に入るの便宜を得たり。父老の言によれば、其の始めて草嶺頂に登り蘭の野を望むや、彼れ乃ち開荒の志あり。然れども未だ輙ち墾開を爲さず。先づ蕃と換市を通じ、漸次に鋤犂に及ぼせるものゝ如し。故に噶瑪蘭雜識に曰、吳沙は久しく三貂に住むに因り、間々物を闌出して蕃と交易し、蘭中一片の荒生蕃皆耕作を諳せず、又甚た顧惜せざるを見て、乃ち稍漳泉粤の其の近地に就き採樵し、而して棘を剪り荊を披き、漸く阡陌の勢を爲すと雖、蕃は故らに之を禁せざるなり。三籍風を聞き視て逋逃の藪と爲し、來るもの日々益々衆し。吳沙猶法を畏れ敢て盡く縱容して蕃社に入らしめず。事を生せざるものを以て喜びと爲す云々。蓋し漢人が陸路に由り蛤仔難に入るは吳沙

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を以て始めとす。然れ共是の時呉沙の墾業は未だ烏石港頭圍等に及ばず。其の阡陌の勢を成せるは今の石城庄附近の地なりしが如し。是れ卽ち雜識に其の近地に就き採樵云々の語ある所以なり。顧ふに其の三貂に在りて已に蕃心を得たるが如き、又蛤仔難に入る後每に蕃心に拂觸せざる擧動に出てしが如き、卽ち蕃が故らに阡陌を成すを禁せざりし所以なるべし。而して呉沙の入蘭は乾隆五十年の事に係れり。

□ 徐夢麟に由て開闢の議起る

是に於て林賊の亂既に平ぎたるを以て、淡水同知徐夢麟は屢、蛤仔難番を拓撫せんことを、知府楊廷理に披陳し、楊廷理は更に巡撫徐嗣曾に稟請する所あり。嗣曾は以爲らく、開彊經費の出處なく、且つ界外に番畔を肇むるの恐れありと、乃ち之が上奏辨理を肯せず。是れ乾隆五十四年間の事あり。

□ 柯有成・何繪・趙隆盛・賴柯登等の墾業竝に蹉跌

時に柯有成・何繪・趙隆盛・賴柯登等は、淡水に在りしが、蓋し本省巡撫が開闢躊躇すと雖、淡水同知及臺灣道府が招撫の意思ある等、內面の消息は十分之を端倪したるものの如く、乃ち僞墾を企畫したるなり。乾隆末年（郷紳の記錄は末年とするも蓋し五十七八年間なるべし）某月、繪・有成・柯登・隆盛等は、曩きより佃夥を招集したりしが、是に至りて集まるもの千許人に及びしを以て、乃ち帆船を滬尾に艤し、進んで烏石港に上陸し、更に進んで今の頭圍の地に屯せり土番其の來意を叩く。漢人對ふらく、吾等は官兵なり、來つて海賊を擒捕するなりと。土番は多年已に海賊の刧奪に懲りたるを以て、此の語を聞き得て喜ぶこと甚しく、飮食物料を供給せり。既にして又之と相謀るらく、吾の此の地に駐してより海賊卽ち來らず。今より後、吾等自ら耕作し得べくんば、汝

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等に向ひ物料の徵發を免せんとす。是の如くにして吾等が永遠此に在りて鎭守するの便なるに如かずと。蕃復之を喜び毫も猜疑を挾まざりしと云ふ。噶瑪蘭雜識に曰、吳沙は人をして蕃を紿かしめて曰、我れ官令を奉せり。海賊の將に蛤仔難に據り盡く諸蕃を滅せんとするを以て、特に來つて賊を堵し蕃を護せんとするなり墾田は衆粮を足すのみ、他あるに非ずと。蕃は性愚にして沙の言を得て疑信相半ばす云々。是れ柯・何・趙・賴等の事跡を將て吳沙に混入せしものなり。柯有成等已に開墾に著手せしが、偶々疫氣太た盛にして佃人の死亡するもの夥しく、加之冬天に接し、帆船の交通不可能に屬し、缺員補充の途なく、柯・何・趙・賴・初次の企業は爰に失敗に歸せり。

## 口 柯・何・趙・賴等の再擧竝に毀敗

柯・何・趙・賴は一旦失敗に歸せしも、既に地段の腴沃を閱したるを以て、亦之を恝置するに忍ひず。再び淡水に在りて佃人を募り、開墾及日需の器具粮食を載せ、帆船を金包里に艤し、烏石港に入り、復頭圍の地に駐紮せり。而して先づ柵圍を南門仔・茅市仔の地に築く一箇所、天后宮の地に築く一箇所、十三行の地に築く一箇所にして、犄角の勢を爲し、佃人の數も亦前次より衆多なり。時に達瑪嫣の一社は、今の佛祖廟の處より南門仔一帶の處に分布し、最漢人と相接近し、交通已に久しく、又其の勢力に壓せられたる情形ありしも、其の他は悉く漢人に對する敵愾心を懷包し、就中哆囉妙晥社は地廣く人衆く、且つ大に漢人を疑へり。蓋し其の初めに來るや、海賊を捕ふる官兵と稱するも、專ら田埔を開き農事に從ひ、且つ蕃を護する官兵にして疫氣に辟易して避逃せるが如きは、寧ろ官兵の動作に非ざるものなれば、彼等の之を疑へるも無理ならず。而して其の再び來るに及んでは意外の地に木城を構築す。寧ろ海賊を堵すると謂はんよりは。犄角

の勢を張りて蕃を苦むるものと謂はん。且つ海賊の來らざるに衆の來る却て多きを加ふるは、愈よ蕃の地を取るものなりと思惟せしもの、如し。因て土蕃は陰に之が計を爲したりしが、是の時漢人は復又續々病に罹り終に六百餘の多きに至れり。蓋し蛤仔難は深箐密林莽蒼濕洳の洪荒狀景なるに、佃戸は概ね水土を知らざる新募に係ればなり。哆囉妙宛は之を聞き以爲らく機乘すべきなりと。蕃衆を擧げて先づ起ち。又各蕃社を糾合し、蟒甲を艤して水路より會せしめ、共に南門仔を攻む、時に患病者は倶に南門仔に在り。概ね蕃の殺す所と爲る。殘存するもの皆膽慄して敢て再び住むの意なし。然るに復隆冬に近く、淡水の航船を斷絕し、進退維れ谷まらんとす。惟ゞ遂瑪嬿が和好あるに緣りて、乃ち用ひて引路を爲さしめ、山を攀ち嶺を越え、潜かに淡水に向ふて遁れ去る。其の間實に數晝夜を費やせりと云ふ。噶瑪蘭原始の所謂「後或は再成するも皆功を成すなし」云々は、蓋し柯・何・趙等が前後兩次の蹉跌を謂ふなり。

□ 吳沙の墾業の大擧並に對蕃の方便

是の時吳沙は三貂社に在り、蓋し曩きには石城・大里簡附近に斧鑿を入れしも、仍ほ三貂舊社を本據と爲し、時々兩地の間に往來せしもの、如し。是に於て何繪等は沙の才幹あり兼て資力あるを探知し、託するに總股首の任を以てし、並に舊股を合し、再び佃を招き陸より進み、柯・何・趙・賴は海より入り、糧食器具を將て接濟せんことを約し、乃ち明春を以て事を擧ぐるの期と爲せり。噶瑪蘭原始の所謂「沙は主として衆を糾し山に入るも、之が資糧を供するものは、實に淡水の柯有成・何繪・趙隆盛なり」云々は即ち是れなり。而して工費防費の支辨は吳沙之を擔當せり。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

### 口 呉沙の再擧竝に淡水同知の給單、頭圍の開闢

嘉慶元年呉沙大擧して進んで烏石港南に抵り、土城を築き、頭圍の地を開けり。是より先づ呉沙は淡水同知及臺灣知府に知られたるも、未だ墾業を實施するの機を得ず。去年淡水墾股の蹉跌するや、沙は遂に彼等と連合し、部下の流民及新に募招する所の佃人、前役に殘存せる佃人を糾合して石城を發せり。時に土蕃は曾て沙が石城附近に機探せるを縱容したるも、尋で其の石城を築くを目擊し、又其の武裝せる民壯を率ゐ、多數の佃人を伴へるを目睹し、土蕃は其の總ての狀態が全く前日と異なるに驚き卽ち其の目的の柯・何・趙等と同軌に出づるを信じて疑はざりしならん。因つて遽かに戒心あり。壯蕃丁を出し之を拒みて遂げず。再び之を北關に拒まんとして蕃衆を配置せしが、日を經るに及び粮餉匱乏し持久する能はず。退て哆囉妙婉・珍滿力・新仔罕の三大社に聚まり、後圖を議せり、是に於て呉沙は勢に乘じて北關に入り、又石城を築きて之に據り、遂に九月十六日を以て、烏石港の南に抵れり。現に其の率ゆる所は八芝蘭・擺接・金包里等の堡に居る流民最多かりしと云ふ。既にして前年の柵圍の故址に就き家屋を構へ、土石を累積して堡壁を環らし、以て頭城と稱せり。當時此の方面には哆囉妙婉・達瑪媽・都美簡幾立穆丹等の蕃社を分布し、達瑪媽最近地に在り、卽ち今の上下新興の處に於て戶百二十、口三四百を有せり。而して哆囉妙婉最強く、戶二百三四十、口一千二三百を有し、卽ち今の大福庄の社頭社尾及附近一帶の地に在り。都美簡は今の塭底庄王通塭の地に居り、戶四五十、口二百を有せしが、是に於て哆囉妙婉先づ起ち、各社に知照して頭城を攻む。口碑の傳ふる所によれば、嘎里阿完・撈々・幾穆撈・巴魯新那完等の社蕃は海岸沙崙よりし、哆囉妙婉・達魯安・幾立披・里腦等の社蕃は蟒甲に乘じて溪よりし、新那罕・達普達普・幾穆蠻・擺離・賓那瑪拉・都美鶴・都美幹

等の社番は山前の各方面より陸路を取り來る。惟々達瑪媽が之に參加せざりしのみ。反抗の土蕃は共計二十四社と稱せり。時に許天送は吳沙の謀主たり。土蕃の勢ひ强盛にして、武力を以て制し易からざるを知り、吳沙に說くに姑らく進取を止め、機を相て事に處すべきを以てす。沙之に從ひ乃ち退て三貂に據れり。噶瑪蘭雜識の紀人中に「許天送なるものあり、販私を以て夷情を悉せり。番推して長者と爲す吳沙は其の言を得て、力を以て制す可からざるを知るなり。廼ち退て三貂を保つ」云々。（生番抗爭の項下參看）顧ふに吳沙が三貂に退却せしこと唯是の紀人の一篇に見ゆるも、噶瑪蘭原始・議開節略等の諸雜識中には一も之を載せず。或は柯・何・趙等の事跡を錯綜せる流傳に非ざる無からんや。蓋し約二千の壯丁佃人を動かせる大事業は、奕棋の如く易置し得べきに非ざればなり。

同二年吳沙は蛤仔難番の抵抗甚しく、容易に其の目的を達すべからざるを知り、信を示して諸番に結ばんことを思へり。偶々番社に痘瘡の流行するあり、沙乃ち療法を敎へ藥物を施せしかば、治癒するもの甚だ多く、番頗る之を德とせり。番俗誓盟を爲すに石を埋めて堅實不動を表す。沙乃ち番情の稍々融和せるに乘じ誓を設け約するに再び其の地を侵さゞる事、海賊を堵防して土蕃の外援たるべき事等を以てしたるに、土蕃は稍々之を信じて敵意を釋す部落あり。又屢爭鬪して時に敗れ戰に倦むものあり。是に於て旣墾の頭圍方面を吳沙に與ふる條件の下に民番は休戰を爲せり。

旣にして吳沙が曾て招募する所の漳・泉・粵・三籍の佃人は益々到り、流民の吳沙の風を聞くもの亦踵て到れり。然るに吳沙は私墾を以て罪を獲んことを恐れ、玆歲淡水同知何如蓮に稟請する所あり、其の分治の新庄縣丞より諭札墾單及吳春郁の戳記を受領し便宜事に從ひたり。而して其の開墾に就ては一張犂（五甲を一張犂とす）每に銀十元乃至二十元を鄉勇卽ち民壯の給料と爲し、佃戶より徵收するものとし、其の他の公費は吳沙の負

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

擔に歸するものとす。而して吳沙は後日墾成るの時、自ら最實腴の地段を擇取するの權利を有し、其の他は各股をして數十名乃至百名を一結と爲さしめ、資本は股衆各自に之を辨出し、分に應じて配當を受くるものとす。

### □　吳光裔、吳化等の進墾及二圍三圍の開闢

同三年、是より先き吳沙は病にて頭成庄の地に死したりしが、弟吳立は既に上年に於て番に死せるを以て亦墾業を統ぶるものなし。是に於て吳沙の子光裔其の業を繼き、吳立の子化代りて其の事を理し、更に吳養・劉胎先・蔡添福の之を助く。因つて進んで二圍及湯圍の地に向つて勵犁を入れたり。

是の地に分布する土番は、曰、熳晉蘭人口五百を有し、今の洪武蘭庄の處に居る。曰、幾立穆丹人口二百五六十を有し、今の奇立丹庄の處に居る。曰、都巴壜人口三百餘を有し、今の抵百葉庄の處に居る。吳化が侵墾を企て土城を築くに及んで大に驚き、其の前約に背くを憤り、起つて抗爭を始め、時々戰鬪の事あり。湯圍方面の各社も亦起つて之に應せり。偶々哆囉妙婉と、新仔罕と隙あり新仔罕乃ち其の利用する所と爲り、哆囉妙婉敗して二圍・湯圍の地漢人大に勢力を得、更に三圍を開き四圍堡の一部に及ぶ（生番抗爭の項參看）

### □　土番の聽墾四圍の墾業

同四年吳化等は番と和約を訂し、其の衆を約束して復侵迫を爲さゝるを誓ふこと一に吳沙の時に同じ。番乃ち喜ぶ。然れども漢人が既に著手の地段は悉く其の手内に入りたるのみならず、哆囉妙婉の毀敗以來は各社番頓に勢を失ひ、厥の角を崩したるを以て、吳化等は容易に四圍堡の全部を經營し得たり。此の地域には新

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仔罕戸數百三四十、人口五六百を有し、今の位置及幸仔罕庄の一帶に住み、打那岸及貓乳戸數合して約三十人口百二十內外を有し、今の打那岸馬鱗等の庄に分布し、都美都美今の抵美庄の地に住み、逵背逵背今の蹈々庄の邊に住み、各戸數約四五十を有し、其の他に瑪立丁洛社あり。新仔罕に竝んで西勢大溪の北岸に分布したるも、上述の如き情形なるが故に、漢人は先きに土城を都美都美の南東なる今の土圍庄の地に築きたるも、亦寸兵尺鐵を用ふるに至らず。

## □ 四圍以北の耕地の分配と三籍間の紛糾

四圍の全部は哆囉妙婉・新仔罕が鷸蚌の爭ひの爲め、終に民蕃媾和の動機を開き、漢人は全く漁夫の利を得て、當年吳沙が籌畫したる事業も亦此の據に於て終局を告げたり。蓋し吳沙の初心は既に開墾と謂へば、給仔難地方を通じての事業なりしと雖、嘉慶二年に請領せる墾單は一應概括せる區域を西勢大溪以北と局限せられ、其の子光裔も亦此の局限に安んじたるものゝ如し。是に於て既墾の地埔を分配して、吳光裔は立約の如く四圍の地に就き數百甲を擇取し其の他の漳籍全部の得る所は頭圍・二圍・三圍・及四圍を包羅し、新那得罕溪以北を得たり。然るに泉籍は二圍の菜園地を得ること每一人一丈一尺に過ぎず、粤籍に至つては全く未だ分地を得ず。但民壯としての給銀を漳人に仰ぐのみ。蓋し是に於て泉粤共に平かなる能はずして、土蕃も亦漳の專横を見て同情を兩籍に注ぐの傾向を生せり。然り而して先きに吳沙が請領せる墾單は其の大略のみを示し、編號あるも固より地名四至を詳記せる筈なく、則ち蒙混揑造等の紛糾を續發せり。楊廷理の議開節略に曰「惟れ時は三籍和睦し竝に嫌隙なかりしが、嘉慶四年遂に蘇長發の名字を揑して藩憲（布政使司）衙門に赴き給單を呈請す云々」、是れ紛糾情形の內面を露出せるものなり。又姚瑩の噶瑪蘭原始に曰「嘉慶四五年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

間に粤と泉人と鬪ふ。泉人の殺傷せらるゝ重く、將に地を棄てゝ走らんとす、漳人之を慰留し更に分つに柴園の三十九結と奇立丹とを以てし、毎一人に四分三厘なり」云々。是れ紛糾の爆烈したるものなり。此の如き情狀なるを以て、官は蘇長發の呈請は言ふまでもなく、凡そ蛤仔難の墾業に對し頗る注意を下だすに至り、布政使劉栻は臺灣知府に命ずるに、本屬淡水同知に移飭し給墾の可否を查明詳報すべきを以てせり。事情是の如くなりしが故に、吳光裔及墾股等は頗る外部の信認を維持して墾業の公許を得るに力め、同時に內部の破綻を彌縫し統一を表明せざるべからず。乃ち地を分ち泉人を慰留安插したるなり。又是より先き流移愈多く集まりたるに、吳沙の既に死せるを以て之が處置に困めり。因つて結首を設け之を統ぶる首領なかるべからずと爲し、吳化及吳養・劉胎先・蔡添福等は、其の衆を戒約して越墾を停めしめ、內は事端を杜防し、外は墾業の公許を待てり。

## □ 改めて墾を准さゞる地方官の提議

然るに淡水同知李銘心は、蛤仔難の開闢を以て時機未だ到らずと思惟せるにや、卽ち墾業を准さゞる覆詳を爲せり。其の要旨は、蛤仔難遠く淡水三貂の外にあり、淡城を距る五百里とす。殊に該處は深森密箐にして峩巘重疊なり。鳥道紆廻して人跡到る罕れなるに、三十六社生番は其の中に散處し、性は梟獍に同じ、恐らくは稽查し難くして、釁端を滋くするを致さん。准行するを庸ゆる勿れ云々。蓋し蛤仔難の現狀は、今や西勢大溪以北は斧斤入り鋤犂入れり。復た林深箐密の區に非ず。但し李淡廳より、之を見れば五百里の距離は遼遠に過ぎたりと雖、設官開疆は曾て難事と謂ふ可らず。矧や三年前に在りて同知何如蓮は諭札墾單を、吳沙に授け吳化等は既に蛤仔難の一半を開きたるをや、然るに過去草昧時代の情景を擧げて現在を律せんと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するは、迂濶の甚しきものと謂ふべく、且つ土蕃を鳥獸に比し、稽査に困難なるを道ふ、何ぞ知らん其の稽査し難きは遊手無頼に在りて、寧ろ土蕃に非ざることを。然るに李銘心の具稟が臺灣府に到るに先たち、布政使李長森は臺灣道遇昌の移文に由り、同五年二月を以て吳沙の墾業を批准したりしが、沙の旣に物故せるを以て其の事止み、續で臺灣知府吳逢聖が淡水同知の詳覆を呈報し來るに接せり。

### □　其の提議の決定

同六年吳光裔は吳沙の墾業を承繼する爲め、臺灣道衙門に赴き請願せり。是の時に當り柯・何・趙の三名も亦蛤仔難に入り墾業に從事し、生蕃を堵禦する等に協力したりしが、業旣に貲を投ずる距離にして地段も亦成就し、西勢の土蕃を悉皆服從せしめたる情形なるを以て、道臺淸昌は更に淡水同知に命ずるに、實地の利害を分別具詳す可きことを以てせり。

同七年に至り、淡水同知吉壽は臺灣道の命に答ふるに、仍ほ前任李銘心の議に照らし蛤仔難の墾業を准行するを庸ゆる勿からんことを詳請したるを以て、吳光裔等の墾業は竟に認可せられず。然れども其の之を認可せざると同時に官は其の處分をも爲さず、卽ち越入戶口の調査越入者を驅逐するの順序、蛤仔難の封鎖等には敢て議及せざりしなり。故に墾業の途は杜絕したるに、居る者は去らず、來る者は日に多く、加之泉粵人は未だ滿足なる分地を得ず、民壯も亦未だ相當の地埔を酬はれず。是に於て流民等は種々の手段を取り、或は內閣大學士蔡新の族姪蔡必發の名を假り、布政使裘行簡に直接請願する者あり、吳光裔も亦嘉慶二年領給の墾單を以て、本省及臺灣道府各衙門に赴き百方周旋するあり、或は賄遺を用ひ、吏胥の間に彙緣し、或は銀數萬兩を備へて墾地の勘丈陞册及饗應の費に提供せんと聲明するに至れり。是に於て蛤仔難の事態は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

民蕃の關係よりも寧ろ官民の關係と爲れり。

□　均しく准墾を希ふもの、内容の殊別

然り而して均しく准墾を願ふ漢人にして其の目的に三種類あり。一は開墾事業の追認を得れば足れりとするもの、即ち呉光裔等の徒是れなり。二は分配地埔に滿足せざるもの及未だ分配を得ざるもの是れなり。三は新來の漳泉粤人是れなり。夫れ之を准し墾せしめ墾成りて之を禁ず。是れ導いて人民を溝壑に擠するものなり。其の分配地埔の如きは官は素より關知せざらん。唯其の准墾初めの議を變せずんば、彼等墾業を繼行して遂に滿足の地段を得たりしなり。現に民壯の如きは不准墾の爲め呉沙立約の地段を得ず、其の他の股衆股夥にして尚是の類多く、終に新來の三籍人と與に九旗首を組織し、以て西勢大溪を越ゆるに至れり。要之官の姑息の政策は往々機宜を逸せしめ、其の結果民に騎虎の情實を生じ、愈々出て法を守る能はざるに至らしむ。而して官は失機の責を負はず、民は犯法の咎を免れ、惟土蕃が其の犧牲となり苦累を受くるのみ。

□　五圍民壯圍の侵略並に九旗首

同七年流移の民は遂に西勢大溪を渡れり。而して呉姓が總股首を以て全部を統べたる從來の組織は是の時より改められ、漳人呉表・楊牛・林碷・簡東來・林膽・陳一理・陳孟蘭・泉人劉鐘・粤人李先を以て九旗首と稱し、墾民・民壯を合し千八百餘を旗別して之を分轄せり。蓋し從來の組織を改め、民壯及新來の三籍人を主動とせるもの、如し。是れ呉姓以下從來の股衆股夥が概ね田埔を四圍以北に得たるが故なり。而して漳人は新店橋の處及大三鬮仔の渡を渉り、今の員山堡の大三鬮仔及五圍三結街堡の地に入り、泉人は三結街堡を過

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ぎて今の溪洲堡四闔の地に入り、粤人は五間庄の處を渉り、今の民壯圍堡の地に入りたり。

五圍の地は、西及北は西勢大溪を控へ、東は民壯圍、南は溪洲に連り、以て遙に濁水溪を控へたり。蓋し此の地は蛤仔難適中の形勢を占め、土壌も亦肥沃なるを以て、往年已に衆目の注ぐ所と爲りしが、呉光裔が四圍の地に安んじ復た進取の意なきを以て、終に五圍を築くに至らず。是に於て漳人は第三結を以て此の地の西北部を開き、第四結を以て東南部を開きたり。是の地域には土番の部落なかりしも附近より出て抗爭を爲せしが如し。既にして漸次に進みて五結・六結より金結・金包里股・員山等の處を開きたりしが、今の三闔二の地には巴撈屋社あり、三百餘の人口を擁し且つ頗る猛悍なりしも、遂に壓迫せられ、一時内層に逃散せり。是に於て漳人は小溪を渉りて今の深溝庄の地を開けり。

泉人の溪洲堡に向ふや、此の處には賓那瑪拉人口四五百餘、擺立、一二百の兩蕃社ありしも、亦別に抵抗せざりしもの、如く、終に今の四闔一より四闔三に至るの地及渡船頭の地を開き、並に溪洲の一帶に跨りたりと云ふ。

粤人の民壯圍堡に向ふは原と呉沙の立約を履むなり。初め蛤仔難の開墾は民壯の保衛に需つ殊に多し。呉沙の在時曾て地を給して功勞に酬ふの約ありしが、爰に沙の死後に於て始めて民壯を以て墾圍を組織せるものなり。是の方面には撈々社戸數四五十、人口約百五十を有し、新仔羅罕社（戸口不詳）と大溪本支流の間に在り進墾の第一衝に立ち、幾立板社・蘇里目罕社・共に戸數大約四五十、人口百六七十にして第五六結の東南に居り、都美鶴社・戸數百五十、人口五百を有し第二三四結の區域に接近せり。時に該堡は民壯の開闢する所たるを以て、破竹の勢に乘せられ、最初新仔羅罕が多少の抵抗を爲せるも其の目的を遂せず。尋で巴撈屋社の抗爭あり、二結の地に激戰ありしも亦漢人の擊攘する所と爲りたりと云ふ。當時此の方面は墾圍を九結に分ち、林明盞・林大添・林彪等之が結首と爲り、就中林明盞は壯三結土城に據り、林彪は彪仔城を壯二結に築き、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の他各自に根據を定め、遂に第一結より第九結に至る地段を開闢せり。然り而して堡名は實に民壯の開闢せるに由つて起り、其の庄名は結首の區域に取り、壯一結、壯二結等の稱を立てたりと云ふ（因みに曰ふ壯四以下の庄名は噶瑪蘭開治の時未だ之あらず蓋し聚落ありて未だ庄名を立てざるに因るか抑も亦成墾を報せず未だ陞科せざるに因るのみ書して考證に資す）

## □ 彰化流番の蛤仔難遷徙並に漢人の術計

五圍及民壯圍の土着番は上文の如く著るしき抵抗を爲さず、漢人をして任意の行動を取らしめたるも、爰に同九年に於て彰化流蕃越入の事あり。彰化流蕃は已に熟蕃の地位に在り、化馴啓發倶に蛤仔難蕃の上に居り、又最勇にして戰に習ひ、漢人の一大勍敵たるなり。噶瑪蘭原始に曰、九年に彰化の社蕃首潘賢文・大乳汗・毛格なるものあり、法を犯し捕を懼れ（因に曰く岸裏蕃の口碑によれは由來該蕃族は頭汴坑竹仔坑一帶の山林に狩獵するを常とす偶大土目敦仔（六品頂戴）の孫潘明慈（北路屯千總）の弟三子郡乃（時に北路屯外委たり）も亦往く一日路に勢家林棠の子か前日生蕃に殺害せられ郷庄及軍工匠等を隨帶して生蕃を捜索するに過ひ卽ち郡乃か蕃を引結して兇行せしめたりと爲し銃を以て郡乃等を傷けたり因て之を官に訴へしも林は富豪の力を以て官を籠絡し其の罪を理せさらしめしか故に岸裏は擺西坪に退去し壯蕃は兵器を用ひ漢奸を掃ひ林の家を攻擊せり所謂法を犯す云々とは是れなり其の他漢人の侵略は屯務の補給地にまて及ひ屯蕃堪ゆる能はす一部は埔裏に遷徙し一部は東勢角に竄入し而して一部は蛤仔難に轉移を企つるに至りし也）岸裏・阿里史・阿東・東螺・北投・大甲・呑霄・馬賽・諸社番（馬賽の事實未だ詳ならす大甲呑霄は蓋し苦累の餘に出る遷徙なり）千餘人を合し內山を越え（因に曰ふ熟蕃は東勢角山中より苗栗內山を度り南庄溪を涉り斗換坪に入り淡水廳城の東廂なる連山を經て金門厝溪の上游磧上に露宿し二日を經て楊梅壢より內山に入る）逃れて五圍に至り、地を爭はんとす云々。時に三籍人が僅に五圍の地に安頓するとき、阿里史蕃等は樂土を此に求むるなり。卽ち法を犯し捕を懼る、よりは寧ろ壓迫に因り大遷徙を行ふものなり。是に於て漢人と此の地を爭はんと欲す。漢人以爲らく彼れは衆にして強く而も鳥銃多し、戰を爲すは利に非す。彼は粮を缺けり之が粟を助けて其の衆を散らすに若かずと。乃ち陽りて與に和し、諸社蕃を各庄に分置し寄食せしむ。流蕃喜ひ親しみ、荏苒として日を積み、復後日を慮らす。漢人乃ち責むるに食費を以てし、鳥銃を抵償とす。鳥銃殆と盡きて勢力頓に衰ふ。乃ち悔悟するも復及

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふなし。是に於て熟蕃も亦漢人に由て死命を制せられ。悄々として濁水溪を渉り羅東に入り、土蕃の曠地に耕鋤を試るものあり。

### □流蕃の溪南遷徙、漳籍の勢力

上文の如く蛤仔難は土蕃となり流蕃となり、悉く漢民族の勢力に制壓せられ、濁水溪以北は敢て官の威力を借らず、彼れが股首政略により以て拓殖平和を保つの狀態に在り。蓋し是れ山前の未だ曾て之れあらざる所なり。然れども斯かる歷史の起るは、官に因循失機の處置あるが爲めにして、彼等は寧ろ已むを得ざるに出づ。則ち諸弊の生ずる亦謂はれなしとせざるなり。是より先き粵籍は風氣を異にするに因り常に漳籍と介隔あり、其の得る所は勞と相償はず、泉籍は漳に依るも亦其の所得に滿足せず。漳籍獨り其の處所を占めたりしが尋で粵人は冒功（蓋し蕃地佔奪に關する戰功の紛議を謂ふ）借穀等の爲め漳人と爭ひ、逐はれて羅東に入り、蕃社に依附するに至りしと云ふ。是の如き情形なるが故に、獨水溪以北の蕃族の如きも、亦其の境遇狀態を推知するに足るなり。

### □他に例あらざる化外地方の情態

蛤仔難流民に對する官の因循失機は、上文の如く股首政略的自治と爲り、無政府無法律の上より諸般の弊端を續生せしめたるも、其の民は猶未だ山前各地の如く跳梁濫溢するに至らず、且つ能く順逆を辨せり。蓋し吳沙が三貂に在りし時より、事實は往々官の疑慮する所に反し、常に法治の下に己れの事業を成就せしめんと欲するにありしが故に、今や幾多の弊端を生ずるまでも、彼等は猶法を守り官を重んずることを忘れず。土蕃も亦不知不識の間に之が感化を受くる少なからず。是れ殆と他に例あらざる化外地方の情態にして、其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の蔡牽の寇亂に處したる行爲の如きは最傳ふるに足るものとす。

□ 蔡牽の亂に對する土番の出力

蔡牽の擾は嘉慶十一年に在り。是の歳春蛤仔難を取らしとし烏石港に到る。當時橋枋附近の土番は或は寇の爲めに給水の勞を執るものあり。彼は無心に出で何等挾持あるに非さるも、蔡牽にして一たび岸に登らば流寓漢人とは直接利害の衝突を見る可し、何となれば則ち蔡牽も亦蛤仔難に拓殖を圖るものなればなり。是に於て陳奠邦吳化等は遮瑪嫣・哆囉妙婉等の社番を糾集して拒ぎて之を退けたり（外寇の項下に詳なり） 蓋し蔡牽は巨寇なり。陳吳が先づ是の地を佔墾する微かりせば。是の地は永く法を壞り官に抗するもの丶巣窟に歸し、全臺の安寧を妨ぐる尠なからざるに至りしならん。乃ち當道を勞する豈蛤仔難開闢の比ならんや。是に於て流民は官の爲めに地を守るの功あり。官は疆を開くに因循失機の責あり、開疆の必要は愈丶顯然たるを以て、將軍賽沖阿は特に奏するに蔡逆が蛤仔難を窺伺するの情形を以てし、以て之が備防を爲さんことを請ひ、同時に陳奠邦及漢民等も亦數年來墾業上に受けたる不信認回復の機會を得たるもの丶如く、而して土番の從順にして殆と釁端を生ずるの虞なきことも亦爰に察知せられしは言を待たず。乃ち專ら外寇の變に備ふ可き議あるに至れり。

□ 漳泉分類の爭亂に受けたる諸番の苦累

然れども漢民族内面の事情は舊に依て粉糾絕えず。之が爲め亦毎に累を蕃族に及ぼすを免かれず。是の歳復分類の擾あり。土蕃流蕃齊しく起て漳人に抗せり。初め分類の事端は彰化縣に發し、淡水地方に傳播し、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

終に此の地に波及せるものにして、原と漳人と泉人との爭鬪なりしが、由來此の地は漳人最多く、往々勢力を逞ふするを以て、異籍異族皆之を嫉視するの情あり。是に於て粤人卽ち泉人を助くるや、羅東の流蕃又之を援ひ、各地の土蕃又之を援へり。然れども尚衆寡懸絶の勢あり。漳人の破る所と爲り、和を講ずるに及んで泉粤兩籍は其の退讓的條件として、溪北に有する土地を擧げて漳籍に賣致し、粤籍の如きは全く其の業を失ひたりと云ふ。蛤仔難節略の所謂「泉粤二籍は均しく漳籍が衆を恃み强悍なるを畏れ、前に分てる溪北埔地を將て悉く頂買を行ひ、泉は大三闔渡船頭のみを餘し、粤は則ち餘りなし、維れ時泉粤の田埔の漳に佔踞せらるゝもの亦少なからざるを聞くも、但た並に確據なし」云々是れなり。亦以て漳人當時の勢焔を見るべく、且つ漢人すら此の如くなるを以て、土蕃の侵淩を受けしことは蓋し想像の外にあらん。殊に彰化等流番の如きは、嘉慶九年及十年間に於て已に其の壓逼欺淩に堪へず、漸次に南遷を始めたりしが、今や其の漳人に敵するの故を以て、復漢人の聚落に居る可らず。乃ち衆を悉くして濁水溪を渡るに至れり。

□ 阿東、阿里史等熟蕃の羅東分布

而して阿東・阿里史・岸裏・北投・東螺・大甲・呑霄等の諸蕃が濁水溪を渡るや、漳化流蕃は羅東の荒埔に據りて之を開墾し、淡水流蕃は馬賽一帶の瘠土に遷移せり。是の時に當り、東勢卽ち溪南の土着蕃は、達魯安・穆罕穆罕・瑪拉胡媽・瑪魯烟・丁魯哩幹・里腦・幾穆撈・里德簡・巴嚕新那完・嘎里阿完・高口・沙豁沙豁・芭撈屋・外阿外・達拉糜・留々等にして猶草昧の時代に在り。林莽藪澤を以て平原を掩埋し、恰も呉沙が西勢に入るの時に異ならず。其の濁水溪畔の一例を擧げんに、楊廷理の紀事に曰「予は進んで五圍に駐し、復溪洲に至り前進すれば、則ち蘆葦叢生し、堅狀竹の如し、溪水汎溢して道路は泥濘なり。脚を下たす毎に幾んど腰を沒す」云々。是に於て阿東社の土目潘賢文及阿里史社の土目毛格之が首と爲り、其の近地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を開拓せしが、土南は直に服從し、復た西勢の吳沙に於けるが如くならず。蓋し彰化流蕃は蛤仔難土蕃に比し開發進化幾籌を加へたるを以て、恰も漢人が西勢土蕃に於けるが如く、流蕃は能く羅東一帶を開闢せるものにして、而も同一平埔蕃族の關係あるが故に、凌虐を加ふることなく、又抵抗を爲さゞりしが如し。阿東諸社已に東勢に割據し、潘賢文之が長と爲り、土着蕃亦其の勢力を認め、隱然として濁水溪以北の漢人と對立の形勢と成れり。故に東槎紀略に曰「是より先き漳人盡く西勢の地を有するを得て、柯有成・何繪・陳奠邦・賴岳・吳化・吳光裔六人は之が董事と爲り、而して東勢の强は獨り蕃社の潘賢文あり、羅東に駐せり云々。是の如く割據の勢を成し、不測の機を藏するに關はらず、尋で民蕃は復た蔡牽を掃攘したる以上の功績を立てたり。乃ち海寇朱濆の掃攘是れなり。

### □ 朱濆の亂に對する潘賢文以下熟蕃の出力

同十二年、時に東勢の地方は潘賢文が各社を統べ羅東に割據せるより、土蕃各社も亦之を推し、平和の間に漸次開闢に着手したりしが、秋に及んで海寇朱濆なるもの農具を滿載し、艅を連ねて蘇澳に泊す。其の意は將に潘賢文を籠蓋して以て拓殖を東勢に圖らんとするにあり。西勢の陳奠邦等急を臺灣府に告げ官軍の出動を請ふ。未た至らず、朱濆は物を以て諸蕃の歡心を結ぶ。漳人李祐なるもの之に應じ陰に黨を結べり。既にして潘賢文は知府楊廷理の諭を奉じ、社蕃を率ゐて木柵を海口に設け、兵械を把りて沿岸を巡邏し、或は寇影を捕獲し、或は寇に通ずるものを監視して、自ら逞ふする能はざらしむ等出力頗る多し。尋で官軍の舟師と夾み攻めて之を外洋に掃攘せり。是の役や寇は前年の蔡牽に鑒みる所あり、東勢の未開を利用し、蕃を引き已れの助けと爲さんとす。而も潘賢文が方向を誤まらざるに因て、知府楊廷理の行動を容易ならしめ、蛤仔難再び全きことを得たり。而して臺官が蛤仔難に入りしは實に是の時を以て初めとす。(外寇項下參看)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 厦門に於けるセメントの概況

殖産局商工課

當地方の支那人は從來土木建築には主として石灰を用ひ居たる爲めセメントの需要甚だ少く、大正三年頃迄は香港・海防・廣東等の各地に於て製造せらるゝもの及び我が小野田セメントが少量に輸入せられ居たり。然るに大正四年我が淺野セメントが臺北に支店を設け高雄に分工場を設置し、當地方面一帶に渉りて地盤を獲得せんとし、活躍大いに努るに及びて小野田は漸次輸入の跡を絶つに到れり。然れども右は決して小野田品は淺野品に劣るの故にあらずして輸送上の便否に基く自然的結果に外ならざるなり。

以上の如く淺野は一時頗る優勢に赴きしが、偶々日支交渉に依る排日貨運動起り、又歐洲大戰後内地セメント界頗る好況を呈せし爲め淺野も亦狹小なる當地方の市場に重きを置かず、次で山東問題に因る排日貨運動等の影響あり、數年に渉り多大の犠牲を拂ひたる根底も亦遂に空ふするに到りしが、之れに交はりしものは卽ち厝標にして、象標馬標等も亦漸次侵入し來りしが、淺野は再び當地方に活動を開始し、大正十年及十一年に於ては若干の成績を收めたりと雖、同十二年に到り猛烈なる排日貨運動起り、加ふるに銀價下落等の影響に因り淺野の地盤は殆んど覆へさるゝに到れり。

轉じて需要狀況を見るに、支那人は前記の如く從來多く石灰を使用し居たるも、暴風雨及び地震等に依る各地の實驗に鑒み、セメントの眞價を詳かにするに及んで、近來は少くとも大建築又は市區改正等に依る道

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

路修築の如き悉くセメントを使用し居れり。而して其の品質に付淺野は牌標に比し粗惡なる爲、乾燥の度合遲く、從て作業能力にも影響ありと傳ふる者あるも右は全然事實にあらず。淺野は物理的性狀及び化學的成分に於て牌標に比し決して遜色なく、粉末の細度、凝結時間、耐伸強、耐壓強等の重要諸性狀は何れもセメント試驗法の規定以上に優良にして、荷造りの點より見るも亦決して不備なし。然るにも拘はらず叙上の惡評を聞くに到りし所以のものは、先年當地市政局に於て市區改正を實施し土木請負人に修築を請負はしめたる際、淺野品は粗惡なりと稱し牌標セメント使用を條件として高價に請負ひ置き、實際に於ては極めて少量の牌標を以て外見を糊塗し、大部分淺野を使用し不正の利を圖りたる事實あり。又當地方にては從來より牌標の使用に馴れ、而して支那人の通弊として何品に限らず品質の如何に拘はらず他品を厭ふの風あり。本邦品に對し殊に然るの傾きあるに依り。即ち前記の如き惡評を聞けりと雖、既に實質上遜色なき以上前途決して悲觀すべからず。

當市場に於けるセメントの概況左の如し

一　需要量　支那稅關調査輸入高は左の如し

| 大正九年 | | 大正十年 | | 大正十一年 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 數量 | 價格 | 數量 | 價格 | 數量 | 價格 |
| 二九、六五一擔 | 三〇六、一一七兩 | 四二、二一九擔 | 九八、七〇八兩 | 八四、〇九八擔 | 九七、七一五兩 |

尙は大正十二年自一月至九月分は「三三、五四六擔」なり

二　市場に散在せるもの〻品名

| | | |
|---|---|---|
| 牌標 Green Island Cement Factory | 三百十斤入木樽 | 象標不詳　三百十斤入木樽 |
| 馬標 Chee Hsin Cement Co. | 三百斤入鐵樽 | |

**三　輸入徑路其の他**　唐標は香港より、馬標は上海より、象標は新嘉坡より、當地ドグラス・峯豐・和濟・合益等の手に依り移輸入せられ、小賣業者に分給せらる。而してドグラスは賣懸期間を一箇月と定め居るも、其の他は特種の取引慣習又は一定の期間なく、大概相互協定に依る。輸入者側の口錢は目下左の如しとのことなり。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ドグラス商會 | (英) | 唐標一手取扱 | 一樽口錢約五十仙 | | |
| 峯豐號 | (支) | 馬標一手取扱 | 目下利益なし | | |
| 和濟號 | (支) | 象標一手取扱 | 一樽口錢約四十仙 | | |
| 合益號 | (同) | 唐標取扱 | 同　約十仙 | | |

**四　主要需要先及び用途**　厦門並鼓浪嶼(共同租界)に於て消費せらるゝもの最も多く、泉州漳州同安等之に次ぐ。其の用途は略ぼ左の如し。

| | |
|---|---|
| 唐標 | 道路橋梁家屋等に使せられ全需要量の約六割を占む |
| 馬標 | 家屋建築に使用せられ全需要量の約三割を占む |
| 象標 | 家屋裝飾に使用せられ全需要量の約一割を占む |

**五　市況相場及び聲價**　目下在荷潤澤にして加ふるに年末以來諸工事休止し需要激減の爲め市況極めて振はず。當地倉庫渡相場左の如し。

| | | |
|---|---|---|
| 唐標 | (香港品) | 一樽大銀八弗五十仙見當 |
| 馬標 | (天津品) | 一樽大銀六弗二十仙見當 |
| 象標 | (新嘉坡品) | 一樽大銀七弗見當 |

右の內唐標最も聲價高く、其の餘の馬標・象標等は單に格安なる爲め賣行きあるのみなるを以て、若し本邦品を賣込まんとせば、差當り少くとも唐標より稍割安ならざれば侵入恐らく困難ならん。(厦門領事館報告)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

# 臺灣の經濟概況

（附、南支那南洋の）

臺灣銀行第四十九回株主總會に於ける中川頭取の演說は本島經濟概況を說明するに足るを以て其の要旨を左に揭く（編者）

國際經濟界は尙未だ好況轉換の曙光を認むるに至らず本邦財界亦一段不況の裡に下半季に入り偶々九月一日の大震災は未曾有の損害を來し內外を震駭せしめたり政府は直に支拂猶豫令を發布し十月一日其撤廢せらるゝや一億圓補償を發表し日本銀行をして災前取扱の手形を割引せしむる等臨機の處置を施したるため大なる波瀾無くして經過することを得たり

當期對外貿易は上半期入超の後を承け七、八月には漸く轉換の氣運に向はんとしたるも非常災厄の爲め形勢一變し生糸、綿糸、絹織物等の輸出は激減し復興物資の輸入を求むるの必要を見るに至り且輸入原棉高價等の事情あり朝鮮、臺灣を除きて輸出七億三千三百五萬八千圓輸入八億七千五百九十五萬七千圓入超一億四千二百九十萬圓に上り之を前年同期に比すれば輸出に於て一億六千八百四十五萬圓を減じ輸入に於て九千百三十五萬三千圓を增加せり同年を通じて入超は五億三千六百九十四萬八千圓の巨額に達し貿易外の受入超過は僅に一億七千萬圓を算したり內地金融界は期初名古屋地方に於て一二小銀行取付ありたるも大體に於て平穩に推移し災後は各銀行警戒の態度を持し短期資金は稍潤澤なりしも長期資金の移動殆んど行はれず信用取引の回復は遲々として諸決濟多くは現金を以てするに至れり歲末に近き各銀行は準備を豐富にし日本銀行亦貸出を緩和したるを以て年末兌換券發行高及貸出高は甚敷膨脹を見るに至れり

臺灣に於ける貿易は重要物產の增產に伴ひ逐年輸移出增加の傾向あり昨年中の貿易總額は三億八百七十二萬四千餘圓にして內輸移出額一億九千八百五十九萬四千餘圓輸移入額一億一千十二萬九千餘圓を算し輸移出超過額八千八百四十六萬五千餘圓に達したり之を前年に比すれば輸移出に於て四千七十三萬圓の增加輸移入に於て八百九十六萬六千圓の減少なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其主なる原因は砂糖、米、芭蕉實、酒精、樟腦油、木材等の內地移出增加と一般事業界不況の爲めに米小麥粉、酒及諸建築材料等の移入減少に依る更に本島重要物產消長を見るに左の如し

砂糖　大正十二、三年期の作付面積は十一萬六千九百餘甲にして產額豫想は分蜜糖六百三十萬八千擔赤糖十六萬擔合計六百四十六萬九千擔なり十一、二年期に比すれば作付に於て二千二百餘甲產額に於て五十四萬八千擔の增加にして當期輸移出高は前年に比して數量三十二萬擔金額二千六百八十二萬圓を增加せり米　第一期作は植付二十三萬千六百甲產額二百六十萬石にして前年同期に比すれば十三萬五千石の減少なるも最近五箇年間の平均に比すれば十一萬二千石の增收なり、二期作豫想は二百四十三萬石にして前年同期に比すれば多少の減收なり然れ共輸移出は震災に依る內地移出增加等の爲め二千三百七十餘萬圓に上りて前年に比し九百六十七萬圓餘の增加を見たり

茶　前年以來恢復の機運に向ひ本年に入りて引續き好況を呈し烏龍茶輸出額は九百七十七萬斤五百十六萬圓前年に比して八十萬八千斤二十九萬三千圓の增加となり包種茶は六百七萬七千斤四百六十八萬三千圓前年に比して十六萬二千斤四萬四千圓を增加せり

樟腦及樟腦油　輸移出は漸次增加し前者は三百二十萬九千斤後者は五百四十九萬斤價格併せて八百五十一萬九千圓にして前年より若干の增加なりとす

芭蕉實　近來本島物產として砂糖、米に亞きて重要の位置を占め輸送の改善販路の開拓と相待つて益發達せんとしつゝあり昨年は內地震災により一時價格暴落し移出も阻害せらるゝに至りしも輸移出一億二千五百五十萬斤八百二十九萬五千圓に達し前年に比して二千七百四十七萬斤百四十一萬三千圓を增加したり

石炭　上半期の出炭量七十一萬五千噸下半期七十五萬噸と推算せられ前年に比して十一萬噸の增加なり輸出は廣東、香港地方の需要漸次增加して四十八萬四千噸五百六十九萬五千圓に達し移出は粉炭の聲價漸く加はり逐年增加の傾向にありしも震災後一時船腹の不足と炭界の動搖によりて前年より七千七百噸を減じ十八萬一千噸百八十四萬一千圓となれり

酒精　砂糖の增產に伴ひて其原料たる糖蜜の增產となり其生產高又逐年增加し昨年の造石高は前年に比

し一萬六千石を増加して十萬五千七百石に達したり移出は六萬八千七百石三百萬五千圓輸出三萬三千二百石百三十萬圓餘にして何れも前年に比し若干増加せり

企業界　尙未だ整理時代に屬し昨年中の新設會社百九資本額二千十餘萬圓増資會社四金額一千六百二十七萬圓に上りたれ共其一二を除けば個人事業の組織變更に由るものにして特に臺灣電力株式會社の工事は一時其中止を見るに至り嘉南大圳の事業も亦繰延べを餘儀なくするに至れるは遺憾の至りなり要之本島經濟界は重要物產は比較的好況を呈し多少震災の影響を受けたるに拘はらず輸移出は増加したるを以て當行銀行券平均發行高の如きも三千三百六十五萬六千圓を算し前年に比して六十七萬九千餘圓の増加を示したるも一般事業界は前年來の痍瘡尙癒えず信用亦充分の恢復を見るに至らず當行重要物產放資累計は前年に比し約八千七百萬圓を減じて二億五千三百六十二萬圓となり主要市場に於ける手形交換高は前年に比し七萬一千枚二千六百九十萬圓を減じて五十五萬五千枚一億九千八十萬圓を示せり

中華民國に於ては十月曹錕氏大總統に當選し新憲法發布せられ列國も曹錕の大總統たることを承認するに至り張作霖孫文等直隷派に反抗したるも民心亂に飽きて野黨亦討伐軍を組織するの實力無き爲め時局は僅に小康を保ち只西南諸省に於て爭亂を繼續したるのみ中央政府の財政の依然として窮迫彌縫に寧日なく關稅は華盛頓會議の規約に基きて現實五分に引上げられ列國の承認を得て一月十七日以來實施せられたるが年末迄の收納額は六千三百三十四萬四千海關兩にして前年に比して四百七十四萬四千海關兩の増加なり日貨排斥は前期より引續きて容易に緩和せられず我朝野の支那各方面に對する排日鎭定の交涉も其效果を奏せざりしに偶々九月一日の大災に及びて民國國民の同情は翕然として善隣の好意を發露し排日運動は漸次衰退するに至れり民國に對する昨年中の輸出は三億八千七百萬圓輸入は三億四千九百萬圓にして輸出入總計七億三千六百萬圓出超三千八百萬圓(香港關東洲を含む)なり之を前年同期に比すれば總計に於て五千二百萬圓出超に於て一億一千五百萬圓の減少なりとす就中綿糸及綿織物の輸出減少せるも特に著し

更に南洋及印度方面を見るに印度の對外貿易は數年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來の逆調より漸く順調に入り本邦は英國に亞き第二位を占むるに至れり昨年中本邦の對印貿易は輸出額九千九百萬圓輸入額三億五百萬圓にして之を前年に比すれば總計に於て五千三百萬圓入超額に於て四千九百萬圓を増加せり其主要なる原因は輸入棉花相場の昂騰にありとす

對南洋貿易に於ては輸出七千六百萬圓輸入一億一千二百萬圓にして前年に比し輸出入總計に於て三百萬圓を減少し入超に於て一千七百萬圓を増加したり綿織物の輸出減少せると護謨の輸入増加せるとは其主たる原因なり尙南洋に於ける邦人糖商の活躍は國際貸借關係上注目すべき現象なり

國際爲替に就き述ぶれば前期より急落歩調に在りたる英米爲替は英蘭銀行金利引上に因り七月十四日四弗六十仙八分の五に恢復したるも歐洲政情不安英國一部勞働者罷業米國對歐輸出増加等のため遂に十一月十七日四弗二十八仙に下りて本年中の最安値を出し期末四弗三十二仙八分の三を以て結べり日英爲替は英米爲替變動に伴ひ七月中旬二志一片八分の三を最低とし以後漸騰して十一月中旬遂に二志三片に達したるも再び下落して二志一片二分の一を以て越期せり

日米爲替は生糸の輸出増加と在外正貨拂下に因り期初以來四十九弗見當なりしか九月一日大災の影響を受けて生糸の輸出頓挫を招來せる上復興物資輸入を控て各爲替銀行とも在外資金の減少を見越し極力信用狀の發行制限を行ひたるに拘はらず入超決濟資金は相應巨額に上り市場には米貨の賣手殆んど無く期末迄に四十六弗に暴落せり

日印爲替は八月中旬の百六十一留比半を最高とし以後米棉高につれて印度農産物輸出旺盛に向ひたる爲め漸落し期末百四十八留比となれり

日瓜爲替は期初百二十八盾内外を上下せしが九月本邦貿易逆調日米爲替軟弱の結果百二十六盾四分の三迄下落し其後英米爲替崩落砂糖爲替不振の爲め十一月中旬には百三十三盾四分の一迄昂騰したるが再順次低下して百三十盾以下となれり

銀塊相場は印度支那筋の需給及仕手關係によりて一高一低し期初以來三十一片内外を維持したるも英米爲替續落に伴ひて漸騰し期末には三十三片十六分の十一に達せり從つて對支爲替は下落の傾向を辿れり

如此財界沈滯に初まり大災厄の應急善後を以て終れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る當期に於て本行各般の業務は支障を受けず業務の刷新其緒に就き相當の成績を擧げ無事當期を經過するを得たり臺灣に於ては事業の整理及商業金融の圓滑に努め内地にありては鋭意輸出手形の買取りを行ひ輸入信用狀の發行は實際必需品の範圍に限局し國民消費の節度を計ることを努めたり支那南洋印度に於ては貸出の整理をなすと共に健全なる事業の援助を怠らず本邦商權の維持に注意したり

震災地域に於て本行行員中一人の犠牲者を出さゞりしのみならず物質上の損失も亦輕微にして特に取引先中甚大の損失を蒙むるものなかりしことは誠に僥倖の次第なり横濱出張所は不幸燒失したるも其整理成り九月二十五日より營業を開始するに至れり

門司九江兩店は業務を縮少し來りしが此際を期し閉鎖のことゝせり尚之に關する定款變更の手續は他日決議を願ふことゝなすべし

理事江崎眞澄、久宗董、首藤正壽三氏監査役下坂藤太郎佐田家年二氏共に任期滿了に付後任選擧を提案せり適任者の選擧を請ふ

大正十二年版
臺灣事情
發賣所
新高堂

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 詞苑

## 溪畔　小松孤松

芳草錦堤碧。春江澄石波。漁翁魚未
獲。輸我釣詩多。

## 即興

東風嫋々水參差。啼鳥聲中夕照移。
煙外蒲帆堪入畫。綠楊橋畔立多時。

## 晴郊

蝶舞鶯歌各自春。晴郊正及踏青辰。
裙履半是濃於草。鬢影衣香俊殺人。

## 偶占

卸綿坐對好風薰。半析簾波暮色分。
穠李天桃歸一夢。只餘新樹碧於雲。

## 即興

隱々鎮南山寺鐘。聲々敲出月昇松。
依稀餘韻風相似。搖動疎籬碧一重。

## 曉起口占

蕭齋宜早起。況復晚秋天。竹影遮殘
月。禽聲隔薄烟。磁瓶拗菊插。石臼
碾茶煎。坐對東方白。晴雲出岫巔。

## 新春試毫疊前韻

椒酒三杯碎味新。了鬟更備錦波春。
試毫漫作擘窠字。笑置明時一老民。

## 即目

嫩日微風眼界新。一天暖色滿街春。
須將爆竹擬爭戰。縫柳穿梅小國民。

## 其二

雪兒勸酒靚粧新。舞汗歌塵倚席春。
酣醉陶々聊坦腹。先生且作葛懷民。

## 曉山雲　月仙石橋亭

巘々雪白正東峰。靄々雲飛對九重。
春度銀姿玉容上。金冠紫帶巳朝宗。

## 元日書懷

年々歲々祝春迴。未見高堂孫愛梅。
河幸今朝有花信。六男三女刺連來。

## 雨窓獨坐　小松孤松

閑來獨坐讀書窓。香篆影中幽思通。
如此春寒風却軟。碧蕉修竹雨瀟々。

## 春夜雷雨

夜半驚眠啓蟄雷。詩情且向枕頭催。
書膓復入華胥境。乍被晨鷄啼破來。

## 寄在京友人

居避紅塵一畝寬。栽花種菜砌邊看。
近來多雨難開卷。吟思虛窓伴竹寒。

## 集杜句贈危道豐將軍並寄林上尉指正　魏潤菴

漢節梅花外。孤槎自客星。江山如有
待。漁父忌偏醒。何處異風俗。斯人
尚典型。湖南清絕地。錦樹曉來青。

## 甲子春游燕錄舊作呈石崖詞兄　危道豐

十年襟上點征塵。撲々都如不繫身。
萬里長途遊子夢。廿番花信故園春。
詩書怍與鄉音異。骨肉無如族僕親。
夜部燈殘盞照處。縱無別恨也傷神。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

長沼梅仙

何事有兒還有孫。古稀淸健養神魂。
新春客若詢吾志。保壽百年酬國恩。

新年言志　　曾川 高島 愿

又是東風逐斗囘。南窓先發一枝梅。
地經大震洪水困、節入新年淑氣催。
去歲懸冠退城北。今春求益問賢才。
任他兩鬢加霜雪。六十壯心猶未灰。

宿霧社　　猪口鳳庵

杖頭叉手靜中凭。星斗可摩雲可乘。
丁東度澗溪谿鼓。明滅出林蕃屋燈。
千仞高寒天寥廓。初更薄醉首峻嶒。
濁水滔々成自北。獨立超然與欲騰。

二月初八夜暴雨雷電枕上得此

春雷驅雨似盆傾。四壁如搖夢乍驚。
尋思被催蓬勃勃。笑和啓蟄起龍聲。

北投八勝園記　　尾崎古邨

北投八勝園。一稱六十四勝樓。何謂八勝。溫泉淸淨。眺望佳絕。晴好雨奇。春宜于花。夏宜于風。秋宜于月。冬宜于雪。是因所以命其園也。而女主人名阿勝。頗勝于愛嬌。遊人接踵。勝友如雲。勝會屢催。北臺林泉之勝事。畢鍾于此。豈惟八勝。卽稱六十四勝樓。亦當無不可也。是爲記。

北投八勝園徵詩分題得溫泉　　小松孤松

溫泉引入畫樓中。療病勝他仙藥功。
獨不當檻山色好。添得八勝壓新豐。

得眺望　　尾崎古邨

百尺高臺四望通。溫泉浴罷倚珠欄。
眼前忽現華嚴界。觀世音山屹半空。

得晴好　　猪口鳳庵

水色山光晝不眞。四時烟景繞樓新。
溫泉豈只療沈痾。夕紫朝霞也健人。

得雨奇　　鷹取岳陽

只此幽軒竹可聽。雨聲々裡樹冥々。
半峰雲外新如洗。看慣靑山特地靑。

得花　　魏潤庵

濃々春愁海樣深。故交厚綠少知音。
畫拈案上圖書貢。來就花前取次斟。

得凉　　陳心南

眼前麥酒時非惡。市內炎埃客所愁。
愛此山園有八勝。就中最勝夏如秋。

得月　　劉篁村

玉鏡磨成恰好秋。十分澄澈襯金甌。
却奇八勝園中月。只照人歡不照愁。

得雪　　張純甫

屯山朝來雪滿山。最宜欹枕擁爐看。
北投此際游人少。好讓吾曹過歲寒。

和小松孤松先生溫泉瑤韻　　鷹取岳陽

畫樓築在嶽雲中。欲向驪山爭舊功。
更有佳人能醉客。不須獨酌說新豐。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 臺灣日誌

## 一　月

▼二十一日

□殖産局主催水産協議會開催せらる

□臺灣正米市場第一回總會は臺灣米穀移出商同業組合臨時總會と共に江山樓に開かる

▼二十二日

□新竹州林務打合會開會

□軍艦大井は皇太子殿下御成婚奉祝の爲め馬公より來りて基隆に入港す

▼二十五日

□新竹州主催林業講演會を新竹公會堂に開く

▼二十六日

□臺北市主催皇太子殿下御成婚祝賀式を新公園に擧行し在臺北官民七千餘名參集す

## 二　月

▼一日

□臺灣教育會主催芝山巖遭難學務官僚六氏並亡教育者百九十五氏の靈を祭り併せて既往一年間殉職者十七名合祠の典を擧ぐ

□水産協會基隆支部優勝旗授與式を擧行す

▼二日

□臺灣俱樂部臨時總會に於て内田總督、賀來長官小林秘書官を招宴す

▼三日

□臺北市教育研究會主催、修身訓練に關する公學部研究發表會を太平公學校に開く

▼四日

□臺北第一守備隊幹部演習を臺南市附近に擧行し軍司令官親閲す

▼七日

□全島檢察官長及上席檢察官會議を高等法院に開く

□警官練習所第百二十七期巡査練習生修業式擧行

□嘉義郡民雄庄蔬菜品評會褒賞授與式擧行

□臺南州下一體に亙りて豪雨あり農作上の危惧を一掃す

▼八日

□大甲郡主催蔬菜品評會を臺中公會堂に開く

□臺中州豐原郡蔬菜品評會開催

▼九日

□屏東郡下街庄主催水稻品評會開催

□新竹州下郡視學打合會開會

□七星郡教育研究會、同聯合同風會主催國語演習會を松山公學校に開く

□皇太子殿下御成婚に付、畏き邊りより臺灣開拓者としての鄭成功に對し祭資料金一封を御下賜あらせらる

▼十日

□臺北市外四郡聯合蔬菜養鷄品評會褒賞授與式を市内壽小學校に擧行す

□臺南市及新豐郡聯合第二回蔬菜品評會褒賞授與式擧行

▼十一日

□總督府に於て紀元節拜賀式を行ふ

□皇太子殿下御成婚に付畏き邊りより臺灣兒童奬學資として金六萬圓御下賜御相成りたるを以て總督より諭告を發す

□同上臺灣に於ける社會事業御奬勵の思召を以て二十三團體に御下賜金御成りたり

□總督府に於ては社會改善又は社會教化事業に盡瘁せる全島十九團體に對し事業助成として金百十圓宛下付す

□臺灣教育會主催、内田總督創意全島小公學校兒童作文優良入選のものを發表す

□臺北州に於て州下篤農家三十四名の功勞を稱ふ

▼十二日

□臺北辯護士會「公證人及執達吏制度を内地同樣にするを建議する件」を可決し實行委員を選擧す

□吉田長官代理は總督主催佐藤中將送別會を

官邸に催はす
▼十五日
□臺南開山神社祭典執行
▼十七日
□臺灣神社に於て祈年祭執行
▼十八日
□福建督理參謀長危道豐氏林副官を伴ひ總督府を訪問して敬意を表す
▼十九日
□豐原郡上南坑に於ける新嘗祭獻穀田々植祭執行
▼二十日
□危道豐中將主賓總督官邸晩餐會開催
□內田總督帝國ホテルに在京臺灣關係者其他を招き總督就任の披露宴を催はす

## 人事消息

自一月二十一日
至二月二十日

▼森廣藏氏（新任臺灣銀行副頭取、本誌評議員）二月二十二日着任
▼高木友枝氏　二十六日上京
▼角源泉氏　二月二日依願電力副社長を被免
▼北村吉之助氏　十二日內地より歸臺
▼石坂莊作氏　同上
▼佐藤寬治博士　十三日來臺
▼伊集院子爵　同上
▼若王子男爵　同上
▼佐藤小次郎氏（軍參謀長、本誌評議員）東京灣要塞司令官に榮轉し十六日出發赴任
▼松木第一守備隊司令官　同日上京

## 任　命

大正十三年一月中及二月十五日迄

▼十二月二十八日
總督府技師　山口鈕五郎
東京、京都、大阪、愛知、香川、福岡ノ三府三縣下へ出張ヲ命ス
總督視　今澤正秋
東京、大阪、山梨ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス
公立中學校長　高橋隆
東京、京都、山形、三重、廣島、大分ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス
▼十二月三十日
解兼職　法院檢察官　武井羽二郎
法院檢察官　石橋everything

補臺北地方法院檢察官兼高等法院檢察官
法院檢察官　上瀧汎
補高等法院檢察官
▼一月一日
典獄　志豆機源太郎
臺北刑務所長ヲ命ス
典獄　松本助太郎
臺中刑務所長ヲ命ス
典獄　本多理三郎
臺南刑務所長ヲ命ス
▼十二月二十二日
免兼官　中央研究所技師兼總督府技師　大島正滿
▼一月一日
總督府事務官　和田一次
法務部行刑課長兼務ヲ命ス
▼一月九日
秘書官　小林音八
內田總督上京ニ付隨行ヲ命ス
▼一月十日
法院判官　望月恒造
法院判官　後藤和佐二
（各通）
法院判官　宇野庄吉
法院判官　山田示元
法院判官懲戒委員ヲ命ス
法院判官　大里武八郎
法院判官　伴野喜四郎
（各通）

法院判官 堀田眞猛
法院判官豫備試驗委員ヲ命ス
東北帝國大學助教授 杉山九一
任醫學專門學校教授
▼一月十一日
總督府技師 三河内直三
任醫院醫長、臺南醫院勤務ヲ命ス
醫院醫長 岩岡義夫
任總督府技師、警務局衛生課勤務ヲ命ス
法院通譯 川合眞永
兼任警察官及司獄官練習所教官
總督府技手 伊東廣
任州技師、高雄州勤務ヲ命ス
總督府屬 石井繁次郎
任州理事官、臺南州勤務ヲ命ス
醫院醫官補 新垣恒政
任醫院醫官、臺北醫院勤務ヲ命ス
州理事官 岩瀬金二郎
依願免本官
州理事官 大津山周造
臺北州勤務ヲ命ス
州理事官 向山千代藏
臺南州勤務ヲ命ス
州理事官 本山直枝
臺中州勤務ヲ命ス
州理事官 中村秀穗

新竹州勤務ヲ命ス
▼一月十二日
理書官 下村充郎
總督官房調書課長小林音八不在中代理ヲ命ス
▼一月十一日
高等農林學校教授
兼中央研究所技師 村山醸造
依願免本官竝兼官
▼一月十五日
公立中學校教諭 河瀬半四郎
東京、京都、廣島、宮城、徳島ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス
鐵道部技師 長沼淺造
東京、神戸、札幌ノ三鐵道局管内ヘノ出張ヲ免ス
▼十二月二十八日
高等商業學校教授 中屋重治
歸朝ノ途次上京ヲ命ス
▼一月十四日
醫院醫官兼
醫學專門學校教授 小林静夫
依願免本官竝兼官
▼一月十五日
檢事 桝見良作
任法院檢察官
本田熊壽

任法院判官補臺中地方法院判官
法院判官 篠崎岩太郎
補高等法院覆審部判官
▼一月十三日
總督府事務官 水越幸一
總督官房調査課長東郷實不在中代理ヲ命ス
▼一月十七日
總督府事務官 生駒高常
歐米各國へ出張ノ序ヲ以テ「モロッコ」へ出張ヲ命ス
▼一月十八日
總督府事務官 田端幸三郎
大阪、兵庫、福岡、和歌山ノ一府三縣下ヘノ出張ヲ免ス
州警察醫 曾根原利太郎
東京、愛知、長野ノ一府二縣下へ出張ヲ命ス
▼一月十九日
總督府屬 鶴友彦
總督府屬 猪俣一郎
（各通）
任總督府事務官
總督府事務官 鶴友彦
殖産局糖務課兼農務課勤務ヲ命ス
總督府事務官 猪俣一郎
殖産局林務課兼商工課勤務ヲ命ス
▼一月二十一日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

任鐵道部事務官　鐵道部書記　須田一二三

▼一月二十二日

統計官　堤一馬

上京ヲ命ス

▼一月二十四日

師範學校教諭　泉清藏

任師範學校教諭、補臺北師範學校教諭

醫院醫官補　赤木安一

任總督府技師、警務局衞生課勤務ヲ命ス

依願免本官　總理事官　中村壽太郎

▼一月二十九日

醫學專門學校教授　清水彦太郎

東京及京都ノ兩市ヘ出張ヲ命ス

▼一月二十四日

總督府技師　赤木安一

南支那ヘ出張ヲ命ス

▼二月一日

參事官　鼓包美

東京地方災害救助事務部殘務整理ヲ命ス

▼一月三十一日

臺南州屬　池田壯太郎

任郡守、臺中州大甲郡守ヲ命ス

郡守兼州警視　永田綱明

依願免本官並兼官

醫院醫官　新垣恒政

依願免本官

郡守　齊藤透

高雄州屏東郡守ヲ命ス

▼二月一日

總督府事務官　戸水昇

電信書記補試驗委員ヲ命ス

三浦博亮

任州技師、臺南州勤務ヲ命ス

公立中學校教諭
兼公立中學校舍監　大內基

任醫學專門學校教授

▼二月四日

上瀧寬

任總督府技師、警務局衞生課勤務ヲ命ス

總督府技師　倉岡彦助

總督府事務官　田端幸三郎

（各通）　醫院醫長　迎諧

總督府技師　椿本英太郎

醫學專門學校教授　早田五助

產婆試驗委員ヲ命ス

總督府屬　久保入二

（各通）　總督府屬　俁島久作

產婆試驗書記ヲ命ス

▼二月五日

商業專門學校教授　延田芳太郎

生徒監ヲ命ス

商業專門學校教授　山口助治

生徒監ヲ免ス

▼二月二日

角源泉

願ニ依リ臺灣電力株式會社副社長ヲ免ス

▼二月八日

中央研究所技師　萩原昌二

總督府在外研究員ヲ命ス、但一箇年間佛、獨、英、米ノ四箇國ヘ在留スヘシ

法院判官　寺井晴逸

總督府在外研究員ヲ命ス、但一箇年間英、米、獨、墺ノ四箇國ヘ在留スヘシ

## 寄贈書目

| 書名 | | 發行所 |
|---|---|---|
| 東亞經濟研究 | 每號 | 其社 |
| 實業之臺灣 | 同 | 其社 |
| 臺法月報 | 同 | 其社 |
| 糖業 | 同 | 臺灣糖業研究會 |
| 臺灣教育 | 同 | 其社 |
| 臺灣貿易表 | 同 | 臺灣總督府稅務課 |
| 朝鮮 | 同 | 朝鮮總督府 |
| 支那 | 同 | 東亞同文會 |
| 東拓月報 | 同 | 東洋拓殖會社 |

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

| | | |
|---|---|---|
| 會報 | 同 | 名古屋市教育會 |
| 臺灣鐵道 | 同 | 其社 |
| 臺灣農事報 | 同 | 臺灣農友會 |
| 稅務月報 | 同 | 稅務職員共獻會 |
| 貿易 | 同 | 日本貿易協會 |
| 臺灣鑛業會報 | 同 | 其社 |
| 臺灣警察協會雜誌 | 同 | 其社 |
| 南洋協會雜誌 | 同 | 其社 |
| 海事新報 | 同 | 帝國海事協會 |
| 通報(上海貿易) | 同 | 上海日本商業會議所 |
| 東洋 | 同 | 東洋協會 |
| 南洋經濟新報 | 同 | 新嘉坡商品陳列館 |
| 偕行社記事 | 同 | 陸軍偕行社 |
| 海友 | 同 | 大連海務協社 |
| 地方行政 | 同 | 帝國地方行政學會 |
| 內外情報 | 同 | 外事課調査課 |
| 臺灣パック | 同 | 臺灣パック社 |
| 統計學雜誌 | 同 | 統計學會 |
| 遞信協會雜誌 | 同 | 遞信協會 |
| 滿蒙實業彙報 | 同 | 大連商業會議所 |
| 會計 | 同 | 明治大學出版部 |
| 統計集誌 | 同 | 東京統計協會 |
| 一味 | 同 | 本願寺臺灣開教々務所 |
| 極東 | 同 | 極東社 |
| 對岸時報 | 同 | 福井縣對岸實業協會 |
| 國際經濟 | 同 | 國際經濟協會 |
| 產業事報 | 同 | 日本產業協會 |
| 臺灣醫學會雜誌 | 同 | 醫學專門學校 |
| 專賣通信 | 同 | 專賣局煙草課 |
| 日印協會々報 | 同 | 日印協會 |
| 臺政新報 | 同 | 臺政新報社 |
| 大陸 | 同 | 大陸社月報 |
| 臺灣之茶業 | 同 | 臺北茶商公會 |
| 讀書會雜誌 | 同 | 滿鐵讀書會 |
| 警務彙報 | 同 | 朝鮮其社 |
| 滿州之社會 | 同 | 滿州社會事業研究會 |
| 農業時報 | | 高雄州農會 |
| 臺灣山林會報 | 同 | 臺灣山林會 |
| 南支南洋經濟 | 同 | 同研究會 |
| 稅 | 同 | 國民租稅協會 |
| 臺灣之產業組合 | 同 | 其社 |
| 臺灣遞信協會雜誌 | | 臺灣遞信協會 |
| 社會政策時報 | | 財團法人協調會 |
| 臺灣詩薈 | 同 | 其社 |

## 編輯室から

▼支那人は牡丹を愛して花王と言ふが、日本人は櫻を貴して花王と言うて居る。

▼加之も日本人の詩には、

牡丹濃艶龍明島。早被胡塵汚國香。
萬古依然天上種。我櫻眞箇是花王。

など〻櫻につけて國體を誇つたのさへある。

或は

東方別有櫻花在。未許鼎儀王百花。

とて櫻を昂げて牡丹を貶したのもある。

▼然るに支那人の、櫻を詠じたものに「山櫻抱石蔭松枝」とか、「山櫻先春發」とか、或は「櫻桃花開滿晴岡」とか「紅櫻零落杏花開」とかいふのが間々見られる。又た或は「記得花發雪滿枝（白櫻）」などいふのも見られる

▼その謂ゆる山櫻、櫻桃、紅櫻、白櫻などいふのは、果して日本の櫻と同じものであるや否

▼それは同じものだと言ひ、或は別なものだと言ふ說もある。兎に角、類似のものがあり、加之もそれは紅白さま〲であることも想像され得る。

▼臺灣にも現に霧社を初め、草山、李棟山それから淡水などに櫻がある。それは皆な山櫻である。而して本島人は之を、櫻桃と呼んで居る。

▼それが支那の山櫻、櫻桃と同じ物であらうか。山地に在るが故に山櫻なり、と言ひ得ざるに非らず。又た支那人の口調を眞似て櫻桃と言へるならん、と想はれざるに非らず。然し事實同一物なるや否、筆者は未だその研究を仕たことが無い。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼臺灣の傳誌類には、其の樹木の部にも、花卉の部にも櫻を擧げたのを見ない。又た夫れを詩文に歌つたのも擧げて無いやうだ。然し事實本島には前陳の通りに櫻がある。而して本島人は之を櫻桃と稱して居る。其の花が日本内地のものと類を異にするは何人も異論は無い。恐らく季候風土の關係であらう。

▼兎に角、臺灣に櫻花のあることは、我等の洵に愉快とする所、それが漸次繁殖され、培養改良されて平地にも植ゑられ、やがて本島が新櫻花州たらんことは、眞に切望に堪へない。少くも市街の三線道路は之を以て飾りたいものである。

▼本誌口繪及び記事中の寫眞、霧社櫻花の景は、共に地方委員の寄せられしもの、深くその御芳情を感謝する。

▼本誌編纂主任として盡瘁された東郷實氏は賜暇歸省中、去月二十二日、依願免官となつた。氏を本誌委員に失つたのは洵に遺憾である。深く從來の勞を感謝すると共に氏將來の發展を祈る。

▼本誌は引續き水越委員主任の下に大いに活躍を期して居る。

▼東委員は博覽會其他の用務を以て三月九日内地へ出張した。

―三月五日、屯山生―

臺北第一中學教諭
兼府高商校教授　佐山融吉著

# 臺灣小史

（菊半截型紙質上等百二十頁美本コロタイプ寫眞入定價郵税共金六拾錢）

此の小著は蘭人占據以來、鄭氏、清治を經て帝國の領臺に至る迄の、臺灣の歴史を簡明に敍述したるもの。參考資料としては内外文献の、本島に關するものは略々之を渉獵して正確を期したり。目下臺灣に關する簡短明便なる歴史を缺くの際、本書は一般の臺灣研究者殊に視察者、觀光客、文官受驗準備者、中等學校の參考書、小公學校の賞品等としても有益有意義のものなるべし。今般臺灣宣傳の意味により當所に於て之を發行す。御希望の向は御取纏め至急其の册數を申送られたし

大正十三年三月

臺灣時報發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南阿弗利加の製革業
South African Leather Industry. (Com. R. Nov. 19, '22. P. 502.)

南阿弗利加に於ける商業近情
Increased Business Activity in South Africa. (Com. R. Dec. 10, '23. P. 665.)

## ■ 南 米 大 陸 ■

### 加奈陀及合衆國

一九二二/二三年四/九月の加奈陀皮革類輸出増加
Canadian Exports of Hides and Leather Increase. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 745.)

米國對佛領阿弗利加植民地貿易
Our Trade with French African Colonies. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 584.)

一九二二年の米國小麥收穫情況
U. S. Crops. (S. Dec. 1, '23. P. 921.)

米國對外石炭輸出近情
Overseas Coal Export Situation. (Com. R. Dec. 3, '23. P. 609.)

一九二三年十月中の米國對外鋼貿易
U. S. Foreign Steel Trade during October. (Com. R. Dec. 3, '23. P. 626.)

米國の國債
The U. S. Public Debt. (S. Dec. 8, '23. P. 954.)

一九二一/二三年の米國自動車製造情況
The American Automobile Industry. (S. Dec. 15, '23. P. 996.)

南亞米利加タイヤ貿易に於ける合衆國の割前
Share of U. S. in South American Tire Trade. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 746.)

米國の金屬及非含鐵鑛類の輸出入貿易
U. S's Trade in Metals and Nonferrous Minerals. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 759.)

米國の外國貿易は所得稅決定に賴る
America's Foreign Trade depends on Income Tax Decision. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '24. P. 201.)

合衆國の對支政策は依然たるも……
"U. S. Policy toward China has not changed, but...." (R. F. E. Vol. XXVII, No. 7, Jan. 12, '24. P. 228.)

米大統領の敎書
The President's Message. (M. T. Jan. 13, '24. P. 9.)

米國と其の被威嚇的支那退却
America and the threatened withdrawal from China. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 262.)

合衆國行上海船貨の增加
Shanghai's Shipments to U. S. show Increase. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 26, '24. P. 305.)

### 南 亞 米 利 加

ブラジルの石油埋藏量
Brazil. (S. Dec 8, '23. P. 955.)

ウルグエーの一般商況
General Business Conditions in Uruguay. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 585.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

不況の佛國商業近情
French Business Outlook less favorable. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 735.)

一九二三年最初九箇月中の佛國石油輸入情勢
French Imports of Petroleum. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 741.)

一九二三年に於ける佛國の鐵及鋼産出情況
French Iron and Steel Situation. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 760.)

伊太利の鑛油輸入增加
Italy's Mineral Oil Imports Increase. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 494.)

## 獨逸及匈牙利

獨逸及び波蘭領上部シレシアの工藝品近情
Industrial Production in German and Polish Upper Silesia. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 522.)

獨逸ドレスデンの煙草製造業近情
Tobacco Industry of Dresden, Germany. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 552.)

一九二二年の獨逸對馬來貿易
Malayan Trade with Germany. (S. F. P. Dec. 13, '23. P. 4.)

一九二三年十一月の墺地利生活費昂騰
Austrian Cost of Living Increase. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 738.)

獨逸の織物機械輸出近情
German Textile Machinery Exports. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 767.)

匈牙利の石炭業
The Hungarian Coal Industry. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 486.)

## 東歐諸邦及其他

何等復興を見ざるルーマニアの商業近情
No Improvement in Rumanian Business Conditions. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 370.)

波蘭現下の改革諸計畫
Polish Plans for Currency Reform. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 738.)

ボリビアの減磨油及原油市況
Bolivian Market for Lubricating and Crude Oil (Com. R. Dec. 17, '23. P. 740.)

チェッコスロヷキアの石炭產出と其輸出增加
Czechoslovalia's Coal Production and Exports Increase. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 487.)

チェッコスロヷキアの森林資源
Forest Resources of Czechoslovakia. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 567.)

一九二三年自一月至九月チェッコスロヷキアの石炭輸出入情勢
Czechoslovak Coal Industry, Jan.-Sept., 1923. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 781.)

一九二三年自一月至九月チェッコスロヷキアの輸出入減退
Czechoslovokia's Exports Decline. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 781.)

瑞西に於ける石鹼市況
Market for Soaps in Switzerland. (Com. R. Dec. 3, '23. P. 623.)

西班牙に於ける肥料市況
Market for Fertilizers in Spain. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 756.)

稍復興せる西班牙の貿易近況
Spanish Industry Somewhat Improved. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 737.)

# ■阿弗利加■

## トランスヷアール其他

一九二三年十/十一月に於けるトランスヷアールの金產出高
Transvaal Gold Output. (S. Dec. 15, '23. P. 998.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二三年九月の濠洲諸情
Australian Situation in September. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 545.)

新西蘭ガソリン輸入高
Gasoline Supplies in New Zealnd. (Com. R. No. 25, Dec. 24, '23. P. 833.)

## ■歐　羅　巴■

### 英　吉　利

一九二二年に於ける英國學校生徒の健康狀態
Schoolchildren's Health. (T. T. E. S. Nov. 3, '23. P. 485.)

復興しつゝある英國の綿織物輸出近情
British Cotton-Goods Exports Improving. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 483.)

一九二三年初九ヶ月間の英國鐵及鋼輸出入情況
British Iron and Steel Industry for Three Quarters of 1923. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 496.)

倫敦の教育近情
London Education. (T. T. E. S. Nov. 24, '23. P. 519.)

一九二三年十月の英國對外鋼貿易
British Foreign Steel Trade in October. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 558.)

英國石炭貿易近情
Conditions in the British Coal Trade. (Com. R. Nov. 26. '23. P. 558.)

一九二三年十月の英國對外貿易
British Foreign Trade in October. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 582.)

一九二三年九月の英合衆王國市況
U. K. Market during September. (Com. R. Dec. 3, '23. P. 613.)

戰前及戰後に於ける英國諸港の貿易
Pre-war and Post-war Trade of British Ports. (S. Dec. 8, '23. P. 954.)

一九二三年十一月に於ける英國對外貿易
Overseas Trade in November. (S. Dec. 15, '23. P. 991.)

倫敦に於ける羊毛貿易近況
The Wool Trade. (S. Dec. 15, '23. P. 1001.)

一九二三年九/十月の英國對外貿易
British Foreign Trade during September and October. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 745.)

一九二二/二三年のマンチエスター生果市況
Manchester Market for Fruit. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 759.)

一九二二/二三年最初十筒月の米國綿織物輸出貿易
U. S. Cotton-Cloth Trade. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 753.)

英國財政
How British Wealth Held. (Com. R. No. 52, Dec. 24, '23. P. 835.)

### 佛蘭西及伊太利

概して不確實なる佛蘭西の商業概況
Business Outlook in France generally uncertain. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 471.)

佛國フランの國內價値
The Internal Value of the French Franc. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 473.)

佛國の鐵及鋼近情
French Iron and Steel Situation. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 497.)

佛國の石油政策
The French Petroleum Policy. (Com. R. Dec. 3, P. 620.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

モーロー族の頭目等はミンダナオに於て米國統治を希望す
200 leading Moros ask Wood to establish U. S. Rule over Mindanao. (M. T. Dec. 23, '23. P. 1.)

比島駐米委員の比島護謨栽培可能性宣傳
Rubber, Theme of Guevara. (M. T. Dec. 23, '23. P. 1.)

ウッド寧ろ本國議會の調査を歡迎す
Wood welcomes Congress Prove. (M. T. Dec. 23, '23. P. 1.)

比律賓綿布市場情勢
Philippine Cotton-Goods Market. (Com. R. No. 52, Dec. 24, '23. P. 815.)

東洋各地に後るゝ比島の灌漑事業
Irrigation Here Far Behind Other Places in Orient. (M. T. Dec. 26, '23. P. 1.)

馬尼拉サンボアンガ間陸軍飛行
Army Planes Fly Here From Zamboanga. (M. T. Dec. 30, '23. P. 1.)

比島紐育間も僅かに八十時間にて飛ばん
New York Only Eighty Hours From P. I. Now. (M. T. Jan. 3, '24. P. 1.)

比島駐米委員ゲヴアラー氏米國議會に於て處女演說をなす
Guevara makes Maiden Speech before Congress. (M. T. Jan. 4, '24. P. 1.)

比島對日木材貿易好望
Expect Huge Japan Trade in P. I. Lumber. (M. T. Jan. 4, '24. P. 1.)

一九二三年度比島關稅收入一近年稀なる增收
1923 Big Year for P. I. Customs. (M. T. Jan. 6, '24. P. 5.)

比島と自治
The Philippine and Self-Government. (M. T. Jan. 6, '24. P. 11.)

米國沿岸船舶法に對する香港側の觀察
What Hongkong Thinks of Coastwise Law. (M. T. Jan. 7, '24. P. 3.)

一九二四年の比年ヘンプ生產減額
Hemp Production Lower in 1924. (M. T. Jan. 10, '24. P. 2.)

比島に於ける政治上の疝痛
Political Colic in the Philippines. by Grover Clark. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 7, Jan. 12, '24. P. 231.)

比島に於ける排ウッド小册子の撒布
Anti-Wood Pamphlet sent to Provinces. (M. T. Jan. 15, '24. P. 1.)

## 蘭　領　東　印　度

蘭領東印度に於ける原油產額
Oil in the D. E. I. (S. Nov. 10, '23. P. 638.)

蘭領東印度に於ける商工業の有望
The Commercial and Industrial Fair in Netherlands India. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 579.)

一九二二/二三年の蘭領東印度輸出概況
D. E. I. Exports. (S. Dec. 1, '23. P. 926.)

一九二二年に於ける蘭領印度の油田情勢
Oil Fields of Neth. India. (S. F. P. Dec. 7, '23. P. 4.)

蘭領東印度タイヤ市場競爭激甚
Rubber Products Tire Market in D. E. I. Highly Competitive. (Com. R. No. 52, Dec. 24, '24. P. 825.)

## 濠　洲　及　新　西　蘭

濠洲各銀行の營業近情
Australian Banking Returns. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 506.)

一九二二/二三年の濠洲對外貿易
Australian Foreign Trade in 1922-23. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 521.)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

タン・アップーメコン間の鐵道に就て
Notre Carte: Le Chemin de Fer de Tan-Ap au Miekong Section du Cal de la Vieille a Mahaxay. (E. E. I. No. 345, Jan. 20, '24. P. 8.)

ホンガイ諸炭山の近代化
Les Mines de Hongay se Modernisent. (E. E. I. No. 345, Jan. 20, '24. P. 14.)

黒河々畔に於けるブレンド礦脈發見
Un Gisement de Blende sur la Riviere Noire. (E. E. I. No. 345, Jan. 20, '24. P. 14.)

對印度支那政廳評議會提出の文書圖書局報告
Les Rapports au Conseil du Gouvernement La Direction des Archives et des Bibliotheques. (E. E. I. No. 346, Jan. 27, '24. P. 1.)

印度支那俸給收入の不安定
L' Instabilite des Revenues des Placements en Indochine. (E. E. I. No. 346, Jan. 27, '24. P. 5.)

印度支那に於ける商業用航空案
L' Aviation Commercial en Indochine. (E. E. I. No. 346, Jan. 27, '24. P. 8.)

タン・アップーメコン間鐵道に就て(續)
Notre Carte: Le Chemin de Fer de Tan-Ap a Miekong. (E. E. I. No. 346, Jan. 27, '24, 4, P.)

## 英　領　印　度

印度に於ける無線電信及電氣の發展
Wireless and Electrical Developments in India. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 484.)

一九二三年九月の印度經濟諸情
Economic Conditions in India. (Com. R. Dec. 10. '24. P. 664.)

印度に於ける電氣機具類市況
Market for Electrical Goods in India. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 755.)

印度內閣の危機
Cabinet Crisis in India too. (M. T. Dec. 20, '23. P. 3.)

## 滿　洲　及　其　他

滿洲の經濟諸情
Economic Conditions in Manchuria. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 521.)

滿洲の大要求は人口なり
Manchuria's Greatest Need: Population. by Dr. Edwin C. Vandyke. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6. Jan. 5, '24. P. 200.)

蒙古に於て發見されたる一千萬年前の恐龍類の卵
10,000,000 Years Ago. Dinosaur Eggs. (S. F. P. Dec. 7, '23. P. 3.)

一九二三年六月三十日末現在の新嘉坡港務部報告概況
Harbour Board's Report. (S. F. P. Dec. 13, '23. P. 12.)

# ■南　洋　諸　島■

## 比　律　賓

稍復興せる比島一九二三年十月の貿易
Slignt Improvement in Philippines. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 544.)

合衆國に對し約十億弗に値する對比島關係維持費
P. I. has cost U. S. nearly a Billion. (M. T. Dec. 19, '23. P. 1.)

米國陸軍省島務局長マッキンタイヤー將軍の昨年度島況同顧
McIntyre Reviews Year in Islands. (M. T. Dec. 19, '23. P. 1.)

無稅糖に就て
Duty-Free Sugar. by Vicente Villamin. (M. T. Dec. 20. '23. P. 1.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

董顯光小傳
Mr. Hollington K. Tong. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26, '24. P. 307.)

黃憲昭小傳
Mr. Hin Wong. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26, '24. P. 307.)

支那實業進步觀=廣東市
Industrial Progress in China: Canton. by Paul P. Whitham. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26. '24. P. 315.)

香港の編物業
The Hongkong Knitting Industry. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 483.)

香港に於ける化學品市況
The Hongkong Market for Chemicals. (Com. R. Nov. 19, '24. P. 488.)

香港の桂油貿易
Hongkong Trade in Cassia Oil. (Com. R. Dec. 17, '23. 757.)

香港に於ける硝子及硝子製品輸入情況
The Market for Glass and Glass Products in Hongkong. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 761.)

香港阿片の新法律
Hongkong's Opium. (S. F. P. Dec. 27, '23. P. 4.)

## 佛領印度支那

一九二三年七八月印度支那對外貿易
Commerce Exterieur de l' Indochine, Juillet, Aout, 1923. (B. E. I. No. 161, Juillet-Aout. '23. P. 235.)

一九二二年印度支那船舶出入及貿易
Rapport sur la Navigation et le Mouvement Commercial de l' Indochine, 1922. (B. E. I. No. 161, Juillet-Aout, '23. P. 255.)

印度支那物價運賃表（一九二三年七月及八月）
Observation des Prix, Juillet-Aout, 1923. (B. E. I. No. 161, Juillet-Aout, '23. P. 267.)

一九二二年廣州灣對外貿易
Mouvement Commercial du Territoire de Kouangtcheou-Wan, 1922. (B. E. I. No. 161, Juillet Aout, '23. P. 302)

一九二三年十月の印度支那商業概情
October Business in Indo-China. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 544.)

海防の現況
A Haiphong. (E. E. I. No. 343, Jan. 6. '24. P. 2.)

廣州灣改修に就て
A Propas d' une Restitution eventuelle de Kouangtcheou-Wan. (E. E. I. No. 343, Jan. 6, '24. P. 8.)

印度支那學務局報告
Rapports de la Direction de l' Enseignement. (E. E. I. No. 344, Jan. 13, '24. P. 1.)

一九二三年初十ヶ月の印度支那鐵道の收入
Les Recettes des Chemins de Fer pour les Dix Premiers Mois; 1923. (E. E. I. No. 344, Jan. 13, '24. P. 17.)

東埔寨大湖の漁業
Les pecheries des Grands Lacs au Cambodge. (E. E. I. No. 344, Jan. 13, '24. P. 19.)

東京ハドンの發展
Le Developpement de Hadong. (E. E. I. I. No. 345. Jan. 20, '24. P. 4.)

印度支那產鹽
Du Sel en Indochine. (E. E. I. No. 345, Jan. 20, '24. P. 5.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那に於ける家庭諸問題
Some Home Problems in China. (C. R. Vol. LV, No. 1, Jan. '24. P. 24.)

歸國學生に對する常年攻擊
The Perennial Attack on the returned Student. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '25. P. 194.)

福建鴉片に對する米國の抗議
American Protests vs. Opium growing Fukien. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '24. P. 196.)

汪慶辰(字幼農)小傳
Major-General Wang Ching-cheng. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '24. P. 206.)

費起鶴(字雲皋)小傳
Mr. Fei Ch'i-hao. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '24. P. 208.)

高恩洪(字定菴)小傳
Mr. Kao En-hung. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5, '24. P. 208.)

支那に於ける無線電信局
Les Stations Radio-telegraphiques en Chine. (E. E. I. No. 343, Jan. 6, '24. P. 7.)

カラハン氏との會見
An Interview with Mr. Karakhan. by Lawrence Impey. (R. F. E. Vol. XXVII. No. 7, Jan. 12, '24. P. 233.)

厲汝熊小傳
Mr. James Hsiung Lee. (R. F. E. Vol. XXVII No. 7, Jan. 12, '24. P. 236.)

婁裕熹(字睿青)小傳
Mr. Y. T. Lou. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 7, Jan. 12, '24. P. 238.)

支那に於ける合衆國の一定計畫に向つての活動
Working for a definite U. S. Program in China. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 8. Jan. 19, '24. P. 264.)

支那現勢に刺戟を與ふる諸原因
Encouraging Factors in the China Situation. by Grover Clark. (R. F. E. XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 265.)

廣東に於ける排外運動
The Anti-foreign Agitation in Canton. by Hin Wong. (R. F. E. Vol XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 268.)

ワット及ホワイトサイド兩氏の虐殺
The Murder of Watt and Whiteside. by John R. Muir. (R. F. E. Vol. XXVII. No. 8, Jan. 19. '24. P. 269.)

支那桐油市通過
The Passing of China's Woodoil Market. by J. A. Goette. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 270.)

張鑑文(字達卿)小傳
Magistrate Tsang Chan-yung. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 270.)

フェン・シイーユン博士小傳
Dr. Feng Hsi-yun. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 8, Jan. 19, '24. P. 271.)

支那を無視せる滿洲廣告
"Advertizing Manchuria out of China" (R. F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26, '24. P. 300.)

支那人の教化を尊重すべく米國兒童を教ふ
Teaching American Children to appreciate Chinese Culture. by Juleon Arnold. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26, '24. P. 301.)

鹽政史
History of the Salt Administration. (R F. E. Vol. XXVII, No. 9, Jan. 26, '24. P. 303.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 南支那及南洋其他
# 海外重要記事

臺灣總督官房調査課

■新聞雜誌略號一覽表■

| | |
|---|---|
| R. E. I. | Bulletin Economique de l' Indochine. |
| C. R. | Chinese Recorder. |
| Com. R. | Commerce Reports. (U. S.) |
| E. E. I. | L' Eveil Ecomomique de l' Indochine. |
| M. T. | Manila Times, daily. |
| R. F. E. | Review of Far East, weekly. |
| S. | Statist. |
| S. F. P. | Singapore Free Press. |
| T. T. E. S. | Times, London, Trade Engineering Suppelement. |

## ■世　界■

### 一　般

世界護謨貿易近情
Rubbdr Trade Notes. (Com. R. Nov. 19, '23. P. 490.)

マラリヤの豫防さ療法
The Prevention and Cure of Malaria. (M. T. Dec. 23, '23. P. 8.)

## ■亞　細　亞■

### 日　本

日本は五億弗を費すべし＝其諸情は漸次落著
Japan Will Spend Half Billion Dollars. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 542.)

條款を締結せる日本各保險會社一覽表
Japanese Insurance Companies reach Agreement. (Com. R. Dec. 17, '23. P. 784.)

臺灣の征服者國姓爺
Hoxinga: Conqueror of Formosa. (S. F. P. Dec. 27, '23. P. 14.)

ウッツ大使さ朝鮮人虐殺
Ambassador Woods and the Korean Murders. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 6, Jan. 5. '24. P. 194.)

日本警察が如何に支那人虐殺の新聞を揉消せしか
How Japanese Police suppressed News of Chinese Murders. (R. F. E. Vol. XXVII, No. 7, Jan. 12, '24. P. 235.)

### 支　那　及　香　港

支那に於ける洋藍市況
Indigo Market in China. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 545.)

支那天津の石油市況
Petroleum Market of Tientsin, China. (Com. R. Nov. 26, '23. P. 559.)

支那勞働問題の諸相
Some Phases of the Chinese Labor Problem. (Com. R. Dec. 10, '23. P. 718.)

一九二三年六月末現在の支那工學及鑛山業
Chinese Engineering and Mining. (S. Dec. 15, '23. P. 998.)

支那羊毛業事情
The Wool Industry in China. (Com. R. Dec. 24, '23. P. 814.)

傳道事業の觀察(未完)
How Mission Work looked when I come to China. by A. H. Smith. (C. R. Vol. LV, No. 1, Jan. '24. P. 9.)

孔子流の文化(續)
The Confucian Civilization. (C. R. Vol. LV, No. 1, Jan. '24. P. 16.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN